

# *ES/1 NEO*

CSシリーズ

プロフィール機能

使用者の手引き



株式会社 アイ・アイ・エム

**© COPYRIGHT IIM CORPORATION, 2022**

**ALL RIGHT RESERVED. NO PART OF THIS PUBLICATION MAY  
REPRODUCED OR TRANSMITTED IN ANY FORM BY ANY MEANS,  
ELECTRONIC OR MECHANICAL, INCLUDING PHOTOCOPY RECORDING,  
OR ANY INFORMATION STORAGE AND RETRIEVAL SYSTEM WITHOUT  
PERMISSION IN WRITING FROM THE PUBLISHER.**

**"RESTRICTED MATERIAL OF IIM "LICENSED MATERIALS – PROPERTY OF IIM**

# 目次

第 1 章 概要.....	1
1.1. プロファイル機能とは.....	1
1.2. システムフィルタープロファイル概要.....	1
1.3. インスタンスプロファイル概要.....	2
1.4. パラメータプロファイル概要.....	2
1.5. 出力要素数の制限定義概要.....	3
1.5.1. 出力要素数の制限定義.....	3
1.5.2. 出力要素数の制限定義のシステムへの割り当て.....	3
1.5.3. 出力要素数の決定について.....	3
1.6. 対象プロダクト.....	4
1.7. 複数の管理マシンからの共有利用.....	5
1.8. 動作環境.....	6
1.9. 制限事項.....	6
1.9.1. プロファイル非対応の標準クエリー.....	6
1.9.2. グラフの順番について.....	6
1.9.3. 出力要素数の制限定義の利用について.....	6
第 2 章 プロファイルフォルダ設定.....	7
2.1. 機能概要.....	7
2.2. 起動方法.....	7
2.3. 設定方法.....	8
2.3.1. プロファイルフォルダ設定.....	8
第 3 章 システムフィルタープロファイル.....	9
3.1. 起動方法.....	9
3.2. 設定方法.....	10
3.2.1. システムフィルタープロファイル一覧.....	10
3.2.2. 処理対象外システム一覧.....	12
3.2.3. 処理対象外システム入力.....	13
3.2.4. システムフィルタープロファイル詳細.....	14
3.2.5. サイト／システム条件入力.....	17
第 4 章 インスタンスプロファイル.....	19
4.1. 起動方法.....	19
4.2. 設定方法.....	20
4.2.1. インスタンスプロファイル一覧.....	20
4.2.2. インスタンスプロファイル詳細.....	22
4.2.3. インスタンスプレビュー.....	24
4.2.4. インスタンス条件設定.....	25

4.2.5. インスタンス条件入力 .....	27
<b>第 5 章 パラメータプロファイル.....</b>	<b>29</b>
5.1. 起動方法.....	29
5.2. 設定方法.....	30
5.2.1. パラメータプロファイル一覧 .....	30
5.2.2. パラメータプロファイル詳細 .....	32
5.2.3. パラメータ設定.....	34
5.2.4. パラメータ入力.....	35
<b>第 6 章 出力要素数の制限定義 .....</b>	<b>37</b>
6.1. 起動方法.....	37
6.2. 設定方法.....	38
6.2.1. 動作環境設定 - 出力要素数の制限定義のシステムへの割り当て一覧 .....	38
6.2.2. 動作環境設定 - 出力要素数の制限定義のシステムへの割り当て入力 .....	41
6.2.3. 出力要素数の制限定義一覧 .....	43
6.2.4. 出力要素数の制限定義詳細 .....	45
<b>第 7 章 添付資料 A. プロファイル対象の標準クエリー .....</b>	<b>48</b>
7.1. インスタンスプロファイル対応の標準クエリー .....	48
7.2. 出力要素数の制限定義対応の標準クエリー .....	59
<b>第 8 章 添付資料 B. プロファイル非対応の標準クエリー.....</b>	<b>74</b>
<b>第 9 章 添付資料 C. プロファイル対応しているクエリーのデータ列名 .....</b>	<b>76</b>
9.1. インスタンスプロファイル .....	76
9.2. パラメータプロファイル .....	86

# 第1章 概要

## 1.1. プロフィール機能とは

プロフィール機能とは、ES/1 NEO CS シリーズの各種設定をプロフィールとして管理し、対象プロダクトで共通利用できるようにする機能です。

プロフィールの設定により、対象プロダクトで同じような設定をする必要がなくなります。プロフィール 1 箇所を修正すれば、プロフィールを参照している全プロダクトに反映されます。

また、システム構成の変更が発生した場合でも、プロフィールを使用しておけば設定変更の作業が簡素化されます。各プロフィールを使用しない場合は、対象システム追加等のシステム構成変更に対応させるために、対象となるすべてのプロダクトで再設定が必要になりますが、プロフィールで設定している場合は設定を変更しなくてもシステム構成変更分にも自動的に対応できます。

プロフィールの変更が必要だった場合でもプロフィール 1 箇所だけの修正となります。

プロフィール機能を使用することで、新規設定や設定変更、システム構成変更時の作業が簡素化されるため、運用メンテナンス、大規模システム設定の工数削減が可能となります。

各プロフィール機能の概要について説明します。

## 1.2. システムフィルタープロフィール概要

システムフィルタープロフィールは、対象サイト／システムを一元管理するプロフィールです。

対象としたいサイト／システムの条件を設定することで、その条件にマッチする任意のサイト／システム群を 1 つのグループとして扱うことが可能になります。条件を適切に設定しておけば、将来的にシステムが追加される場合にも自動的にシステムフィルタープロフィールに反映させることが可能です。

CS-MAGIC のグラフ作成時では、システムが追加された場合でもクエリーグループ設定を変更することなく、追加されたシステム分のグラフが自動的に作成されます。

システムフィルタープロフィールには、導入直後から使用可能な標準プロフィールと、自由に定義できるユーザプロフィールがあります。標準プロフィールには、サイト／システムを OS やサブシステム毎にグルーピングした定義が用意されています。サイト／システムを任意に指定してグルーピングしたり、標準プロフィールを組み合わせグルーピングを作成することができます。ある業務システムを構成する任意のサーバ群をまとめて扱いたい場合には、ユーザプロフィールを作成してください。

設定したシステムフィルタープロフィールは、CS-MAGIC や Flatfile Maintenance の対象サイト／システムを選択する際に使用します。

### 1.3. インスタンスプロフィール概要

インスタンスプロフィールは、各サイト／システムが持つ固有の情報（RDBMS の DB 名／インスタンス名、Web アプリケーションサーバのインスタンス名など、以降は「インスタンス」と記述）を一元管理するプロフィールです。インスタンスは、中間フラットファイルのインポート時に抽出されます。

インスタンスプロフィールはシステムフィルタープロフィール同様、対象としたいインスタンスの条件を設定することで、その条件にマッチする任意のインスタンス群を 1 つのグループとして扱うことが可能になります。この設定はインスタンスの種類毎に行います。条件を適切に設定しておけば、将来的にインスタンスが追加される場合にも自動的にプロフィールに反映することが可能です。

CS-MAGIC のグラフ作成時では、インスタンスが追加された場合でもクエリーグループ設定を変更することなく、追加されたインスタンス分のグラフが自動的に処理対象となります。

インスタンスプロフィールには導入直後からすべてのインスタンスを対象とする、デフォルトユーザプロフィールが作成されています。特定のインスタンスを除外したい場合には、このデフォルトユーザプロフィールを編集するか、新たにユーザプロフィールを作成してください。

設定したインスタンスプロフィールは、CS-MAGIC のクエリー追加時や Flatfile Maintenance の状態チェック条件グループ作成時に使用します。

### 1.4. パラメータプロフィール概要

パラメータプロフィールは、インスタンスプロフィールと同様にインスタンスを一元管理するプロフィールです。

インスタンスの中でも、データ数が多く、その一部しか使用しないようなインスタンス（以降は「パラメータ」と記述）を対象としています。

例えば、VMware のデータストアは、データストアに対して 1 枚のグラフが作成されるため、データストアが多い場合には大量のグラフが作成されてしまいます。このような場合に、任意のデータストアのみを処理対象とするパラメータプロフィールを使用します。パラメータプロフィールに対応した標準クエリーと、パラメータを指定できるカテゴリはそれぞれ次の箇所をご参照ください。

第 7 章 添付資料 A 7.1. インスタンスプロフィール対応の標準クエリー パラメータプロフィール対応の標準クエリー

第 9 章 添付資料 C 9.2. パラメータプロフィール

パラメータプロフィールは、対象としたいパラメータを選択することで任意のパラメータ群を 1 つのグループとして扱うことが可能になります。この設定はパラメータの種類毎に行います。インスタンスプロフィールとは違い、選択したものだけが対象となるため、将来的にパラメータが増えた場合でも設定が必要になります。

パラメータプロフィールには、導入直後からすべてのパラメータを対象としないデフォルトユーザプロフィールが作成されています。特定のパラメータを対象としたい場合には、このデフォルトユーザプロフィールに追加するか、新たにユーザプロフィールを作成してください。導入直後のデフォルトユーザプロフィールを使用してグラフを作成しても、出力対象となるパラメータが無いためグラフは作成されません。

設定したパラメータプロフィールは、CS-MAGIC のクエリー追加時に使用します。

## 1.5. 出力要素数の制限定義概要

出力要素数の制限定義は、グラフや資源ログ等の出力要素数を一元管理するプロフィールです。出力要素数の制限定義を使用することで、グラフ毎やシステム毎にグラフ、資源ログ等に表示する項目数の制限が可能になります。システム毎の設定にシステムフィルタープロフィールを使用することで、将来的にシステムが追加される場合にも自動的に出力要素数の制限定義を反映させることが可能です。

出力要素数の制限定義を活用するためには、「出力要素数の制限定義」、「出力要素数の制限定義のシステムへの割り当て」の2種類の定義を行う必要があります。

それぞれの定義について説明します。

### 1.5.1. 出力要素数の制限定義

出力要素数の制限定義は、グラフや資源ログの出力要素数の定義です。この定義には、「出力要素数の基本値」と「項目毎の出力要素数」があります。

「出力要素数の基本値」は、グラフや資源ログ毎に出力要素数を設定でき、それぞれ全体に適用されます。項目毎に出力要素数を設定していない場合は、この基本値が適用されます。

「項目毎の出力要素数」は、項目（グラフ）毎に出力要素数を設定でき、その項目のみに適用されます。「項目毎の出力要素数」を設定した場合、「出力要素数の基本値」を上書きすることになります。

出力要素数の制限定義では「出力要素数の基本値」と「項目毎の出力要素数」を設定することができ、これらの設定が1つの出力要素数の制限定義となります。

### 1.5.2. 出力要素数の制限定義のシステムへの割り当て

出力要素数の制限定義のシステムへの割り当ては、「1.5.1.出力要素数の制限定義」を「システム」へ割り当てる定義です。「システム」には、サイト／システムとシステムフィルタープロフィールの指定が可能です。基本的には「システム」に割り当てた「出力要素数の制限定義」が、そのシステムで使用される定義となりますが、他の条件にもマッチする場合、優先順位によって「出力要素数の制限定義」が決定します。

初期状態では、優先順位最低の状態ですべてのサイト／システムに対して既定の出力要素数の制限定義が割り当てられています。そのため、各システムが必ず何れかの「出力要素数の制限定義」が割り当てられることになります。

出力要素数の制限定義のシステムへの割り当てでは、「出力要素数の制限定義」を「システム」への割り当てと、その優先順位を設定することができ、これらの設定により各システムに出力要素数の制限定義が割り当たります。

### 1.5.3. 出力要素数の決定について

対象システムの各グラフや資源ログの出力要素数は、「1.5.1.出力要素数の制限定義」と「1.5.2.出力要素数の制限定義のシステムへの割り当て」の設定により決定します。

対象システムにどの「出力要素数の制限定義」が割り当たっているかを「出力要素数の制限定義のシステムへの割り当て」で決定し、その「出力要素数の制限定義」で設定した「出力要素数の基本値」や「項目毎の出力要素数」を元に各グラフや資源ログの出力要素数が決定します。

## 1.6. 対象プロダクト

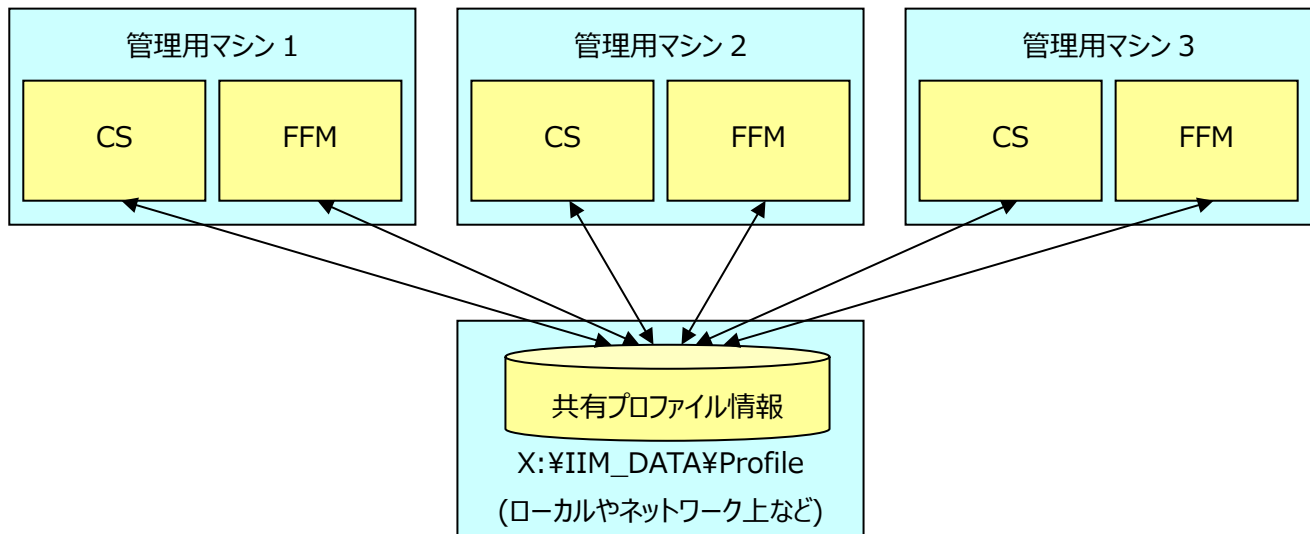
各プロフィールの対象プロダクトは以下の通りです。

プロフィール	対象プロダクト
システムフィルタープロフィール	CS-MAGIC CS-ADVISOR Flatfile Maintenance (データ検査-状態チェック、データ検査-限界値チェック、データ集約)
インスタンスプロフィール	CS-MAGIC CS-ADVISOR Flatfile Maintenance (データ検査-状態チェック)
パラメータプロフィール	CS-MAGIC
出力要素数の制限定義	CS-MAGIC CS-ADVISOR (下記の単体システム評価のグラフ、資源ログ等に表示する項目数) <ul style="list-style-type: none"> <li>・System</li> <li>・Oracle</li> <li>・SQL Server</li> <li>・Symfoware</li> <li>・DB2</li> <li>・SAP ERP</li> </ul> CS-Network ADVISOR (資源ログに表示する項目数)



### 1.7. 複数の管理マシンからの共有利用

プロフィール情報をネットワーク上に配置することで、複数の管理用マシンから共通で利用することが可能になります。この場合、共有プロフィール情報を変更すると、その共有プロフィールを参照している全管理用マシンの全プロダクトに反映されます。



複数の管理用マシンからプロフィール機能を共通で利用する場合、意図しない設定の上書きを防止するため、管理用マシン間で排他制御が行われます。他の管理用マシンでプロフィール情報が編集、閲覧されている間、別の管理用マシンでは読み取り（閲覧・利用）のみが可能となります。

#### **注意！**

複数の管理マシンからプロフィールを共有利用する場合、下記の設定が必要です。

プロフィールフォルダの共有フォルダを設定してください。

共有フォルダには「変更」、「読み取り」のアクセス許可が必要です。

各管理マシンのフラットファイル格納フォルダを共通のパスに設定してください。

フラットファイル格納フォルダの設定方法は、対象プロダクトのマニュアルを参照してください。

## 1.8. 動作環境

プロファイル機能を使用するためには、ES/1 NEO CS シリーズの動作環境に加え、Microsoft .NET Framework 4.5.2 のインストールが必要です。

Microsoft .NET Framework 4.5.2 がインストールされていない場合は、ES/1 NEO CS シリーズにおいてプロファイル機能は使用できません。

Microsoft .NET Framework 4.5.2 のセットアップが DVD に同梱されています。インストール方法は、別紙マニュアル「インストールガイド」を参照してください。

## 1.9. 制限事項

プロファイル機能は、入力データによって動的に出力物を作成する機能です。そのため、動的に処理できないデータや、動的に処理されて問題がある場合は、プロファイル機能で対応できません。これに該当する場合を制限事項として以下に記載します。制限事項に該当する場合は、プロファイル機能を使用せず、従来通りの方法で設定してください。

### 1.9.1. プロファイル非対応の標準クエリー

特定条件の標準クエリーはプロファイル非対応となっています。詳細な項目については、「第 8 章 添付資料 B. プロファイル非対応の標準クエリー」を参照してください。

### 1.9.2. グラフの順番について

プロファイルを使用してグラフを作成する場合、グラフが動的に作成されるためグラフの順番を制御することができません。

### 1.9.3. 出力要素数の制限定義の利用について

管理用コンピュータが複数台ある構成でカスタマイズグラフを使用している場合、すべての管理用コンピュータで同じカスタマイズグラフ定義ファイル（Trdquery.ini）を使用してください。

## 第2章 プロファイルフォルダ設定

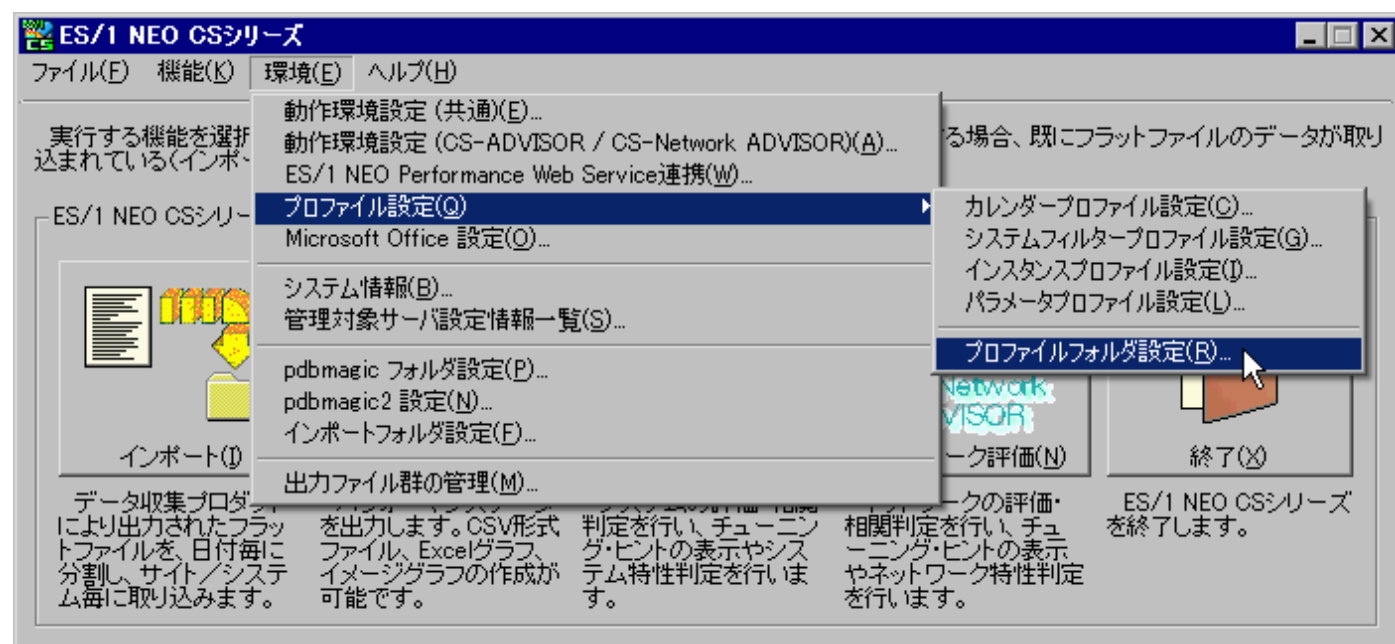
### 2.1. 機能概要

プロフィール情報を格納するフォルダを設定します。プロフィールフォルダを変更する場合に設定してください。  
ここで設定した内容は、プロフィール機能を使用する全プロダクトに反映されます。

### 2.2. 起動方法

ES/1 NEO CS シリーズを起動します。

「環境(E)」メニューの「プロフィール設定(Q)」にある「プロフィールフォルダ設定(R)...」を選択し、プロフィールフォルダ設定画面を起動します。



## 2.3. 設定方法

### 2.3.1. プロファイルフォルダ設定



#### (1) プロファイルフォルダ(F)

プロフィール情報を格納するフォルダを指定します。[参照(B)...]ボタンを押下してパスを参照することも可能です。

リモート接続の認証が必要になる場合、「リモート接続の認証が必要(A)」をチェックし、ログインユーザ名とパスワードを入力してください。

#### (2) 登録

[登録]ボタンを押下すると、設定を保存し前の画面に戻ります。

プロフィールフォルダを変更する場合は、設定する前にプロフィール情報を変更後のパスにコピーしておく必要があります。プロフィール情報のデフォルトの場所は「C:\IIM\_DATA\Profile（標準インストールの場合）」となります。

#### (3) キャンセル

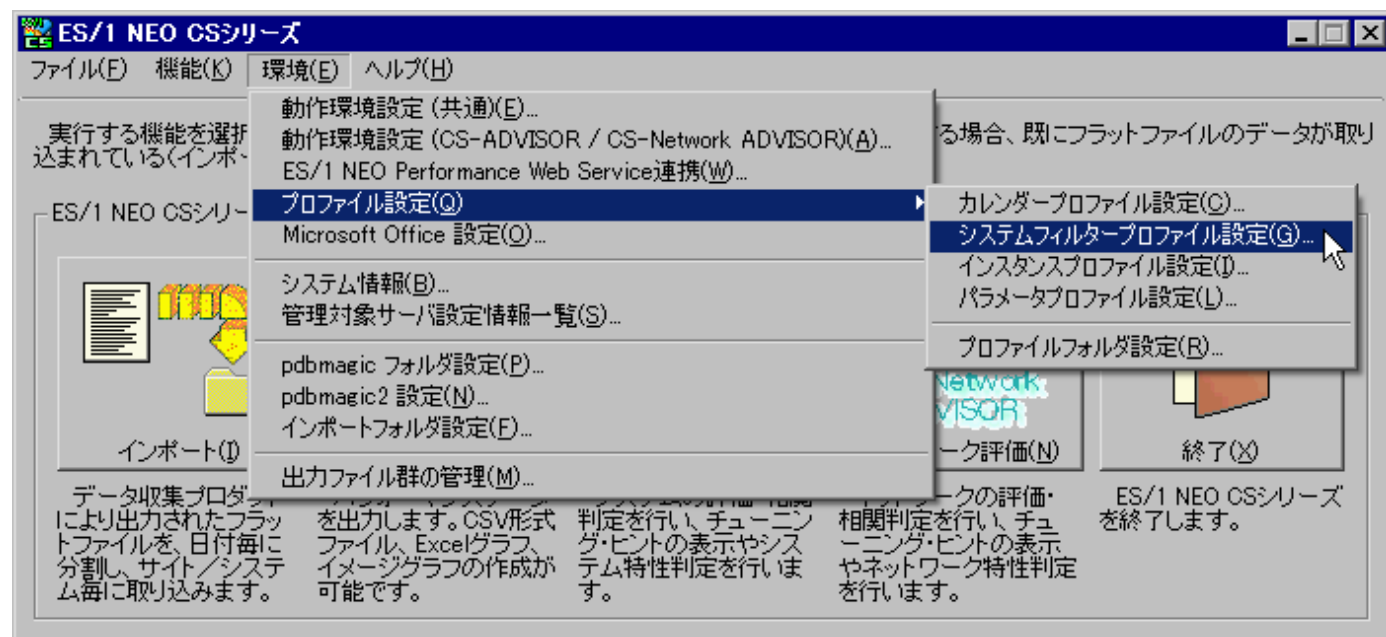
[キャンセル]ボタンを押下すると、設定を保存せずに前の画面に戻ります。

## 第3章 システムフィルタプロフィール

### 3.1. 起動方法

ES/1 NEO CS シリーズを起動します。

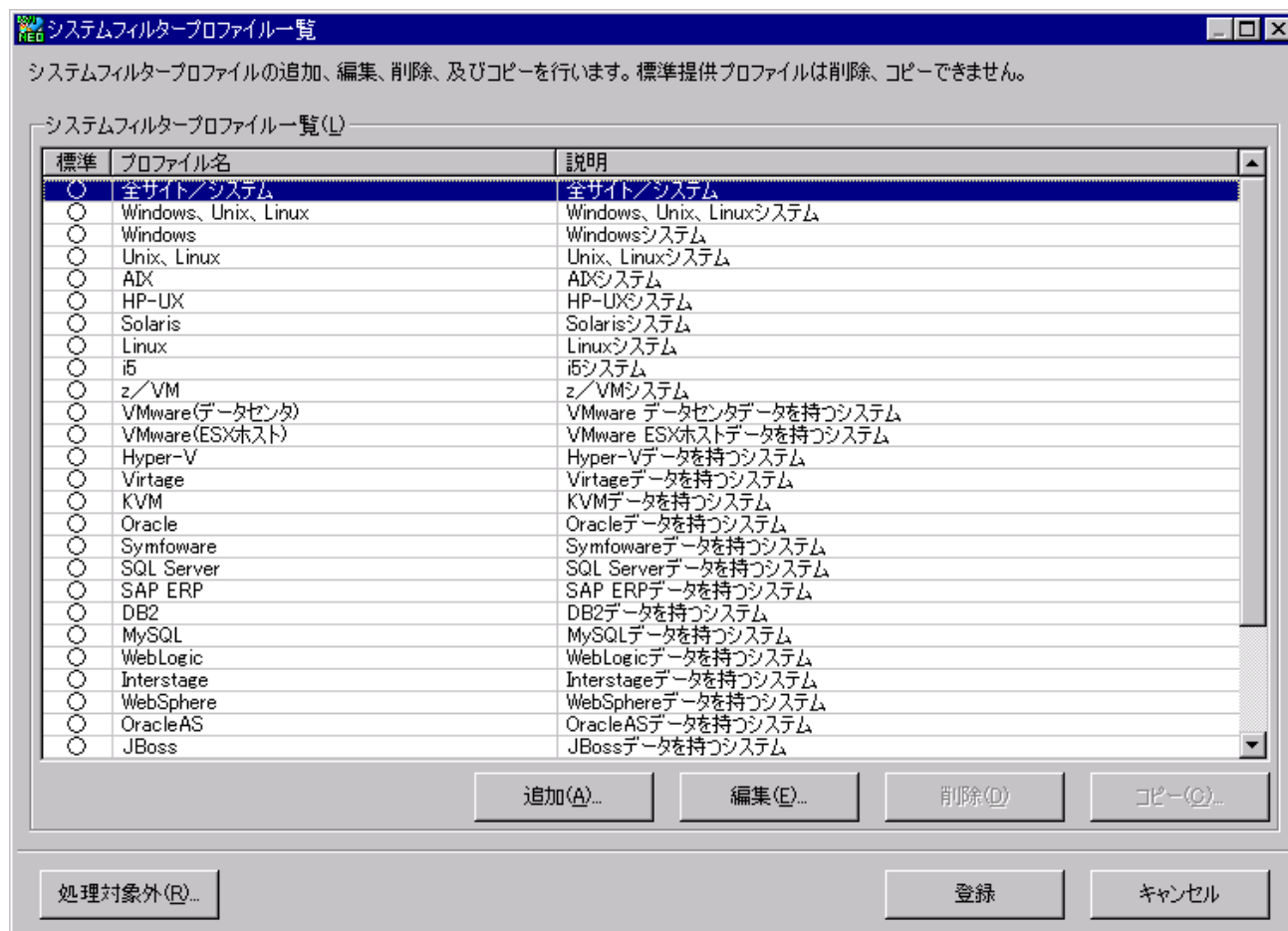
「環境(E)」メニューの「プロフィール設定(Q)」にある「システムフィルタプロフィール設定(G)...」を選択し、システムフィルタプロフィールの設定画面を起動します。



## 3.2. 設定方法

### 3.2.1. システムフィルタースプロファイル一覧

「システムフィルタースプロファイル一覧」画面では、システムフィルタースプロファイルの一覧が表示され、各プロファイルの追加、編集、削除、コピーを行うことができます。また、全システムフィルタースプロファイルを通して処理対象外とするシステムを一括して設定することができます。



(1) システムフィルタースプロファイル一覧 (L)

項目	説明
標準	標準プロファイルの場合、「○」が表示されます。
プロファイル名	プロファイルの名前です。
説明	プロファイルの説明です。

#### ① 追加(A)

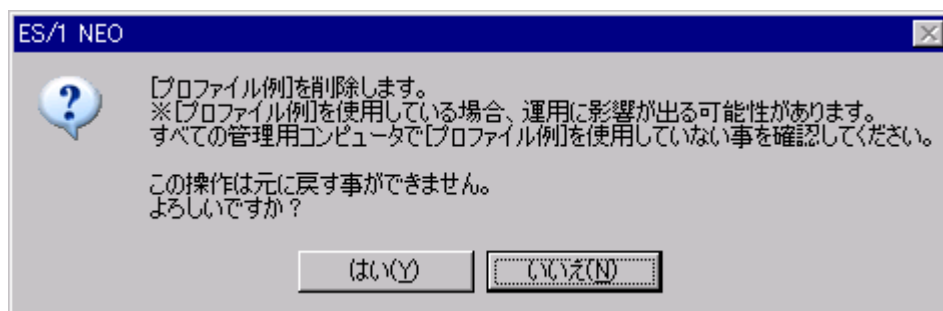
[追加(A)...] ボタンを押下すると、「3.2.4. システムフィルタースプロファイル詳細」画面が表示されます。

#### ② 編集(E)

編集するプロファイルを選択し、[編集(E)...] ボタンを押下すると、「3.2.4. システムフィルタースプロファイル詳細」画面が表示されます。

## ③削除(D)

削除するプロフィールを選択し、[削除(D)]ボタンを押下すると、削除確認メッセージが表示されます。



[はい(Y)]を選択すると、プロフィールが削除されます。

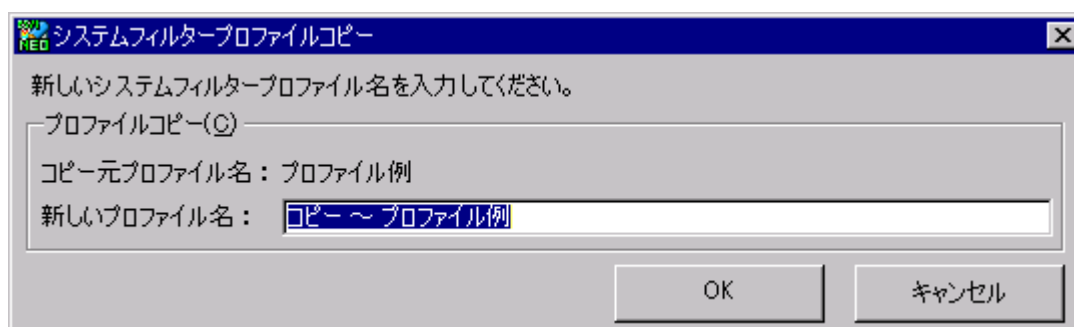
[いいえ(N)]を選択すると、削除を実行せず「システムフィルタプロフィール一覧」画面に戻ります。

**注意！**

プロフィールがすべての管理用マシンで使用されていない事を確認してから削除してください。CS-MAGIC や Flatfile Maintenance で使用しているプロフィールを削除した場合、運用に影響が出る可能性があります。

## ④コピー(C)

コピーするプロフィールを選択し、[コピー(C)...]ボタンを押下します。



新しいシステムフィルタプロフィール名を入力し、[OK]ボタンを押下すると、新たなシステムフィルタプロフィールが作成されます。

[キャンセル]ボタンを押下すると、新しいシステムフィルタプロフィールは作成されず、「システムフィルタプロフィール一覧」画面に戻ります。

## (2)処理対象外(R)

[処理対象外(R)...]ボタンを押下すると、「3.2.2.処理対象外システム一覧」画面が表示されます。

## (3)登録

[登録]ボタンを押下すると、設定をファイルに保存し元の画面に戻ります。

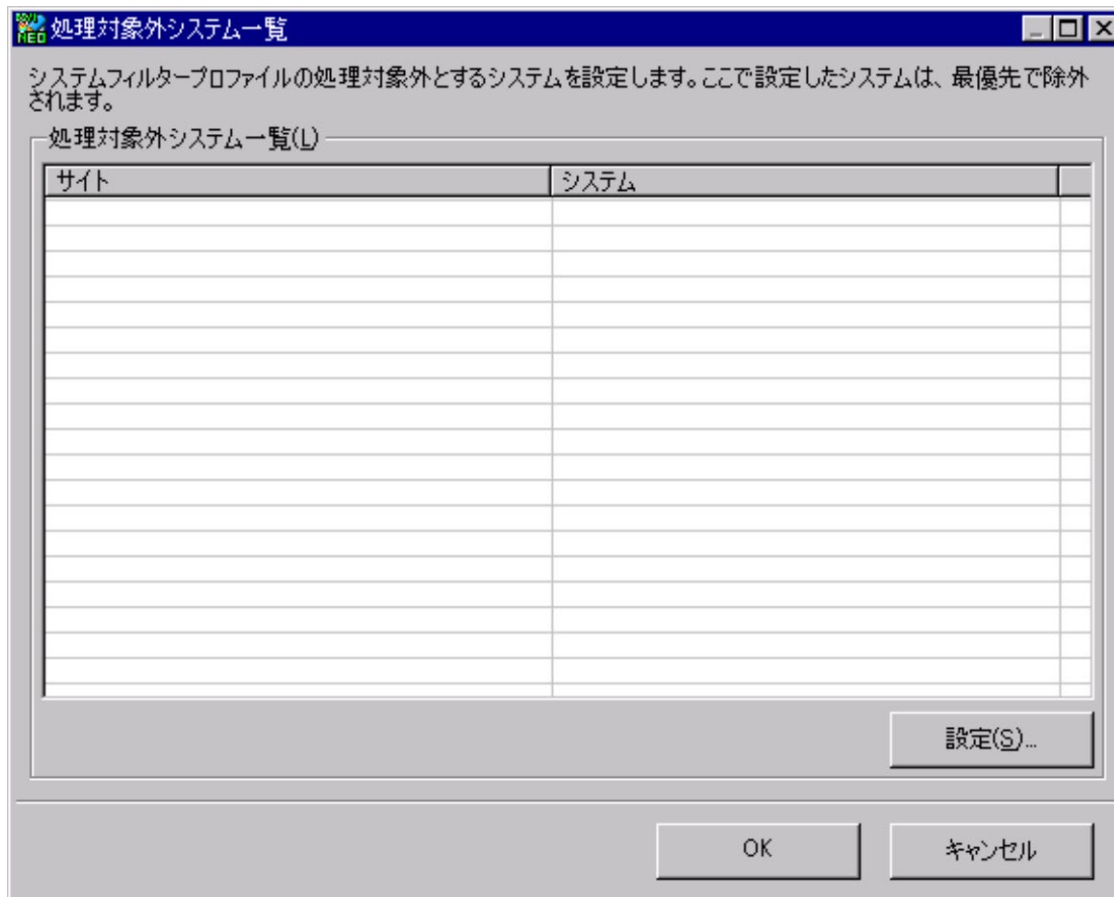
## (4)キャンセル

[キャンセル]ボタンを押下すると、設定を保存せずに元の画面に戻ります。

### 3.2.2. 処理対象外システム一覧

「処理対象外システム一覧」画面では、プロフィール機能上で処理対象外とするシステムを設定します。使用されなくなるサーバや管理対象外となるサーバなどを処理対象外システムとして登録します。

処理対象外に設定したシステムは、各種プロフィール設定時に非表示となり、プロフィールを設定した CS-MAGIC、Flatfile Maintenance を実行した際に処理対象外となります。



#### (1)処理対象外システム一覧(L)

項目	説明
サイト	処理対象外となるサイトです。
システム	処理対象外となるシステムです。

##### ①設定(S)

[設定(S)...]ボタンを押下すると、「3.2.3.処理対象外システム入力」画面が表示されます。

##### (2)OK

[OK]ボタンを押下すると、設定を保存し「システムフィルタープロフィール一覧」画面に戻ります。

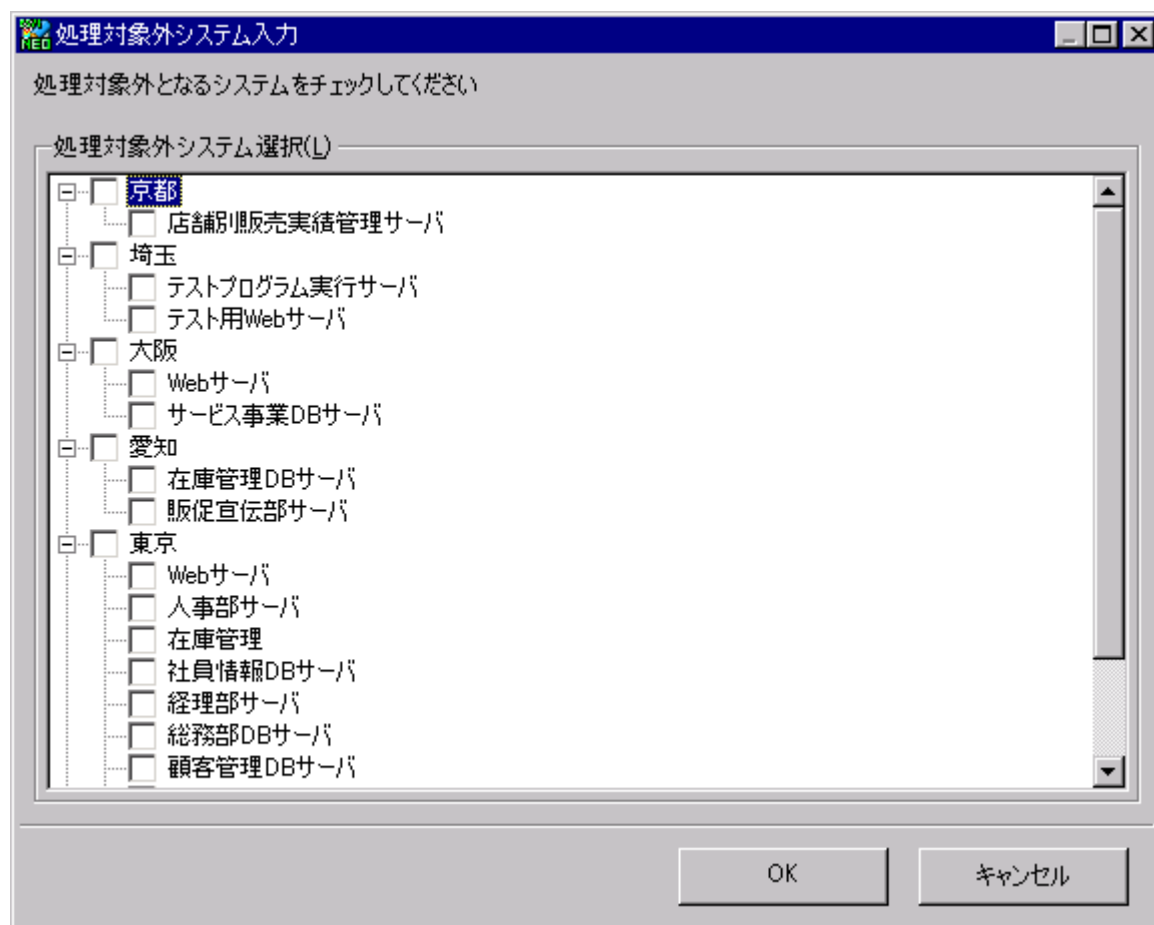
##### (3)キャンセル

[キャンセル]ボタンを押下すると、設定を保存せずに「システムフィルタープロフィール一覧」画面に戻ります。



### 3.2.3. 処理対象外システム入力

「処理対象外システム入力」画面では、処理対象外システムの入力を行います。



(1)処理対象外システム選択(L)

システムフィルタープロフィールで処理対象外とするシステムをチェックします。

(2)OK

[OK]ボタンを押下すると、設定を保存し「処理対象外システム一覧」画面に戻ります。

(3)キャンセル

[キャンセル]ボタンを押下すると、設定を保存せずに「処理対象外システム一覧」画面に戻ります。

### 3.2.4. システムフィルタプロファイル詳細

「システムフィルタプロファイル詳細」画面では、システムフィルタプロファイルの追加、編集を行います。

[illegible]

(1)システムフィルタプロファイル名(N)

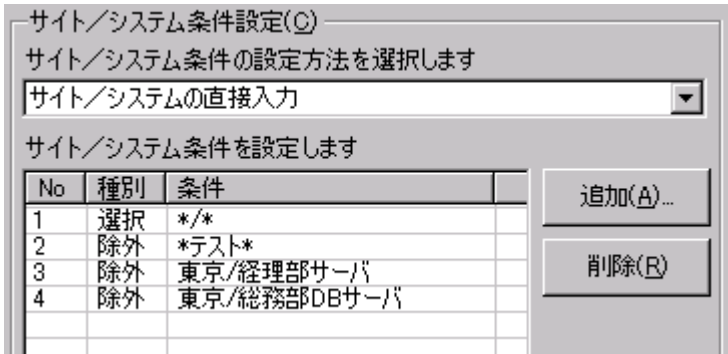
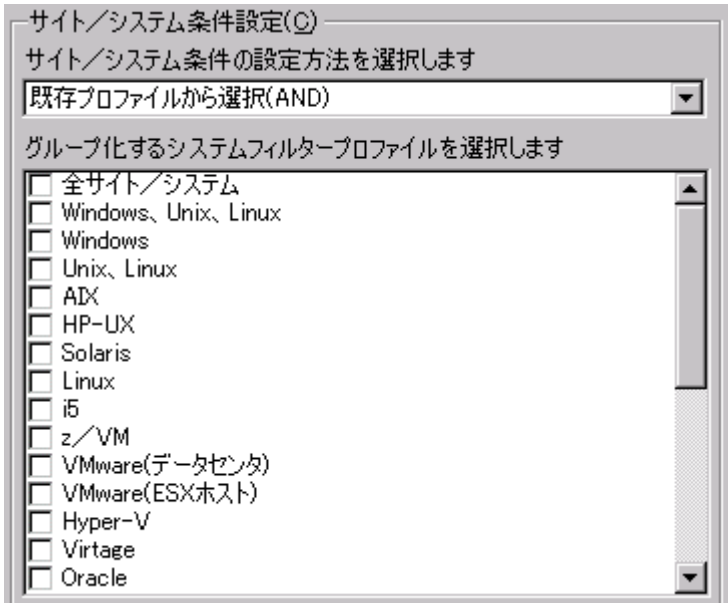
定義するシステムフィルタープロファイルに一意の名前と、説明を入力します。

プロファイル名は各プロダクトでプロファイルを選択するコンボボックスに表示され、説明はその際にツールチップとして表示されます。

## (2)サイト／システム条件設定(C)

## ①サイト／システム条件の設定方法

「サイト／システム条件の設定方法」の選択によって入力方法が変わります。

項目	説明
サイト／システムの直接入力	<p>サイト／システム条件を直接入力します。 条件は上から順番に解釈され、最終的にマッチしているサイト／システムが対象となります。</p> <p>(例)設定例</p>  <p>設定例の解釈は下記の通りになります。</p> <p>1 行目：すべてのサイト／システムが対象となります。</p> <p>2 行目：1 行目の状態から、「テスト」の文字が入ったシステムが除外されます。</p> <p>3、4 行目：2 行目の状態から、「東京／経理部サーバ」、「東京／総務部 DB サーバ」が除外され、最終的に残ったシステムが対象となります。</p>
既存プロフィールから選択(AND)	<p>対象サイト／システムを既存プロフィールから AND 条件で選択します。 既存プロフィールは、標準プロフィールと「既存プロフィールから選択(AND)」以外で作成したプロフィールが対象となります。 選択した既存プロフィールの条件にすべてマッチしているサイト／システムが対象となります。</p> 

**②追加(A)**

- ①の「サイト／システムの直接入力」が選択されている場合に表示されます。  
[追加(A)...]ボタンを押下すると、「3.2.5.サイト／システム条件入力」画面が表示されます。

**③削除(R)**

- ①の「サイト／システムの直接入力」が選択されている場合に表示されます。  
条件を選択し、[削除(R)...]ボタンを押下すると、選択した条件が削除されます。

**④上へ(U)**

- ①の「サイト／システムの直接入力」が選択されている場合に表示されます。  
条件を選択し、[上へ(U)...]ボタンを押下すると、選択した条件が1行上に移動します。

**⑤下へ(D)**

- ①の「サイト／システムの直接入力」が選択されている場合に表示されます。  
条件を選択し、[下へ(D)...]ボタンを押下すると、選択した条件が1行下に移動します。

**(3)サイト／システム一覧プレビュー(P)**

「サイト／システム条件設定(C)」にマッチするサイト／システムが表示されます。ただし、処理対象外システムは表示されません。

**①除外されたサイト／システムを表示(J)**

- チェックするとすべてのサイト／システムが表示されます。その際、除外されたシステムはグレーで表示されます。

**(4)OK**

[OK]ボタンを押下すると、設定を保存し「システムフィルタープロフィール一覧」画面に戻ります。

**(5)キャンセル**

[キャンセル]ボタンを押下すると、設定を保存せずに「システムフィルタープロフィール一覧」画面に戻ります。

### 3.2.5. サイト／システム条件入力

「サイト／システム条件入力」画面では、「(1)条件種別(C)」を選択し、次に「(2)サイト／システム条件入力」を入力し、サイト／システムの条件を作成します。

#### (1)条件種別(C)

サイト／システムの条件種別を選択します。

(2)の「サイト／システム条件入力(I)」を選択条件としたい場合は「選択」を、除外条件としたい場合は「除外」を選択します。

#### (2)サイト／システム条件入力(I)

選択、または除外するサイト／システムを入力します。

(3)の「サイト／システム選択(S)」からシステムを追加し編集することができます。新規に条件を入力する場合は、空行をダブルクリックすることで入力できます。

条件にはワイルドカードとして '?' と '\*' が指定可能であり、それぞれ、任意の 1 文字、0 文字以上の任意の文字にマッチします。ワイルドカードの指定をした場合、プロフィール設定後に追加されたサイト／システムでも条件にマッチすれば対象になります。

### (3) サイト／システム選択(S)

処理対象外システムを除いた全サイト／システムが表示されます。

選択したシステムを(2)の「サイト／システム条件入力(I)」に追加することができます。

#### ① << 追加(D)

[<< 追加(D)]ボタンを押下すると、チェックしたシステムを(2)の「サイト／システム条件入力(I)」に追加します。

全サイト／システムにチェックがある場合「\*/\*」、サイト内のすべてのシステムにチェックがある場合「サイト名/\*」が追加されます。

#### ② 全選択(A)

[全選択(A)]ボタンを押下すると、表示されているすべてのサイト／システムをチェックします。

#### ③ 全解除(R)

[全解除(R)]ボタンを押下すると、表示されているすべてのサイト／システムのチェックを外します。

### (4) OK

[OK]ボタンを押下すると、設定を保存し「システムフィルタプロフィール詳細」画面に戻ります。

### (5) キャンセル

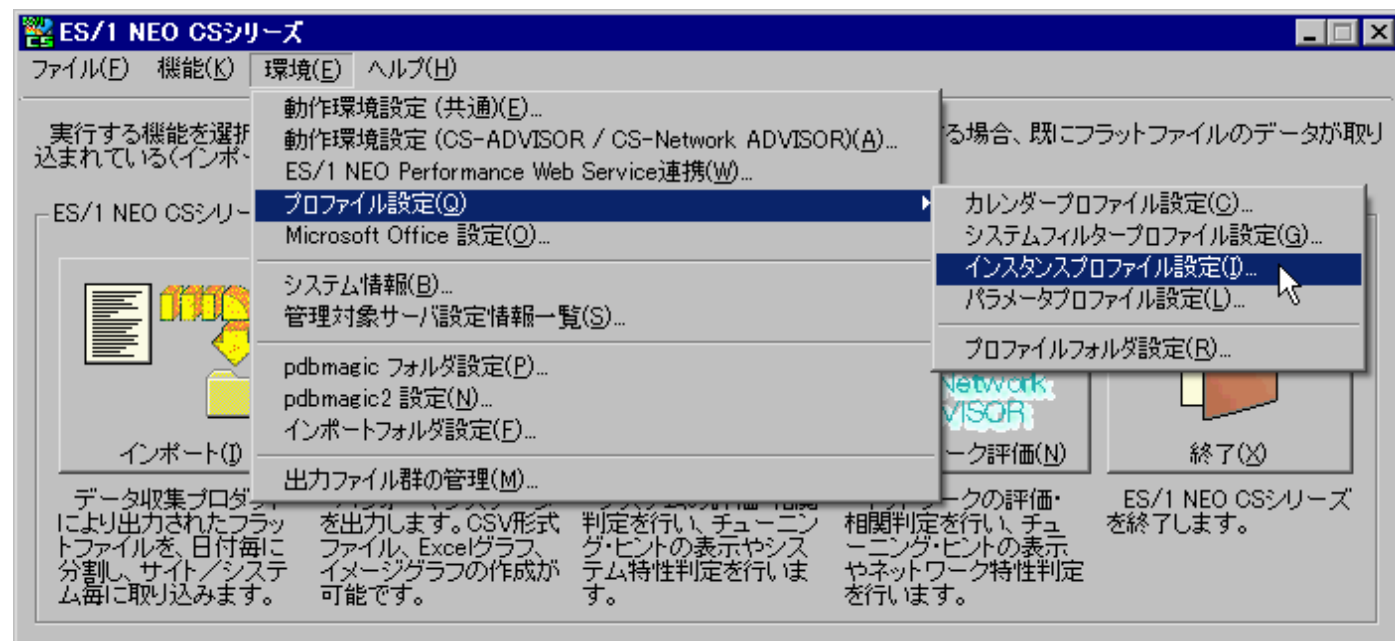
[キャンセル]ボタンを押下すると、設定を保存せずに「システムフィルタプロフィール詳細」画面に戻ります。

## 第4章 インスタンスプロフィール

### 4.1. 起動方法

ES/1 NEO CS シリーズを起動します。

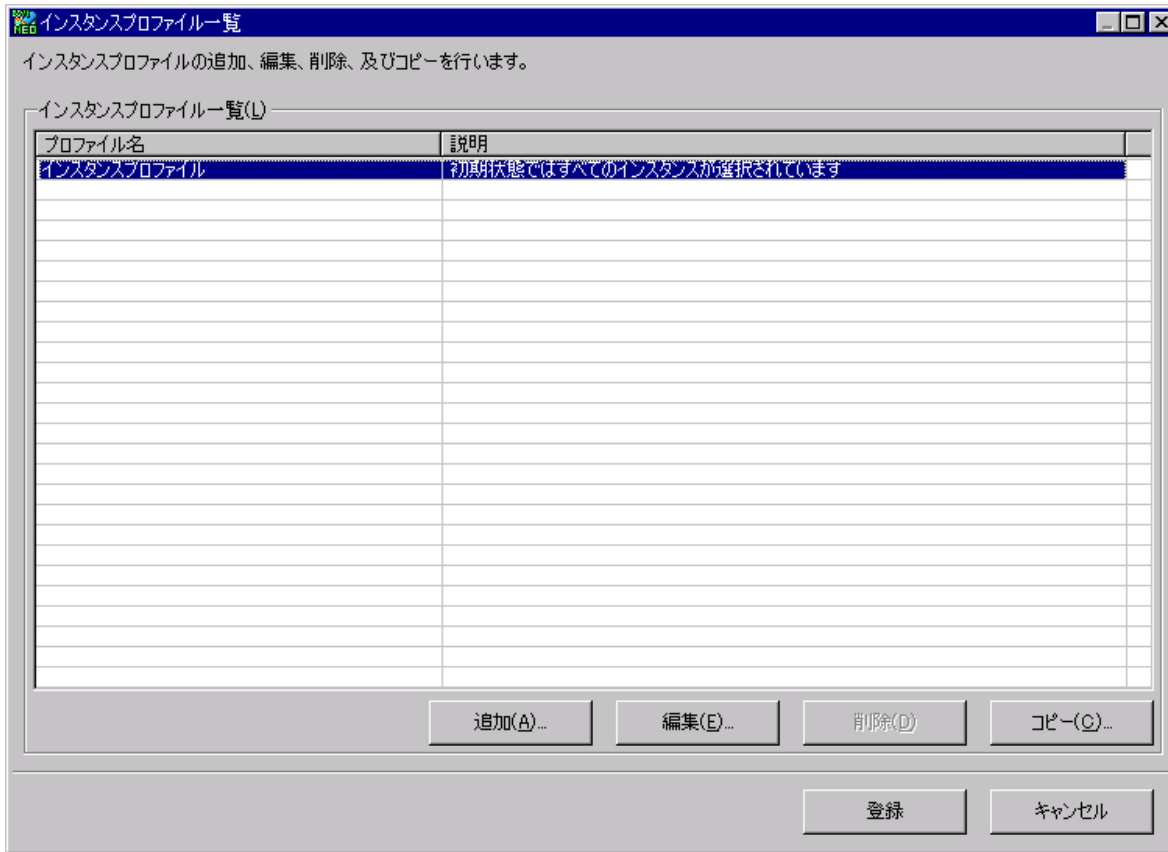
「環境(E)」メニューの「プロフィール設定(Q)」にある「インスタンスプロフィール設定(I)...」を選択し、インスタンスプロフィールの設定画面を起動します。



## 4.2. 設定方法

### 4.2.1. インスタンスプロフィール一覧

「インスタンスプロフィール一覧」画面では、インスタンスプロフィールの一覧が表示され、各プロフィールの追加、編集、削除、コピーを行うことができます。



#### (1) インスタンスプロフィール一覧(L)

項目	説明
プロフィール名	プロフィールの名前です。
説明	プロフィールの説明です。

#### ① 追加(A)

[追加(A)...]ボタンを押下すると、「4.2.2. インスタンスプロフィール詳細」画面が表示されます。

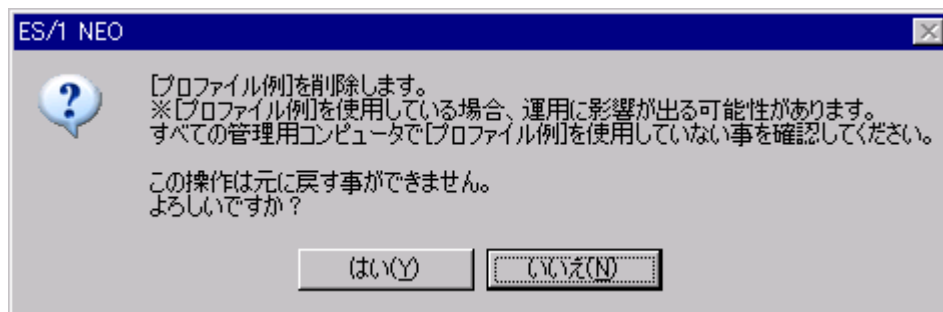
#### ② 編集(E)

編集するプロフィールを選択し、[編集(E)...]ボタンを押下すると、「4.2.2. インスタンスプロフィール詳細」画面が表示されます。



## ③削除(D)

削除するプロフィールを選択し、[削除(D)]ボタンを押下すると、削除確認メッセージが表示されます。



[はい(Y)]を選択すると、プロフィールが削除されます。

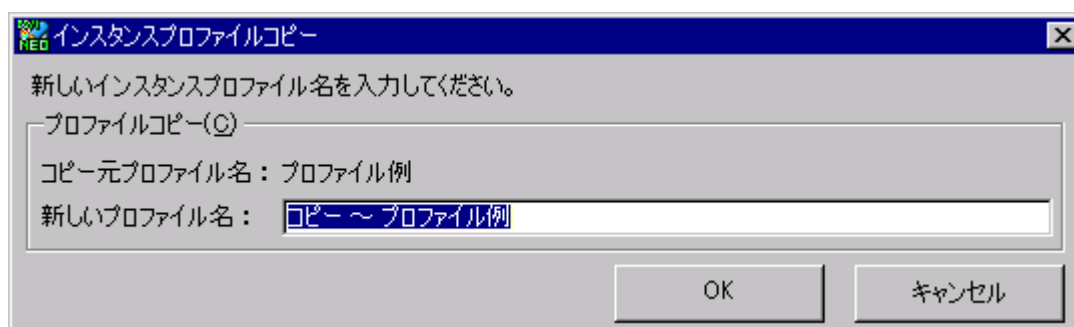
[いいえ(N)]を選択すると、削除を実行せず「インスタンスプロフィール一覧」画面に戻ります。

**注意！**

プロフィールがすべての管理用マシンで使用されていない事を確認してから削除してください。CS-MAGIC や Flatfile Maintenance で使用しているプロフィールを削除した場合、運用に影響が出る可能性があります。

## ④コピー(C)

コピーするプロフィールを選択し、[コピー(C)...]ボタンを押下します。



新しいインスタンスプロフィール名を入力し、[OK]ボタンを押下すると、新たなインスタンスプロフィールが作成されます。

[キャンセル]ボタンを押下すると、新しいインスタンスプロフィールは作成されず、「インスタンスプロフィール一覧」画面に戻ります。

## (2)登録

[登録]ボタンを押下すると、設定をファイルに保存し元の画面に戻ります。

## (3)キャンセル

[キャンセル]ボタンを押下すると、設定を保存せずに元の画面に戻ります。

### 4.2.2. インスタンスプロフィール詳細

「インスタンスプロフィール詳細」画面では、インスタンスプロフィールの追加、編集を行います。

インスタンスプロフィールの追加、編集を行います。

インスタンスプロフィール名(N)  
インスタンスプロフィール名を入力します

説明を入力します

カテゴリ選択(O)  
カテゴリ毎にインスタンス条件を入力します

すべて

カテゴリ	出力対象
Oracle ドメイン名	すべて
Oracle データベース名	すべて
SQL Server インスタンス名	すべて
SQL Server データベース名	すべて
Symfoware RDBシステム名	すべて
SAP ERP インスタンス名	すべて
DB2 ノード名	すべて
DB2 データベース名	すべて
WebLogic ドメイン名	すべて
WebLogic サーバ名	すべて
Interstage ワークユニット名	すべて
Interstage JDBCデータソース名	すべて
WebSphere セル名	すべて
WebSphere ノード名	すべて
WebSphere プロセス名	すべて
WebSphere JDBCプロバイダ名	すべて

編集(E)...

プレビュー(P)... OK キャンセル

#### (1) インスタンスプロフィール名(N)

定義するインスタンスプロフィールに一意の名前と、説明を入力します。

プロフィール名は各プロダクトでプロフィールを選択するコンボボックスに表示され、説明はその際にツールチップとして表示されます。

(2)カテゴリ選択(C)

インスタンス条件を編集するカテゴリを選択します。カテゴリの表示は、コンボボックスの選択によりフィルタリングできます。

項目	説明
カテゴリ	インスタンス条件を設定する単位です。
出力対象	インスタンスの出力対象を表示します。 すべて：すべてのインスタンスが選択されている状態です。 一部：一部のインスタンスが選択されている状態です。

①編集(E)

[編集(E)...]ボタンを押下すると、「4.2.4.インスタンス条件設定」画面が表示されます。

(3)プレビュー(P)

[プレビュー(P)...]ボタンを押下すると、「4.2.3.インスタンスプレビュー」画面が表示されます。

(4)OK

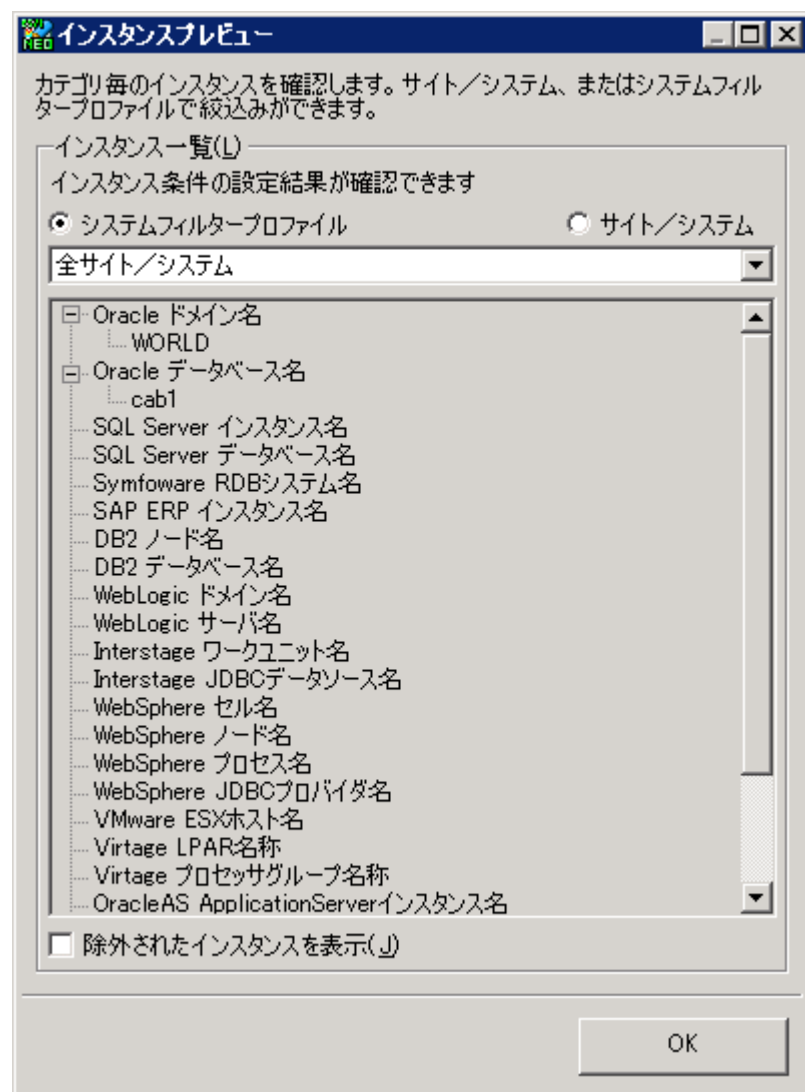
[OK]ボタンを押下すると、設定を保存し「インスタンスプロフィール一覧」画面に戻ります。

(5)キャンセル

[キャンセル]ボタンを押下すると、設定を保存せずに「インスタンスプロフィール一覧」画面に戻ります。

### 4.2.3. インスタンスプレビュー

「インスタンスプレビュー」画面では、インスタンス条件にマッチするインスタンスがカテゴリ毎に表示されます。



#### (1) インスタンス一覧(L)

サイト/システム、またはシステムフィルタープロフィールで絞り込んで確認できます。

##### ① 除外されたインスタンスを表示(J)

チェックするとすべてのインスタンスが表示されます。その際、除外されたインスタンスはグレーで表示されます。

#### (2) OK

[OK]ボタンを押下すると、「インスタンスプロフィール詳細」画面に戻ります。

#### 4.2.4. インスタンス条件設定

「インスタンス条件設定」画面では、インスタンス条件の追加、編集を行います。

インスタンス条件設定 [Oracle ドメイン名]

インスタンス条件の追加・編集を行います。特定システムの条件を設定した場合は、インスタンス条件設定プレビューのサイト/システムで確認できます。

インスタンス条件設定(C)  
インスタンス条件を設定します

No	種別	システム	条件
1	選択	<すべて>/<すべて>	*

追加(A)...  
削除(R)  
上へ(U)  
下へ(D)

インスタンス条件設定プレビュー(P)  
インスタンス条件の設定結果が確認できます

☒ システムフィルタープロファイル ☐ サイト/システム

全サイト/システム

WORLD

☐ 除外されたインスタンスを表示(L)

OK キャンセル

##### (1) インスタンス条件設定(C)

出力されるインスタンスの条件を設定します。

条件は上から順番に解釈され、最終的にマッチしているインスタンスが対象となります。

##### (設定例)

インスタンス条件設定(C)			
インスタンス条件を設定します			
No	種別	システム	条件
1	選択	<すべて>/<すべて>	*
2	除外	<すべて>/<すべて>	instance*
3	選択	<すべて>/<すべて>	instance2

設定例の解釈は下記の通りになります。

1 行目：すべてのインスタンスが対象となります。

2 行目：1 行目の状態から、「instance」から始まるインスタンスがすべて除外されます。

3 行目：2 行目の状態から、「instance2」というインスタンスを対象とし、最終的に残ったインスタンスが対象となります。

## ①追加(A)

[追加(A)...]ボタンを押下すると、「4.2.5.インスタンス条件入力」画面が表示されます。

## ②削除(R)

条件を選択し、[削除(R)]ボタンを押下すると、選択した条件が削除されます。

## ③上へ(U)

条件を選択し、[上へ(U)]ボタンを押下すると、選択した条件が1行上に移動します。

## ④下へ(D)

条件を選択し、[下へ(D)]ボタンを押下すると、選択した条件が1行下に移動します。

## (2)インスタンス一覧プレビュー(P)

「インスタンス条件設定(C)」にマッチするインスタンスが表示されます。

サイト／システム、またはシステムフィルタープロフィールで絞り込んで確認できます。ただし、処理対象外システムのインスタンスは対象となりません。

## ①除外されたインスタンスを表示(J)

チェックするとすべてのインスタンスが表示されます。その際、除外されたインスタンスはグレーで表示されます。

## (3)OK

[OK]ボタンを押下すると、設定を保存し「インスタンスプロフィール詳細」画面に戻ります。

## (4)キャンセル

[キャンセル]ボタンを押下すると、設定を保存せずに「インスタンスプロフィール詳細」画面に戻ります。

#### 4.2.5. インスタンス条件入力

「インスタンス条件入力」画面では、「(1)システム・インスタンス選択(L)」でシステム、インスタンスを選択し、次に「(2)インスタンス条件入力」を入力し、インスタンスの条件を入力します。

##### (1)システム・インスタンス選択(L)

選択したサイト/システム、またはシステムフィルタープロファイルの全インスタンスが表示されます。ただし、処理対象外システムのインスタンスは表示されません。

##### (2)インスタンス条件入力(I)

「(1)システム・インスタンス選択」からインスタンスを追加します。インスタンス条件を編集する場合は、行をダブルクリックすることで編集することができます。

条件にはワイルドカードとして '?' と '\*' が指定可能であり、それぞれ、任意の 1 文字、0 文字以上の任意の文字にマッチします。ワイルドカードの指定をした場合、プロフィール設定後に追加されたインスタンスでも条件にマッチすれば対象になります。

##### (3)ボタン

###### ①選択(S)>>

[選択(S)>>]ボタンを押下すると、「(1)システム・インスタンス選択」で選択したシステム・インスタンスを(2)の「インスタンス条件入力」に「選択」条件として追加します。

###### ②除外(E)>>

[除外(E)>>]ボタンを押下すると、「(1)システム・インスタンス選択」で選択したシステム・インスタンスを(2)の「インスタンス条件入力」に「除外」条件として追加します。

###### ③<<削除(R)

[<<削除(R)]ボタンを押下すると、「(2)インスタンス条件入力」で選択したシステム・インスタンスを一覧から取り除きます。

(4)OK

[OK]ボタンを押下すると、設定を保存し「インスタンス条件設定」画面に戻ります。

(5)キャンセル

[キャンセル]ボタンを押下すると、設定を保存せずに「インスタンス条件設定」画面に戻ります。

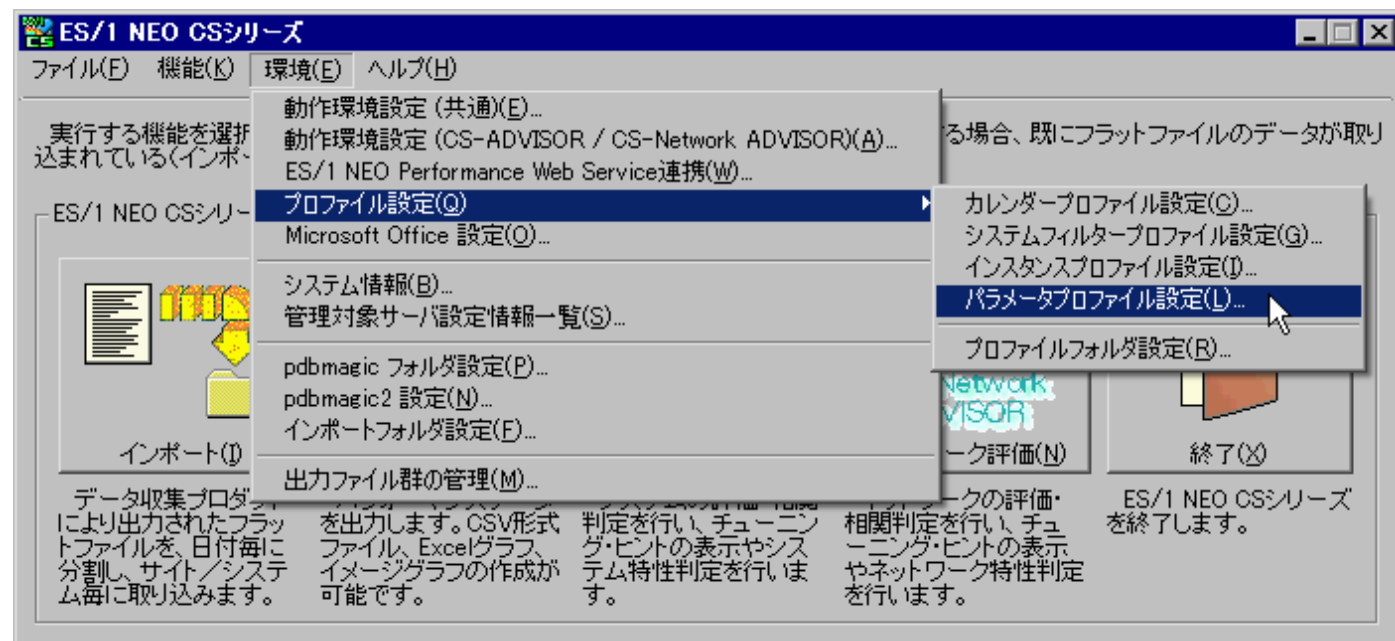


## 第5章 パラメータプロフィール

### 5.1. 起動方法

ES/1 NEO CS シリーズを起動します。

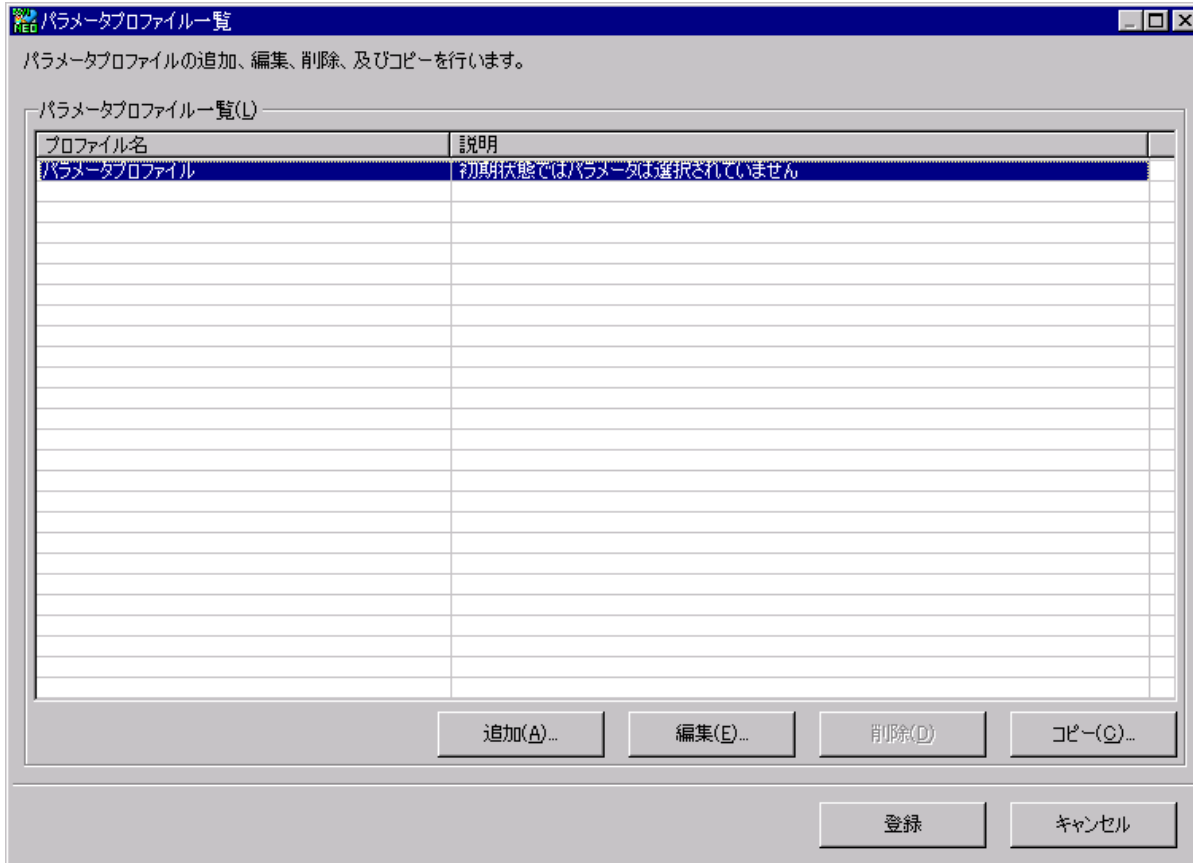
「環境(E)」メニューの「プロフィール設定(Q)」にある「パラメータプロフィール設定(L)...」を選択し、インスタンスプロフィールの設定画面を起動します。



## 5.2. 設定方法

### 5.2.1. パラメータプロフィール一覧

「パラメータプロフィール一覧」画面では、パラメータプロフィールの一覧が表示され、各プロフィールの追加、編集、削除、コピーを行うことができます。



#### (1)パラメータプロフィール一覧 (L)

項目	説明
プロフィール名	プロフィールの名前です。
説明	プロフィールの説明です。

#### ①追加(A)

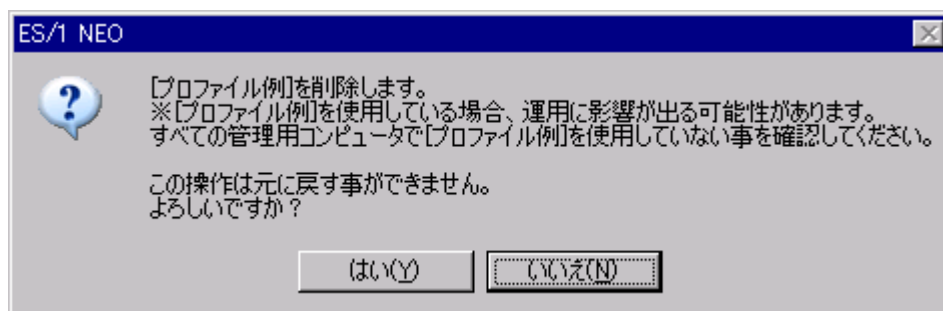
[追加(A)...]ボタンを押下すると、「5.2.2.パラメータプロフィール詳細」画面が表示されます。

#### ②編集(E)

編集するプロフィールを選択し、[編集(E)...]ボタンを押下すると、「5.2.2.パラメータプロフィール詳細」画面が表示されます。

## ③削除(D)

削除するプロファイルを選択し、[削除(D)]ボタンを押下すると、削除確認メッセージが表示されます。



[はい(Y)]を選択すると、プロファイルが削除されます。

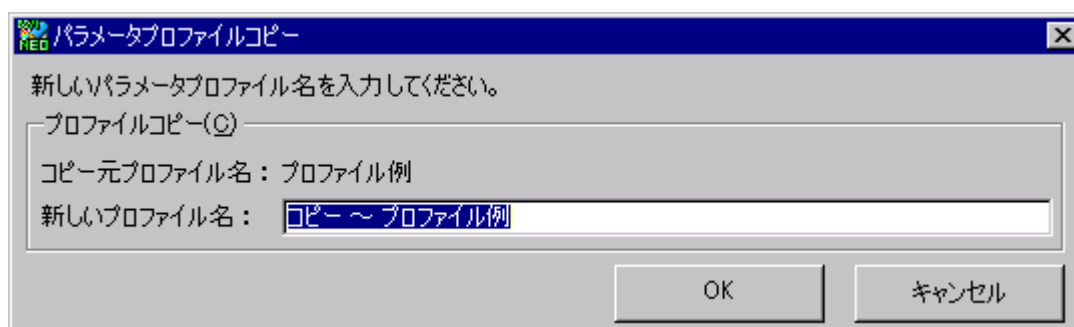
[いいえ(N)]を選択すると、削除を実行せず「パラメータプロファイル一覧」画面に戻ります。

**注意！**

プロファイルがすべての管理用マシンで使用されていない事を確認してから削除してください。CS-MAGIC や Flatfile Maintenance で使用しているプロファイルを削除した場合、運用に影響が出る可能性があります。

## ④コピー(C)

コピーするプロファイルを選択し、[コピー(C)...]ボタンを押下します。



新しいパラメータプロファイル名を入力し、[OK]ボタンを押下すると、新たなパラメータプロファイルが作成されます。

[キャンセル]ボタンを押下すると、新しいパラメータプロファイルは作成されず、「パラメータプロファイル一覧」画面に戻ります。

## (2)登録

[登録]ボタンを押下すると、設定をファイルに保存し元の画面に戻ります。

## (3)キャンセル

[キャンセル]ボタンを押下すると、設定を保存せずに元の画面に戻ります。

### 5.2.2. パラメータプロファイル詳細

「パラメータプロファイル詳細」画面では、パラメータプロファイルの追加、編集を行います。

**パラメータプロファイル詳細**

パラメータプロファイルの追加、編集を行います。

パラメータプロファイル名(N)  
 パラメータプロファイル名を入力します

説明を入力します

カテゴリ選択(C)  
 カテゴリ毎にパラメータを入力します

カテゴリ	出力対象	
デバイス名	なし	
VMware データストア名	なし	
iSeries IOP資源名	なし	
iSeries 装置資源名	なし	
iSeries 記憶域プール番号	なし	
z/VM ユーザ名	なし	

編集(E)...

OK キャンセル

(1)パラメータファイル名(N)

定義するパラメータプロファイルに一意の名前と、説明を入力します。

プロフィール名は各プロダクトでプロフィールを選択するコンボボックスに表示され、説明はその際にツールチップとして表示されます。

## (2)カテゴリ選択(C)

対象パラメータを編集するカテゴリを選択します。

項目	説明
カテゴリ	パラメータを設定する単位です。
出力対象	パラメータの出力対象を表示します。 なし：出力対象のパラメータが無い状態です。 あり：出力対象のパラメータが有る状態です。

## ①編集(E)

[編集(E)...]ボタンを押下すると、「5.2.3.パラメータ設定」画面が表示されます。

## (3)OK

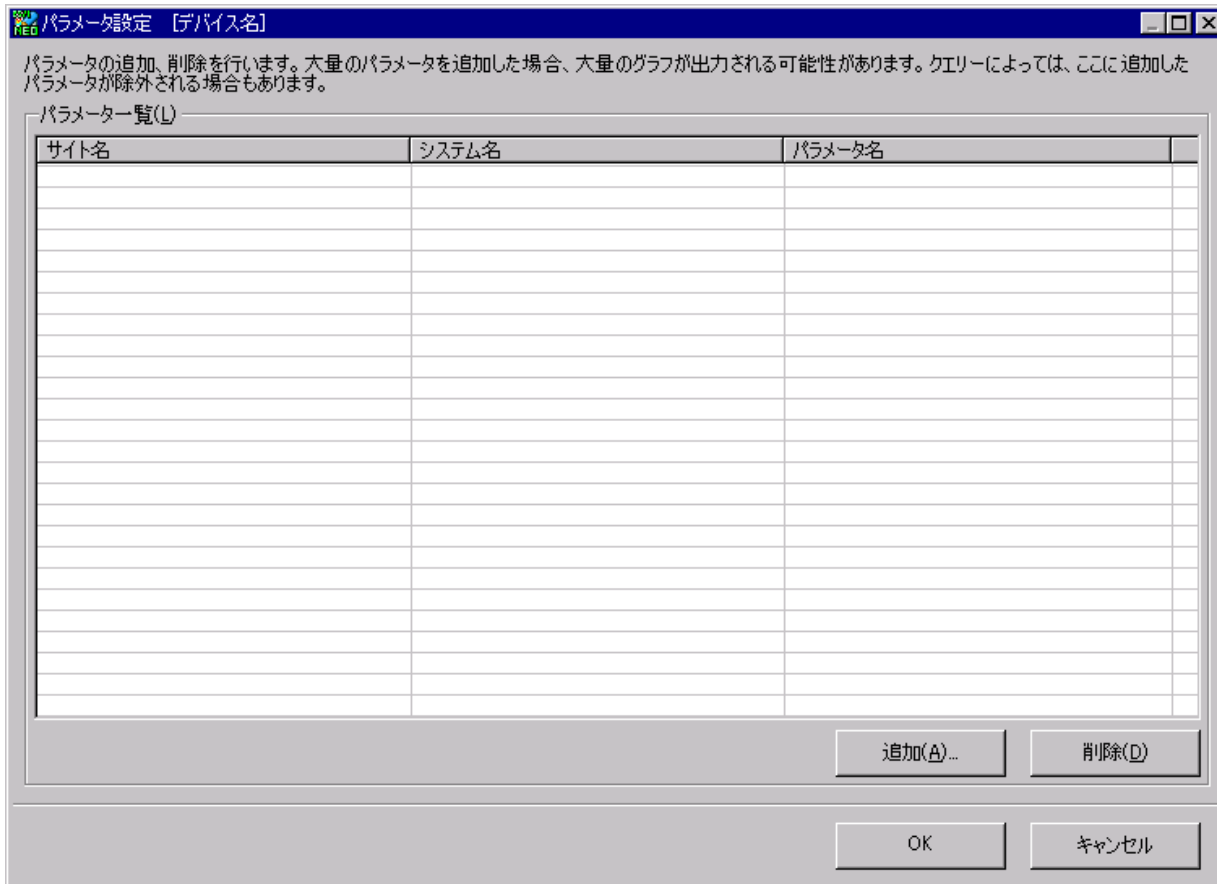
[OK]ボタンを押下すると、設定を保存し「パラメータプロフィール一覧」画面に戻ります。

## (4)キャンセル

[キャンセル]ボタンを押下すると、設定を保存せずに「パラメータプロフィール一覧」画面に戻ります。

### 5.2.3. パラメータ設定

「パラメータ設定」画面では、パラメータの追加、削除を行います。



#### (1)パラメーター一覧(L)

サイト／システム毎に設定したパラメータが表示されます。

##### ①追加(A)

[追加(A)...]ボタンを押下すると、「5.2.4.パラメータ入力」画面が表示されます。

##### ②削除(D)

パラメータを選択し、[削除(D)]ボタンを押下すると、選択したパラメータが削除されます。

#### (2)OK

[OK]ボタンを押下すると、設定を保存し「パラメータプロフィール詳細」画面に戻ります。

#### (3)キャンセル

[キャンセル]ボタンを押下すると、設定を保存せずに「パラメータプロフィール詳細」画面に戻ります。

#### 5.2.4. パラメータ入力

「パラメータ入力」画面では、対象とするパラメータを入力します。

##### (1) サイト／システム選択(S)

全サイト／システムが表示されます。ただし、処理対象外システムは表示されません。システム毎にパラメータを選択していきます。

##### (2) フラットファイル走査期間指定(F)

###### ① 最新日から過去に走査する日数

フラットファイルの走査日数を設定します。最新日から過去に走査する日数を指定します。

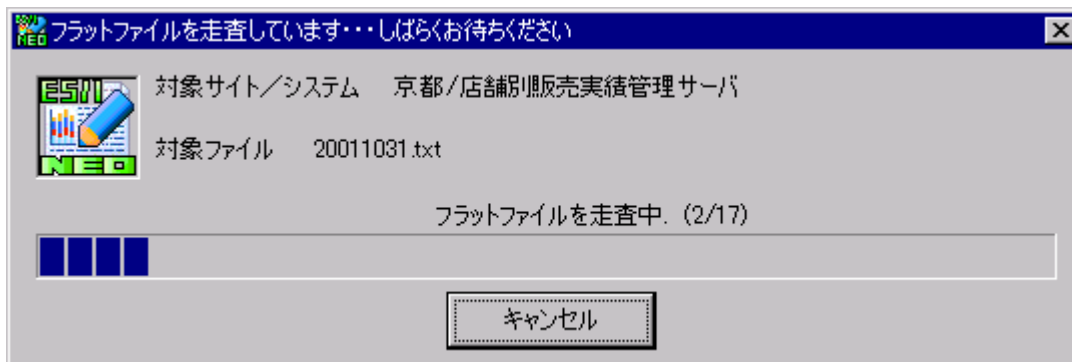
###### ② 全サイト／システムを走査対象とする

チェックすると、走査対象のサイト／システムが全サイト／システムになります。ただし、処理対象外システムは対象となりません。

全サイト／システムを走査する場合、時間が掛かる場合があります。

### ③走査開始(E)

[走査開始(E)]ボタンを押下すると、選択したシステムのフラットファイルを走査が開始され、進捗状況がプログレスバーで表示されます。



フラットファイルの走査実行中に[キャンセル]ボタンを押下すると、走査を中断することができます。

### (3)パラメータ選択(P)

フラットファイルからパラメータの走査を行うと、選択しているシステムのパラメータが表示されます。チェックしたパラメータが対象となります。フラットファイルに無い任意のパラメータも追加することができます。

#### ①全選択(A)

[全選択(A)]ボタンを押下すると、表示されているすべてのパラメータを選択します。

#### ②全解除(R)

[全解除(R)]ボタンを押下すると、表示されているすべてのパラメータの選択を解除します。

#### ③↑追加(D)

[↑追加(D)]ボタンを押下すると、入力したパラメータをリストに追加します。

### (4)OK

[OK]ボタンを押下すると、設定を保存し「パラメータ設定」画面に戻ります。

### (5)キャンセル

[キャンセル]ボタンを押下すると、設定を保存せずに「パラメータ設定」画面に戻ります。



## 第6章 出力要素数の制限定義

### 6.1. 起動方法

ES/1 NEO CS シリーズを起動します。

ここで「環境(E)」メニューの「動作環境設定 (共通)(E)」の「CSV/グラフオプション 2」タブにある「グラフ、資源ログ等に表示する項目数を制限(N)」の[設定...]ボタンを押下することにより、出力要素数の制限定義の設定画面が起動します。



## 6.2. 設定方法

### 6.2.1. 動作環境設定 - 出力要素数の制限定義のシステムへの割り当て一覧

「動作環境設定 - 出力要素数の制限定義のシステムへの割り当て一覧」画面では、各システムに割り当てられる「出力要素数の制限定義」の一覧が表示され、各割り当ての追加、編集、削除、上下移動（制限定義の優先順位の変更）を行うことができます。

また、サイト／システム毎にどの出力要素数の制限定義が割り当てられるかをプレビューで確認することができます。

**動作環境設定 - 出力要素数の制限定義のシステムへの割り当て一覧**

出力要素数の制限定義のシステムへの割り当ての追加、編集、削除、及び出力要素数の制限定義を作成します。出力要素数の制限定義の作成は、制限定義作成ボタン押下後の画面で行います。

出力要素数の制限定義のシステムへの割り当てリスト(L)

出力要素数の制限定義をシステムへ割り当てます。各システムに適用される出力要素数の制限定義の決定方法は、対象システムを割り当てリストの上から順番にマッチングさせ、最初にマッチしたシステムに対応する出力要素数の制限定義が、そのシステムで使用される定義となります。

No	システムフィルタプロフィール、またはサイト／システム	出力要素数の制限定義
1	[全サイト／システム]	既定

追加(A)...  
編集(E)...  
削除(D)  
上へ(U)  
下へ(D)

サイト／システム毎の出力要素数の制限定義プレビュー(P)

サイト／システム	出力要素数の制限定義
京都/店舗販売実績管理サーバ	既定
埼玉/テストプログラム実行サーバ	既定
埼玉/テスト用Webサーバ	既定
大阪/Webサーバ	既定
大阪/サービス事業DBサーバ	既定
愛知/在庫管理DBサーバ	既定
愛知/販促宣伝部サーバ	既定
東京/Webサーバ	既定
東京/人事部サーバ	既定
東京/在庫管理	既定
東京/仕入情報DBサーバ	既定

詳細(T)...

制限定義作成(O)...      登録      キャンセル

## (1)出力要素数の制限定義のシステムへの割り当てリスト(L)

出力要素数の制限定義をシステムへ割り当てます。

各システムに適用される出力要素数の制限定義の決定方法は、リストの上にある条件ほど優先順位が高くなります。対象システムを割り当てリストの上から順番にマッチングさせ、最初にマッチした出力要素数の制限定義がそのシステムで 사용되는定義となります。

項目	説明
No	項番です。
システムフィルタプロフィール、またはサイト／システム	出力要素数の制限定義の割り当て対象となるシステムです。システムフィルタプロフィール、またはサイト／システムの指定が可能です。
出力要素数の制限定義	対象システムへ割り当てる出力要素数の制限定義です。

## ①追加(A)

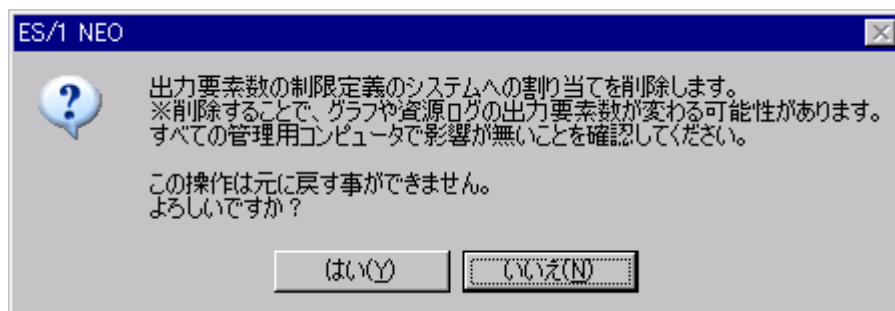
[追加(A)...]ボタンを押下すると、「6.2.2.動作環境設定 - 出力要素数の制限定義のシステムへの割り当て入力」画面が表示されます。

## ②編集(E)

編集する出力要素数の制限定義のシステムへの割り当てを選択し、[編集(E)...]ボタンを押下すると、「6.2.2.動作環境設定 - 出力要素数の制限定義のシステムへの割り当て入力」画面が表示されます。

## ③削除(R)

削除する出力要素数の制限定義のシステムへの割り当てを選択し、[削除(R)]ボタンを押下すると、削除確認メッセージが表示されます。



[はい(Y)]を選択すると、出力要素数の制限定義のシステムへの割り当てが削除されます。

[いいえ(N)]を選択すると、削除を実行せず「動作環境設定 - 出力要素数の制限定義のシステムへの割り当て一覧」画面に戻ります。

**注意！**

出力要素数の制限定義のシステムへの割り当ての削除操作は、プロフィールを共有するすべての管理用マシンに影響するため、事前に問題が無い事を確認してから削除してください。

④上へ(U)

出力要素数の制限定義のシステムへの割り当てを選択し、[上へ(U)]ボタンを押下すると、選択した出力要素数の制限定義のシステムへの割り当てが1行上に移動します。

⑤下へ(D)

出力要素数の制限定義のシステムへの割り当てを選択し、[下へ(D)]ボタンを押下すると、選択した出力要素数の制限定義のシステムへの割り当てが1行下に移動します。

**メモ！**

[全サイト／システム]と「既定」の出力要素数の制限定義のシステムへの割り当ては、削除、上下移動はできません。

(2)サイト／システム毎の出力要素数の制限定義プレビュー(P)

各サイト／システムに割り当てる出力要素数の制限定義の確認ができます。

項目	説明
サイト／システム	サイト／システムです。
出力要素数の制限定義	対象サイト／システムに割り当てられる出力要素数の制限定義名が表示されます。

①詳細(T)

[詳細(T)...]ボタンを押下すると、「6.2.4.出力要素数の制限定義詳細」画面を読み取り専用で表示します。選択した出力要素数の制限定義の詳細内容を確認することができます。

(3)制限定義作成(O)

[制限定義作成(O)...]ボタンを押下すると、「6.2.3.出力要素数の制限定義一覧」画面が表示されます。

(4)登録

[登録]ボタンを押下すると、設定をファイルに保存し元の画面に戻ります。

(5)キャンセル

[キャンセル]ボタンを押下すると、設定を保存せずに元の画面に戻ります。

### 6.2.2. 動作環境設定 – 出力要素数の制限定義のシステムへの割り当て入力

「動作環境設定 – 出力要素数の制限定義のシステムへの割り当て入力」画面では、サイト／システム、またはシステムフィルタープロフィールに出力要素数の制限定義を割り当てます。

#### (1) サイト／システム選択(S)

項目	説明
<対象サイト／システムを直接選択する>	サイト／システムを直接ツリーから選択します。
各システムフィルタープロフィール	サイト／システムの指定にシステムフィルタープロフィールを使用します。

#### ① 全選択(A)

[全選択(A)]ボタンを押下すると、表示されているすべてのサイト／システムをチェックします。

#### ② 全解除(R)

[全解除(R)]ボタンを押下すると、表示されているすべてのサイト／システムのチェックを外します。

(2)出力要素数の制限定義選択(T)

(1)で選択したサイト／システム、またはシステムフィルタープロフィールに割り当てる出力要素数の制限定義を選択します。

(3)OK

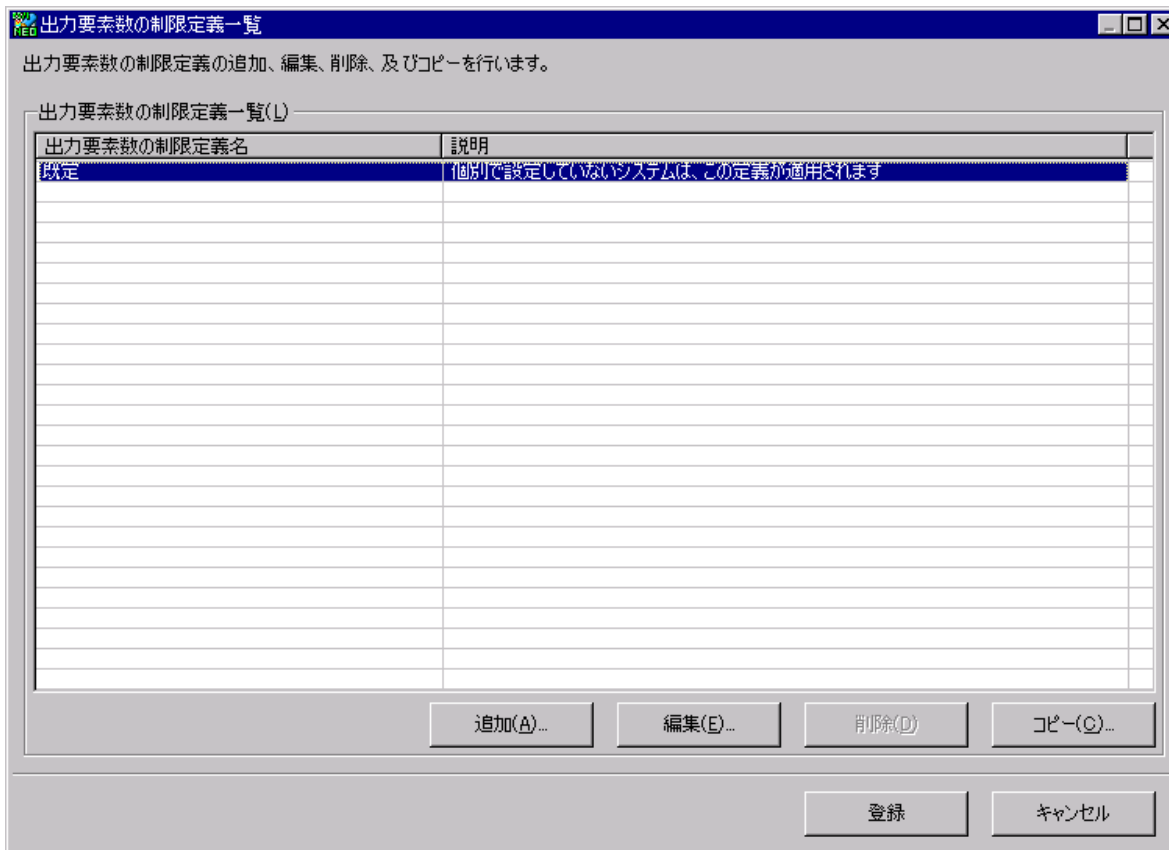
[OK]ボタンを押下すると、設定を保存し「動作環境設定 - 出力要素数の制限定義のシステムへの割り当て一覧」画面に戻ります。

(4)キャンセル

[キャンセル]ボタンを押下すると、設定を保存せずに「動作環境設定 - 出力要素数の制限定義のシステムへの割り当て一覧」画面に戻ります。

### 6.2.3. 出力要素数の制限定義一覧

「出力要素数の制限定義一覧」画面では、出力要素数の制限定義の一覧が表示され、各出力要素数の制限定義の追加、編集、削除、コピーを行うことができます。



#### (1)出力要素数の制限定義一覧(L)

項目	説明
出力要素数の制限定義名	出力要素数の制限定義の名前です。
説明	出力要素数の制限定義の説明です。

##### ①追加(A)

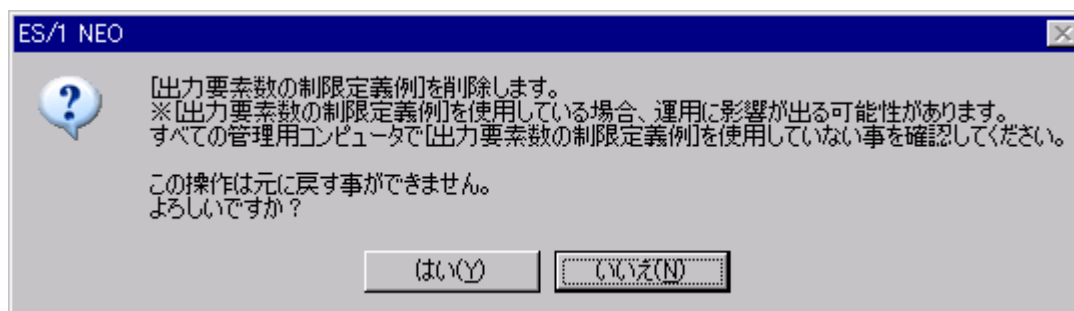
[追加(A)...]ボタンを押下すると、「6.2.4.出力要素数の制限定義詳細」画面が表示されます。

##### ②編集(E)

編集する出力要素の制限定義を選択し、[編集(E)...]ボタンを押下すると、「6.2.4.出力要素数の制限定義詳細」画面が表示されます。

## ③削除(D)

削除する出力要素数の制限定義を選択し、[削除(D)]ボタンを押下すると、削除確認メッセージが表示されます。



[はい(Y)]を選択すると、出力要素数の制限定義が削除されます。

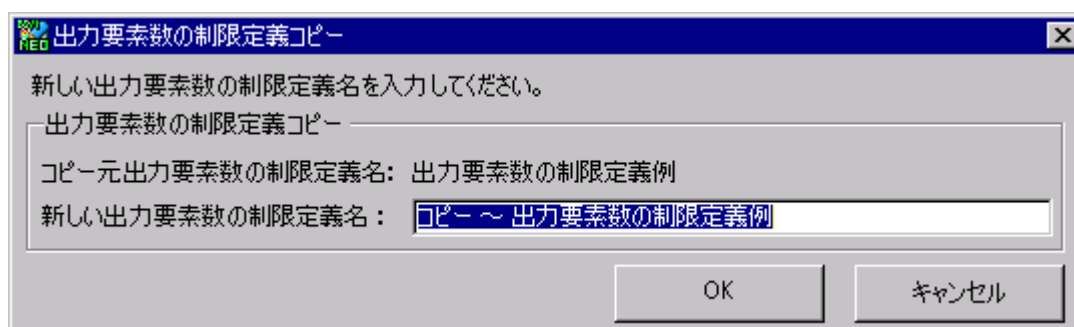
[いいえ(N)]を選択すると、削除を実行せず「出力要素数の制限定義一覧」画面に戻ります。

**注意！**

出力要素数の制限定義のシステムへの割り当ての削除操作は、プロフィールを共有するすべての管理用マシンに影響するため、事前に問題が無い事を確認してから削除してください。

## ④コピー(C)

コピーするプロフィールを選択し、[コピー(C)...]ボタンを押下します。



新しい出力要素数の制限定義名を入力し、[OK]ボタンを押下すると、新たな出力要素数の制限定義が作成されます。

[キャンセル]ボタンを押下すると、新しい出力要素数の制限定義は作成されず、「出力要素数の制限定義一覧」画面に戻ります。

## (2)登録

[登録]ボタンを押下すると、設定をファイルに保存し元の画面に戻ります。


## (3)キャンセル

[キャンセル]ボタンを押下すると、設定を保存せずに元の画面に戻ります。



#### 6.2.4. 出力要素数の制限定義詳細

「出力要素数の制限定義詳細」画面では、出力要素数の制限定義の追加、編集を行います。


**出力要素数の制限定義詳細**

出力要素数の制限定義の追加、編集を行います。

出力要素数の制限定義名(N)

出力要素数の制限定義名を入力します

説明を入力します

出力要素数の制限定義(L)

カテゴリ すべて 検索

項目名	出力要素数	
[詳細]ユーザ毎のプロセッサ使用率～Unix - 面 -	基本値 (5)	
[詳細]ユーザ毎のプロセッサ使用率～Windows - 面 -	基本値 (5)	
[詳細]コマンド毎のプロセッサ使用率～Unix - 面 -	基本値 (5)	
[詳細]コマンド毎のプロセッサ使用率～Windows - 面 -	基本値 (5)	
[詳細]ユーザ・コマンド毎のプロセッサ使用率～Unix - 面 -	基本値 (5)	
[詳細]ユーザ・コマンド毎のプロセッサ使用率～Windows - 面 -	基本値 (5)	
[時間]デバイス毎の使用率 - 折れ線 -	基本値 (5)	
[詳細]デバイス毎の使用率 - 複数シート -	基本値 (5)	
[詳細]デバイス毎のアクセス待ち時間 - 複数シート -	基本値 (5)	
[詳細]デバイス毎のレスポンス時間 - 複数シート -	基本値 (5)	
[月次]デバイス毎の使用率 - 折れ線 -	基本値 (5)	
[時間]コマンド毎のプロセッサ使用時間～Unix - 折れ線 -	基本値 (5)	
[時間]コマンド毎のプロセッサ使用時間～Windows - 折れ線 -	基本値 (5)	
[時間]コマンド毎のメモリ使用量～Unix - 折れ線 -	基本値 (5)	
[時間]コマンド毎のメモリ使用量～Windows - 折れ線 -	基本値 (5)	
[月次]コマンド毎のプロセッサ使用時間～Unix - 折れ線 -	基本値 (5)	
[月次]コマンド毎のプロセッサ使用時間～Windows - 折れ線 -	基本値 (5)	

☐ 基本値以外表示

出力要素数基本値設定(B)

出力要素数の基本値を設定します

グラフ 5 設定(Q)...

資源ログ 5 設定(Q)...

OK

キャンセル

(1)出力要素数の制限定義名(N)

定義する出力要素数の制限定義に一意の名前と、説明を入力します。

出力要素数の制限定義名は、出力要素数の制限定義のシステムへの割り当て時に表示され、説明はその際にツールチップとして表示されます。

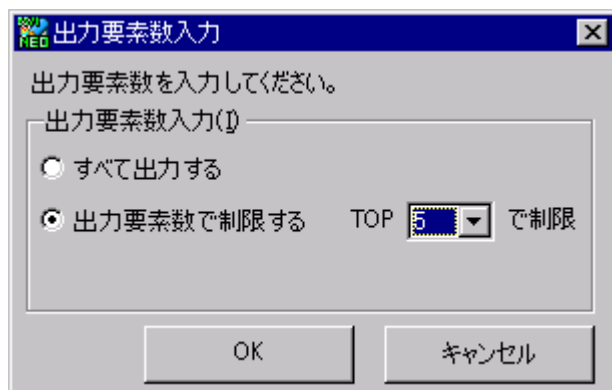
## (2)出力要素数基本値設定(B)

出力要素数の基本値を設定します。基本値は、各項目の出力要素数設定が無い場合に使用される出力要素数です。

項目	説明
グラフ	グラフの基本値です。
資源ログ	資源ログの基本値です。

## ①設定(G)

[設定(G)...]ボタンを押下すると、「出力要素数入力」画面が表示されます。



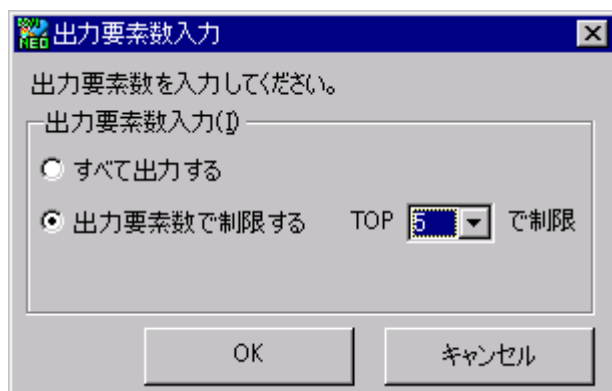
項目	説明
すべて出力する	出力要素数をすべて出力する設定です。
出力要素数で制限する	選択した出力要素数で制限する設定です。

[OK]を選択すると、入力した出力要素数を対象基本値に設定し、「出力要素数の制限定義詳細」画面に戻ります。

[キャンセル]を選択すると、何も変更せず「出力要素数の制限定義詳細」画面に戻ります。

## ②設定(O)

[設定(O)...]ボタンを押下すると、「出力要素数入力」画面が表示されます。



項目	説明
すべて出力する	出力要素数をすべて出力する設定です。
出力要素数で制限する	選択した出力要素数で制限する設定です。

[OK]を選択すると、入力した出力要素数を対象基本値に設定し、「出力要素数の制限定義詳細」画面に戻ります。

[キャンセル]を選択すると、何も変更せず「出力要素数の制限定義詳細」画面に戻ります。

### (3)出力要素数の制限定義(L)

対象項目を選択し、出力要素数を設定します。

項目	説明
項目名	設定する項目です。
出力要素数	現在設定されている出力要素数です。

#### ①カテゴリ

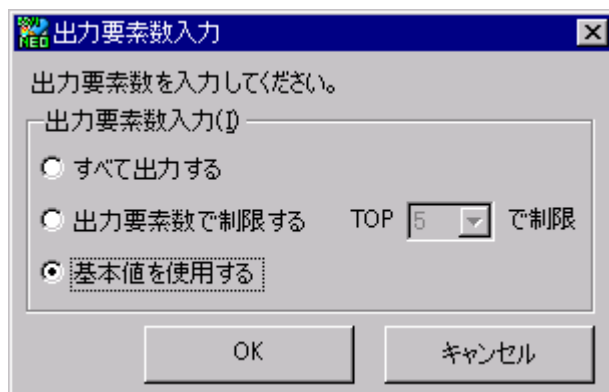
表示されている項目をカテゴリの内容で絞り込みます。

#### ②検索

表示されている項目を検索テキストボックスの内容で絞り込みます。

#### ③設定(E)

[設定(E)...]ボタンを押下すると、「出力要素数入力」画面が表示されます。



項目	説明
すべて出力する	出力要素数をすべて出力する設定です。
出力要素数で制限する	選択した出力要素数で制限する設定です。
基本値を使用する	基本値を使用する設定です。

[OK]を選択すると、入力した出力要素数を対象項目に設定し、「出力要素数の制限定義詳細」画面に戻ります。

[キャンセル]を選択すると、何も変更せず「出力要素数の制限定義詳細」画面に戻ります。

#### ④基本値以外表示

チェックすると基本値以外の項目が表示されます。

### (4)OK

[OK]ボタンを押下すると、設定を保存し「出力要素数の制限定義一覧」画面に戻ります。

### (5)キャンセル

[キャンセル]ボタンを押下すると、設定を保存せずに「出力要素数の制限定義一覧」画面に戻ります。

## 第7章 添付資料 A. プロファイル対象の標準クエリ

プロファイル対応の標準クエリは以下の通りです。

### 7.1. インスタンスプロファイル対応の標準クエリ

カテゴリ	対象となる標準クエリ名
プロセッサ	[詳細]インターバルサマリー～AIX LPAR – 複数シート –
	[詳細]インターバルサマリー – 複数シート –
	[年次平均]ユーザ・コマンド毎のプロセッサ使用率～Unix – 棒 –
	[年次平均]ユーザ・コマンド毎のプロセッサ使用率～Windows – 棒 –
	[年次]プロセッサ使用率～パーセンタイル – 折れ線 –
	[年次]コマンド毎のプロセッサ使用時間～Unix – 折れ線 –
	[年次]ユーザ毎のプロセッサ使用時間～Unix – 折れ線 –
	[年次]コマンド毎のプロセッサ使用時間～Windows – 折れ線 –
	[年次]ユーザ毎のプロセッサ使用時間～Windows – 折れ線 –
	[年次]プロセッサ使用率 – 折れ線 –
	[年次]プロセッサ使用率～i5 – 折れ線 –
メモリー	[年次]メモリー使用量 – 折れ線 –
	[年次]メモリー使用量詳細～Linux – 面 –
	[年次]スワップスペース～Linux – 面 –
	[年次]フリーメモリー～Unix – 折れ線 –
	[年次]フリーメモリー～Windows – 折れ線 –
	[年次]バッファキャッシュ状況～Unix – 折れ線 –
	[年次]記憶域プール全体の使用状況～i5 – 面 –
	[年次]記憶域プールのサイズとページ不在～i5 – 複合 –
I/O	[年次]デバイス毎の使用率 – 折れ線 –
	[年次]デバイス毎のレスポンス時間 – 折れ線 –
	[年次]ディスク毎の入出力回数～i5 – 折れ線 –
	[年次]ディスク毎のレスポンス時間～i5 – 折れ線 –
	[年次]ネットワーク・アダプター毎の送受信量～Windows – 折れ線 –
	[月次]論理デバイス毎の IOPS～Windows – 折れ線 –
	[年次]論理デバイス毎の IOPS～Windows – 折れ線 –
	[月次]物理デバイス毎の IOPS – 折れ線 –
	[年次]物理デバイス毎の IOPS – 折れ線 –
ディスクスペース	[年次]ファイルシステム毎のスペース使用率～Unix – 折れ線 –
	[年次]ファイルシステム毎のスペース使用率～Windows – 折れ線 –
Oracle	[詳細]Oracle バッファキャッシュヒット率 – 折れ線 –
	[平均]Oracle テーブル毎の大きさ (MB) – 棒 –
	[詳細]Oracle インスタンスのプロセッサ使用率 – 折れ線 –
	[詳細]Oracle データファイル毎のアクセス回数 – 折れ線 –
	[詳細]Oracle データファイル毎の読み込みアクセス回数 – 折れ線 –
	[詳細]Oracle データファイル毎の書き込みアクセス回数 – 折れ線 –
	[詳細]Oracle テーブル毎のサイズ – 面 –
	[平均]Oracle データファイル毎のアクセス回数 – 棒 –
	[詳細]Oracle セッション毎のコンシステント G E T 回数 – 折れ線 –
	[詳細]Oracle セッション毎の実 I/O 回数 – 折れ線 –
	[詳細]Oracle セッション毎の論理データベースアクセス回数 – 折れ線 –
	[詳細]Oracle セッション毎の論理データベースアクセス回数 – 折れ線 –

カテゴリ	対象となる標準クエリー名
Oracle	[詳細]Oracle セッション毎のプロセッサ使用率 - 面 -
	[詳細]Oracle セッション毎のメモリ使用量 - 折れ線 -
	[詳細]Oracle セッション毎のバッファキャッシュヒット率 - 折れ線 -
	[詳細]Oracle セッション毎のスキャン 1 回当たりのスキャンブロック数 - 折れ線 -
	[詳細]Oracle ロールバックセグメントリードアクセス回数 - 棒 -
	[時間]平均プロセッサ使用率_時間単位 (System/Oracle) - 3 シート -
	[月次]平均プロセッサ使用率_日単位 (System/Oracle) - 3 シート -
	[詳細]Oracle セッション毎の平均スキャンブロック数 - 面 -
	[詳細]Oracle テーブルスペース毎の使用率 - 折れ線 -
	[詳細]Oracle テーブルスペース毎の空き領域 - 折れ線 -
	[詳細]一時表領域毎のソート処理に使用された領域の割合(Oracle9i 以降) - 折れ線 -
	[詳細]一時表領域毎のソート処理に使用された領域のサイズ(Oracle9i 以降) - 折れ線 -
	[詳細]Oracle バッファキャッシュヒット率と論理 DB アクセス回数 - 複合 -
	[詳細]Oracle セッション毎の Redo ログバッファ待ち時間 - 面 -
	[詳細]Oracle 大規模表のフルスキャン回数(Long Tables) - 面 -
	[詳細]Oracle 小規模表のフルスキャン回数(Short Tables) - 面 -
	[詳細]Oracle 待機イベント毎の待ち回数 - 折れ線 -
	[月次]Oracle バッファキャッシュヒット率と論理 DB アクセス回数 - 複合 -
	[月次]Oracle データファイル毎の合計読み込みアクセス回数 - 折れ線 -
	[月次]Oracle データファイル毎の合計書き込みアクセス回数 - 折れ線 -
	[月次]Oracle テーブルスペース毎の使用率 - 折れ線 -
	[月次]Oracle テーブルスペース毎の空き領域 - 折れ線 -
	[月次]Oracle テーブルスペース毎の使用量 - 折れ線 -
	[月次]Oracle 合計スキャンブロック数 - 折れ線 -
	[月次]Oracle 移行/連鎖行 - 折れ線 -
	[時間]Oracle セッション毎のスキャン 1 回当たりのスキャンブロック数 - 折れ線 -
	[月次]Oracle 大規模表のフルスキャン回数(Long Tables) - 面 -
	[月次]Oracle 小規模表のフルスキャン回数(Short Tables) - 面 -
	[月次]Oracle セッション毎のスキャン 1 回当たりのスキャンブロック数 - 折れ線 -
	[年次]Oracle セッション毎のスキャン 1 回当たりのスキャンブロック数 - 折れ線 -
	[月次]Oracle 平均バッファキャッシュヒット率と合計論理 DB アクセス回数 - 複合 -
	[月次]Oracle 合計物理読み込み回数 - 面 -
	[月次]Oracle データファイル毎の平均読み込みアクセス回数 - 折れ線 -
	[月次]Oracle データファイル毎の平均書き込みアクセス回数 - 折れ線 -
	[月次]Oracle セッション毎の 1 回当たりのスキャンブロック数 - 面 -
	[月次]Oracle 最大 Redo ログバッファ待ち時間 - 折れ線 -
	[詳細]Oracle ライブラリキャッシュヒット率 - 折れ線 -
	[詳細]Oracle ディクショナリキャッシュヒット率 - 折れ線 -
	[詳細]Oracle 共有プール空きメモリ量 - 折れ線 -
	[詳細]OracleJava プール空きメモリ量 - 折れ線 -
	[詳細]Oracle ラージプール空きメモリ量 - 折れ線 -
	[詳細]Oracle メモリソート率 - 折れ線 -
	[詳細]Oracle ユーザーコール数 - 折れ線 -
	[詳細]Oracle システムインフォメーション - 折れ線 -
	[詳細]Oracle セッション毎のデータベース G E T 回数 - 折れ線 -
	[平均]Oracle セッション毎のプロセッサ使用率 - 棒 -
	[詳細]Oracle システムインフォメーション - 3 シート -
	[時間]Oracle セッション毎のプロセッサ使用時間 - 面 -
	[月次]Oracle セッション毎のプロセッサ使用時間 - 面 -

カテゴリ	対象となる標準クエリー名
Oracle	[時間]Oracle セッション毎のメモリー使用量 – 折れ線 –
	[月次]Oracle セッション毎のメモリー使用量 – 折れ線 –
	[時間]Oracle セッション毎の Redo ログバッファ待ち時間 – 面 –
	[月次]Oracle セッション毎の Redo ログバッファ待ち時間 – 面 –
	[時間]Oracle セッション毎の平均スキャンブロック数 – 面 –
	[月次]Oracle セッション毎の平均スキャンブロック数 – 面 –
	[時間]Oracle データファイル毎のアクセス回数 – 折れ線 –
	[月次]Oracle データファイル毎のアクセス回数 – 折れ線 –
	[時間]Oracle データファイル毎の読み込みアクセス回数 – 折れ線 –
	[月次]Oracle データファイル毎の読み込みアクセス回数 – 折れ線 –
	[時間]Oracle データファイル毎の書き込みアクセス回数 – 折れ線 –
	[月次]Oracle データファイル毎の書き込みアクセス回数 – 折れ線 –
	[年次]Oracle データファイル毎のアクセス回数 – 折れ線 –
	[年次]Oracle セッション毎のプロセッサ使用時間 – 面 –
	[年次]Oracle セッション毎のメモリー使用量 – 折れ線 –
	[年次]Oracle セッション毎の平均スキャンブロック数 – 面 –
	[年次平均]Oracle セッション毎のプロセッサ使用率 – 棒 –
	[詳細]Oracle バッファキャッシュヒット率 – 折れ線 – [PWS ミニグラフ]
SQL Server	[詳細]SQL Server システムインフォメーション – 5 シート –
	[平均]SQL Server キャッシュ毎のアクセス回数 – 棒 –
	[平均]SQL Server DB 毎のトランザクション数 – 棒 –
	[詳細]SQL Server データキャッシュヒット率 – 折れ線 –
	[詳細]SQL Server DB 毎のログキャッシュヒット率 – 折れ線 –
	[詳細]SQL Server バッファキャッシュヒット率と読込回数 – 折れ線 –
	[相関]SQL Server バッファキャッシュヒット率と論理読込回数 – 散布図 –
	[詳細]SQL Server ログ書込数と書込待ちコミット数 – 折れ線 –
	[詳細]SQL Server ログキャッシュ読み取り回数 – 折れ線 –
	[詳細]SQL Server ログ書込待ち時間 – 折れ線 –
	[詳細]SQL Server ユーザ接続情報 – 折れ線 –
	[詳細]SQL Server フリーメモリーとユーザ接続数 – 折れ線 –
	[詳細]SQL Server レイジライター書込バッファ数と空きページ待ち要求数 – 折れ線 –
	[詳細]SQL Server プロセッサ使用率とユーザ接続数 – 折れ線 –
	[詳細]SQL Server フルスキャン数と tempdb へのログ書込数 – 複合 –
	[詳細]SQL Server コンパイル回数と再コンパイル回数 – 折れ線 –
	[詳細]SQL Server デッドロックとロック要求待ち [Database] – 複合 –
	[詳細]SQL Server デッドロックとロック要求待ち [Extent] – 複合 –
	[詳細]SQL Server デッドロックとロック要求待ち [Key] – 複合 –
	[詳細]SQL Server デッドロックとロック要求待ち [Page] – 複合 –
	[詳細]SQL Server デッドロックとロック要求待ち [RID] – 複合 –
	[詳細]SQL Server デッドロックとロック要求待ち [Table] (2000) – 複合 –
	[詳細]SQL Server データキャッシュヒット率(2005 以降) – 折れ線 –
	[詳細]SQL Server バッファキャッシュヒット率と物理読み取り数と先行読み取り数 – 折れ線 –
	[詳細]SQL Server DB 毎のトランザクション数 – 面 –
	[月次]SQL Server DB 毎のトランザクション数 – 面 –
	[詳細]SQL Server バッファプールのページ生存期間 – 折れ線 –
	[詳細]SQL Server ページ分割数 – 折れ線 –
	[月次]SQL Server ページ分割数 – 折れ線 –
	[月次]SQL Server メモリ使用状況 – 複合 –
	[平均]SQL Server ロック要求待ち数と待ち時間 – 複合 –

カテゴリ	対象となる標準クエリー名
SQL Server	[詳細]SQL Server デッドロックとロック要求待ち [Object] - 複合 -
	[詳細]SQL Server データキャッシュヒット率(2000) - 折れ線 - [PWS ミニグラフ]
	[詳細]SQL Server データキャッシュヒット率(2005 以降) - 折れ線 - [PWS ミニグラフ]
Symfoware	[詳細]Symfoware のプロセッサ使用率 - 面 -
	[詳細]Symfoware のリード処理 - 折れ線 -
Symfoware	[詳細]Symfoware のライト処理 - 折れ線 -
	[詳細]Symfoware のページ転送数 - 折れ線 -
	[詳細]Symfoware 共用バッファ毎の枯渇回数 - 折れ線 -
	[詳細]Symfoware 共用バッファ毎のヒット率 - 折れ線 -
	[詳細]Symfoware 共用バッファ毎の使用率 - 折れ線 -
	[詳細]Symfoware ユーザ毎の I/O 回数 - 折れ線 -
	[詳細]Symfoware ユーザ毎のトランザクションロックによる待ち発生数 - 折れ線 -
	[詳細]Symfoware ユーザ毎のプロセッサ使用率 - 面 -
	[詳細]SymfowareDB スペース毎のアクセス回数 - 折れ線 -
	[詳細]Symfoware システムインフォメーション - 4 シート -
	[平均]Symfoware ユーザ毎のプロセッサ使用率 - 棒 -
	[平均]Symfoware 共用バッファ毎の使用率 - 棒 -
	[平均]SymfowareDB スペース毎のアクセス回数 - 棒 -
	[詳細]Symfoware 共用バッファ毎のヒット率 - 折れ線 - [PWS ミニグラフ]
SAP ERP	[詳細]ワークプロセス別稼働時間 - 面 -
	[詳細]ワークプロセス別処理トランザクション数 - 面 -
	[詳細]ワークプロセス別プロセッサ使用時間 - 面 -
	[詳細]ワークプロセス別 DB 時間 - 面 -
	[詳細]ワークプロセス毎のワークプロセス待ち時間 - 棒 -
	[詳細]ワークプロセス毎のワークプロセス待ちトランザクション数 - 棒 -
	[詳細]ロールエリアの割り当てと使用量 - 折れ線 -
	[詳細]ページングエリアの割り当てと使用量 - 折れ線 -
	[詳細]拡張メモリとヒープメモリの割り当てと使用量 - 複合 -
	[詳細]プログラム別稼働時間 - 面 -
	[詳細]プログラム別処理トランザクション数 - 面 -
	[詳細]プログラム別プロセッサ使用時間 - 面 -
	[詳細]プログラム別 DB 時間 - 面 -
	[詳細]トランザクション毎のヒープメモリ使用量 - 面 -
	[詳細]タスクタイプ別のヒープメモリ使用量 - 面 -
	[詳細]プログラムバッファのヒット率・空きスペース率・スワップ発生回数 - 折れ線 -
	[月次]ロールエリアの割り当てと使用量 - 折れ線 -
	[月次]ページングエリアの割り当てと使用量 - 折れ線 -
	[詳細]ユーザ別稼働時間 - 面 -
	[詳細]ユーザ別処理トランザクション数 - 面 -
	[詳細]ユーザ別プロセッサ使用時間 - 面 -
	[詳細]ユーザ別 DB 時間 - 面 -
	[月次]拡張メモリとヒープメモリの割り当てと使用量 - 複合 -
	[月次]プログラムバッファのヒット率・空きスペース率・スワップ発生回数 - 折れ線 -
	[詳細]タスクタイプ別稼働時間 - 面 -
	[詳細]タスクタイプ別処理トランザクション数 - 面 -
	[詳細]タスクタイプ別プロセッサ使用時間 - 面 -
	[詳細]タスクタイプ別 DB 時間 - 面 -
	[詳細]トランザクション別稼働時間 - 面 -
	[詳細]トランザクション別処理トランザクション数 - 面 -



カテゴリ	対象となる標準クエリー名
SAP ERP	[詳細]トランザクション別プロセッサ使用時間 - 面 -
	[詳細]トランザクション別 DB 時間 - 面 -
	[詳細]端末別稼働時間 - 面 -
	[詳細]端末別処理トランザクション数 - 面 -
	[詳細]端末別プロセッサ使用時間 - 面 -
	[詳細]端末別 DB 時間 - 面 -
	[月次]合計稼働時間内訳と合計処理トランザクション数 - 複合 -
	[月次]特定タスクタイプの合計トランザクション数とレスポンス時間(Dialog) - 複合 -
	[月次]トランザクション別稼働時間 - 面 -
	[月次]拡張メモリー使用量 - 折れ線 -
	[月次]ヒープメモリー使用量 - 折れ線 -
	[月次]プログラム別稼働時間 - 面 -
	[月次]タスクタイプ別待ち時間 - 面 -
	[月次]トランザクション別プロセッサ時間 - 面 -
	[月次]トランザクション別 DB 時間 - 面 -
	[月次]プログラム別プロセッサ時間 - 面 -
	[月次]プログラム別 DB 時間 - 面 -
	[詳細]ワークプロセス・サマリ - 複合 -
	[詳細]プログラム・サマリ - 複合 -
	[詳細]ユーザ・サマリ - 複合 -
	[詳細]タスクタイプ・サマリ - 複合 -
	[詳細]トランザクション・サマリ - 複合 -
	[詳細]端末・サマリ - 複合 -
	[詳細]レスポンス時間 - 折れ線 -
	[詳細]レスポンス時間内訳 - 複合 -
	[詳細]タスクタイプ別待ち時間 - 面 -
	[詳細]稼働時間内訳と処理トランザクション数 - 複合 -
	[詳細]レスポンス時間 TOP \$ {Top n} - 複合 -
	[詳細]プロセッサ使用時間 TOP \$ {Top n} - 複合 -
	[詳細]DB 時間 TOP \$ {Top n} - 複合 -
	[詳細]待ち時間 TOP \$ {Top n} - 複合 -
	[詳細]ログインユーザ数 - 折れ線 -
	[詳細]サーバ毎のログインユーザ数 - 折れ線 -
	[詳細]ログインユーザ数の推移 - 等高線 -
	[詳細]サーバ別稼働時間 - 面 -
	[詳細]サーバ別処理トランザクション数 - 面 -
	[詳細]サーバ別プロセッサ使用時間 - 面 -
	[詳細]サーバ別 DB 時間 - 面 -
	[詳細]90 パーセンタイルレスポンス時間 サイト単位 - 折れ線 -
	[詳細]稼働時間内訳と処理トランザクション数 サイト単位 - 複合 -
	[詳細]トランザクション別稼働時間 サイト単位 - 面 -
	[詳細]トランザクション別 CPU 時間 サイト単位 - 面 -
	[詳細]トランザクション別 DB 時間 サイト単位 - 面 -
	[詳細]プログラム別稼働時間 サイト単位 - 面 -
	[詳細]トランザクション・サマリ サイト単位 - 複合 -
	[詳細]プログラム・サマリ サイト単位 - 複合 -
	[詳細]端末・サマリ サイト単位 - 複合 -
	[詳細]DIA_稼働時間内訳 サイト単位 - 面 -
	[詳細]BAT_稼働時間内訳 サイト単位 - 面 -



カテゴリ	対象となる標準クエリー名
SAP ERP	[詳細]DIA_レスポンス時間 サイト単位 - 複合 -
	[帳票]トランザクション明細 サイト単位 - 帳票 -
	[年次]レスポンス時間の分布(1 秒未満) - サイト単位 - 棒 -
	[年次]レスポンス時間の分布(1.4 秒未満) - サイト単位 - 棒 -
	[年次]レスポンス時間の分布(1.6 秒未満) - サイト単位 - 棒 -
	[年次]レスポンス時間の分布(2 秒未満) - サイト単位 - 棒 -
	[月次]トランザクション数及びレスポンス時間 - 複合 -
	[月次]DIA_トランザクション数及びレスポンス時間 - 複合 -
	[月次]システム毎の合計トランザクション数 サイト単位 - 面 -
	[月次]稼働時間内訳と処理トランザクション数 サイト単位 - 複合 -
	[月次]トランザクション別稼働時間 サイト単位 - 面 -
	[月次]トランザクション別 CPU 時間 サイト単位 - 面 -
	[月次]トランザクション別 DB 時間 サイト単位 - 面 -
	[月次]プログラム別稼働時間 サイト単位 - 面 -
	[月次]DIA_稼働時間内訳 サイト単位 - 面 -
	[月次]BAT_稼働時間内訳 サイト単位 - 面 -
	[月次]SAP ユーザ数 サイト単位 - 折れ線 -
DB2	[詳細]DB2 システムインフォメーション - 複数シート -
	[詳細]DB2 アプリケーション毎の SQL 試行回数 - 面 -
	[平均]DB2 アプリケーション毎の SQL 試行回数 - 棒 -
	[詳細]DB2 アプリケーション毎のプロセッサ使用率 - 面 -
	[平均]DB2 アプリケーション毎のプロセッサ使用率 - 棒 -
	[詳細]DB2 ユーザ毎の SQL 試行回数 - 面 -
	[平均]DB2 ユーザ毎の SQL 試行回数 - 棒 -
	[詳細]DB2 ユーザ毎のプロセッサ使用率 - 面 -
	[平均]DB2 ユーザ毎のプロセッサ使用率 - 棒 -
	[合計]DB2 テーブルスペース毎の論理読込回数 - 棒 -
	[詳細]DB2 テーブルスペース毎のインデックスページ物理読込回数 - 面 -
	[詳細]DB2 テーブルスペース毎のインデックスページ物理書込回数 - 面 -
	[詳細]DB2 テーブルスペース毎の論理読込回数 - 面 -
	[詳細]DB2 テーブルスペース毎の論理読込回数(IndexPage/DataPage) - 面 -
	[詳細]DB2 テーブルスペース毎の論理読込回数(IndexPage) - 面 -
	[詳細]DB2 テーブルスペース毎の論理読込回数(DataPage) - 面 -
	[詳細]DB2 テーブルスペース毎の物理 I/O 回数(Read/Write) - 面 -
	[詳細]DB2 テーブルスペース毎の物理読込回数 - 面 -
	[詳細]DB2 テーブルスペース毎の物理書込回数 - 面 -
	[詳細]DB2 テーブルスペース毎の物理 I/O 回数(IndexPage/DataPage) - 面 -
	[詳細]DB2 テーブルスペース毎の物理 I/O 回数(IndexPage) - 面 -
	[詳細]DB2 テーブルスペース毎の物理 I/O 回数(DataPage) - 面 -
	[詳細]DB2 同期 I/O と非同期 I/O - 面 -
	[詳細]DB2 バッファ毎の同期 I/O 回数 - 面 -
	[詳細]DB2 バッファ毎の非同期 I/O 回数 - 面 -
	[詳細]DB2 バッファ毎のバッファヒット率 - 折れ線 -
	[詳細]DB2 バッファ毎の論理読込回数 - 面 -
	[詳細]DB2 バッファ毎の論理読込回数(IndexPage/DataPage) - 面 -
	[詳細]DB2 バッファ毎の論理読込回数(IndexPage) - 面 -
	[詳細]DB2 バッファ毎の論理読込回数(DataPage) - 面 -
	[詳細]DB2 バッファ毎の物理 I/O 回数(Read/Write) - 面 -
	[詳細]DB2 バッファ毎の物理読込回数 - 面 -

カテゴリ	対象となる標準クエリー名
DB2	[詳細]DB2 バッファ毎の物理書込回数 - 面 -
	[詳細]DB2 バッファ毎の物理 I/O 回数(IndexPage/DataPage) - 面 -
	[詳細]DB2 バッファ毎の物理 I/O 回数(IndexPage) - 面 -
	[詳細]DB2 バッファ毎の物理 I/O 回数(DataPage) - 面 -
	[詳細]DB2 オブジェクトロック要求タイムアウト回数 - 折れ線 -
	[詳細]DB2 アプリケーション毎のオブジェクトロック要求タイムアウト回数 - 折れ線 -
	[詳細]DB2 テーブルスペース毎のテーブルスペース使用率 - 折れ線 -
	[平均]DB2 テーブルスペース毎のテーブルスペース使用率 - 棒 -
	[詳細]DB2 テーブルスペース毎の使用ページ数 - 折れ線 -
	[詳細]DB2 テーブルスペースノード毎のテーブルスペース使用率 - 折れ線 -
	[平均]DB2 テーブルスペースノード毎のテーブルスペース使用率 - 棒 -
	[詳細]DB2 テーブルスペースノード毎の使用ページ数 - 折れ線 -
	[月次]DB2 テーブルスペース毎のテーブルスペース使用率 - 折れ線 -
	[月次]DB2 テーブルスペース毎の使用ページ数 - 折れ線 -
	[月次]DB2 テーブルスペースノード毎のテーブルスペース使用率 - 折れ線 -
	[月次]DB2 テーブルスペースノード毎の使用ページ数 - 折れ線 -
	[年次]DB2 テーブルスペース毎のテーブルスペース使用率 - 折れ線 -
	[詳細]DB2 同期読み込みと同期書き込み - 折れ線 -
	[年次]DB2 テーブルスペース毎の使用ページ数 - 折れ線 -
	[年次]DB2 テーブルスペースノード毎のテーブルスペース使用率 - 折れ線 -
	[年次]DB2 テーブルスペースノード毎の使用ページ数 - 折れ線 -
	[詳細]DB2 バッファヒット率(V9) - 折れ線 -
	[詳細]DB2 バッファ毎のバッファヒット率(V9) - 折れ線 -
	[詳細]DB2 TEMPORARY 表スペースヒット率(V9) - 折れ線 -
	[詳細]DB2 バッファプールのデータページヒット率(V9) - 折れ線 -
	[詳細]DB2 接続アプリケーション数と同時接続の最大数 - 折れ線 -
	[詳細]DB2 登録済みエージェント数とエージェント最大登録数 - 折れ線 -
	[詳細]DB2 バッファ毎のバッファヒット率 - 折れ線 - [PWS ミニグラフ]
	[詳細]DB2 バッファ毎のバッファヒット率(V9) - 折れ線 - [PWS ミニグラフ]
CS-Java for WebLogic	[詳細]WebLogic JVM ヒープ使用量 - 複合 -
	[月次]WebLogic JVM ヒープ使用量 - 複合 -
	[詳細]WebLogic サーバソケット情報 - 折れ線 -
	[詳細]WebLogic JRockit ヒープ使用量 - 複合 -
	[詳細]WebLogic スレッドプールのトータル/Idle スレッド数(V9 以降) - 折れ線 -
CS-Java for Interstage	[詳細]Interstage JVM ヒープ使用量 - 複合 -
	[月次]Interstage JVM ヒープ使用量 - 複合 -
	[詳細]Interstage JDBC Pool 使用中コネクション数 - 複合 -
CS-Java for WebSphere	[詳細]WebSphere JVM ヒープ使用量 - 複合 -
	[月次]WebSphere JVM ヒープ使用量 - 複合 -
	[詳細]WebSphere JDBC Pool 使用中コネクション数 - 複合 -
VMware	[詳細]VMware 特定ホスト内のゲスト OS 毎のプロセッサ使用率(VC) - 面 -
	[詳細]VMware 特定ホスト内のゲスト OS 毎のプロセッサ Ready 率(VC) - 複合 -
	[詳細]VMware 特定ホスト内のゲスト OS 毎のホストメモリー使用量(VC) - 面 -
	[詳細]VMware 特定ホスト内のゲスト OS 毎のホストメモリー使用率(VC) - 面 -
	[詳細]VMware 特定ホスト内のゲスト OS 毎の Swapout メモリー量(VC) - 複合 -
	[詳細]VMware 特定ホスト内のゲスト OS・デバイス毎の I/O 使用量(VC) - 折れ線 -
	[詳細]VMware 特定ホスト内のゲスト OS 毎のネットワーク使用量(VC) - 折れ線 -
	[月次]VMware 特定ホスト内のゲスト OS 毎のプロセッサ使用率(VC) - 面 -
	[月次]VMware 特定ホスト内のゲスト OS 毎のホストメモリー使用率(VC) - 面 -

カテゴリ	対象となる標準クエリー名
VMware	[年次]VMware 特定ホスト内のゲスト OS 毎のプロセッサ使用率(VC) - 面 -
	[年次]VMware 特定ホスト内のゲスト OS 毎のホストメモリー使用率(VC) - 面 -
	[詳細]VMware 特定ホスト内のゲスト OS 毎の仮想プロセッサ使用率(VC) - 折れ線 -
	[詳細]VMware 特定ホスト内のゲスト OS 毎の Swapin メモリー量(VC) - 面 -
	[詳細]VMware 特定ホスト内のデバイス毎の I/O レイテンシ(VC) - 折れ線 -
	[詳細]VMware 特定ホスト内のデバイス毎の I/O コマンド量(VC) - 折れ線 -
	[詳細]VMware 特定ホスト内のデバイス毎の I/O 使用量(VC) - 折れ線 -
	[月次]VMware 特定ホストのプロセッサ使用率の推移(VC) - 等高線 -
	[月次]VMware 特定ホストのメモリー使用率の推移(VC) - 等高線 -
	[月次]VMware 特定ホスト内のゲスト OS 毎の仮想プロセッサ使用率(VC) - 折れ線 -
	[月次]VMware 特定ホスト内のゲスト OS 毎の Swapin メモリー量(VC) - 面 -
	[月次]VMware 特定ホスト内のデバイス毎の I/O レイテンシ(VC) - 折れ線 -
	[月次]VMware 特定ホスト内のデバイス毎の I/O コマンド量(VC) - 折れ線 -
	[月次]VMware 特定ホスト内のデバイス毎の I/O 使用量(VC) - 折れ線 -
	[詳細]VMware 特定ホスト内のゲスト OS 毎の Balloon メモリー量(VC) - 複合 -
	[月次]VMware 特定ホスト内のゲスト OS 毎の Balloon メモリー量(VC) - 複合 -
	[詳細]VMware 特定ホスト内のゲスト OS 毎のアクティブメモリー量(VC) - 複合 -
	[詳細]VMware 特定ホスト内のデータストア毎の IO コマンド量(VC) - 折れ線 -
	[詳細]VMware 特定ホスト内のデータストア毎の Read レイテンシ(VC) - 折れ線 -
	[詳細]VMware 特定ホスト内のデータストア毎の Write レイテンシ(VC) - 折れ線 -
	[月次]VMware 特定ホスト内のゲスト OS 毎のアクティブメモリー量(VC) - 複合 -
	[月次]VMware 特定ホスト内のデータストア毎の IO コマンド量(VC) - 折れ線 -
	[月次]VMware 特定ホスト内のデータストア毎の Read レイテンシ(VC) - 折れ線 -
	[月次]VMware 特定ホスト内のデータストア毎の Write レイテンシ(VC) - 折れ線 -
	[詳細]VMware 特定ホストのプロセッサ使用率(VC) - 面 - [PWS ミニグラフ]
	[詳細]VMware 特定ホストのメモリー使用率(VC) - 面 - [PWS ミニグラフ]
	[詳細]VMware 特定クラスタ内のホスト毎のプロセッサ使用量(VC) - 面 -
	[詳細]VMware 特定クラスタ内のホスト毎のプロセッサ使用率(VC) - 折れ線 -
	[月次]VMware ホスト毎の最大プロセッサ使用率(VC) - 折れ線 -
	[月次]VMware ホスト毎の最大メモリー使用率(VC) - 折れ線 -
	[月次]VMware ホスト毎の最大 Balloon メモリー量(VC) - 折れ線 -
	[月次]VMware ホスト毎の最大 Swapout メモリー量(VC) - 折れ線 -
	[月次]VMware ホスト・物理アダプタ毎の最大ネットワーク使用量(VC) - 折れ線 -
	[月次]VMware データストア毎の平均レイテンシ(VC) - 折れ線 -
	[月次]VMware データストア毎の平均 IO コマンド量(VC) - 折れ線 -
	[月次]VMware データストア毎の最大スペース使用率(VC) - 折れ線 -
	[月次]VMware ゲスト OS 毎の最大仮想プロセッサ使用率(VC) - 折れ線 -
	[月次]VMware ゲスト OS 毎の平均仮想プロセッサ使用率(VC) - 折れ線 -
	VMware ゲスト OS 毎の余剰な仮想プロセッサ数(VC) - 複合 -
	[詳細]VMware 特定クラスタ内のホスト毎のメモリー使用量(VC) - 面 -
	[詳細]VMware 特定クラスタ内のホスト毎のメモリー使用率(VC) - 折れ線 -
	[詳細]VMware 特定クラスタ内のホスト毎のアクティブメモリー使用量(VC) - 面 -
	[詳細]VMware 特定クラスタ内のゲスト OS 毎の仮想プロセッサ使用率(VC) - 折れ線 -
	[詳細]VMware 特定クラスタ内のホスト・物理アダプタ毎のネットワーク使用量(VC) - 折れ線 -
	[詳細]VMware 特定クラスタ内のゲスト OS 毎のネットワーク使用量(VC) - 折れ線 -
	[月次]VMware 特定クラスタ内のホスト毎のプロセッサ使用量(VC) - 面 -
	[月次]VMware 特定クラスタ内のホスト毎の最大プロセッサ使用率(VC) - 折れ線 -
	[月次]VMware 特定クラスタ内のホスト毎のメモリー使用量(VC) - 面 -
	[月次]VMware 特定クラスタ内のホスト毎の最大メモリー使用率(VC) - 折れ線 -

カテゴリ	対象となる標準クエリー名
VMware	[月次]VMware 特定ホスト内のゲスト OS・デバイス毎の最大 I/O アボート回数(VC) – 折れ線 –
	[詳細]VMware 特定ホストのプロセッサ使用率(VC) – 面 – [PWS ミニグラフ]
	[詳細]VMware 特定ホストのメモリ使用率(VC) – 面 – [PWS ミニグラフ]
CS-Java for OracleAS	[詳細]OracleAS JVM ヒープ使用量 – 複合 –
	[詳細]OracleAS サブレット毎の平均実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]OracleAS EntityEJB 毎の作成回数 – 折れ線 –
	[詳細]OracleAS EntityEJB メソッド毎の平均実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]OracleAS MessageDrivenEJB 毎の作成回数 – 折れ線 –
	[詳細]OracleAS MessageDrivenEJB メソッド毎の平均実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]OracleAS StatefulSessionEJB 毎の作成回数 – 折れ線 –
	[詳細]OracleAS StatefulSessionEJB メソッド毎の平均実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]OracleAS StatelessSessionEJB 毎の作成回数 – 折れ線 –
	[詳細]OracleAS StatelessSessionEJB メソッド毎の平均実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]OracleAS JDBCDataSource 毎の平均接続待ち時間 – 折れ線 –
	[詳細]OracleAS JDBCDataSource 毎の平均接続使用時間 – 折れ線 –
	[詳細]OracleAS ThreadPool 毎のプール内スレッド数 – 折れ線 –
	[詳細]OracleAS ThreadPool 毎のキュー内で待機中のタスク数 – 折れ線 –
CS-Java for JBoss	[詳細]JBoss JVM ヒープ使用状況 – 複合 –
	[詳細]JBoss サブレット毎の起動回数 – 折れ線 –
	[詳細]JBoss サブレット毎の平均実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]JBoss ThreadPool 使用状況 – 複合 –
	[詳細]JBoss JDBC 接続使用状況 – 複合 –
	[詳細]JBoss StatefulSessionBean 毎のキャッシュ中のインスタンス数 – 折れ線 –
	[詳細]JBoss StatefulSessionBean 毎の Passivate 状態のインスタンス数 – 折れ線 –
	[詳細]JBoss StatefulSessionBean メソッド毎の起動回数 – 折れ線 –
	[詳細]JBoss StatefulSessionBean メソッド毎の平均実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]JBoss StatelessSessionBean 毎の使用済インスタンス数 – 折れ線 –
	[詳細]JBoss StatelessSessionBean メソッド毎の起動回数 – 折れ線 –
	[詳細]JBoss StatelessSessionBean メソッド毎の平均実行時間 – 折れ線 –
Virtage	[詳細]LPAR のプロセッサ使用率 – 折れ線 –
	[月次]LPAR のプロセッサ使用率 – 折れ線 –
HTTP Log Processor	[月次]HTTP サーバのレスポンス時間と合計アクセス件数 – 複合 –
	[時間帯]HTTP サーバのレスポンス時間と合計アクセス件数 – 複合 –
	[年次]HTTP サーバのレスポンス時間と合計アクセス件数 – 複合 –
	[月次]HTTP サーバの合計エラー件数(4xx) – 面 –
	[月次]HTTP サーバの合計エラー件数(5xx) – 面 –
	[月次]HTTP サーバ全体のレスポンス時間と合計アクセス件数 – 複合 –
	[時間帯]HTTP サーバ全体のレスポンス時間と合計アクセス件数 – 複合 –
	[年次]HTTP サーバ全体のレスポンス時間と合計アクセス件数 – 複合 –
	[月次]HTTP サーバ全体の合計エラー件数(4xx) – 面 –
	[月次]HTTP サーバ全体の合計エラー件数(5xx) – 面 –
	[詳細]URL 毎の 95P レスポンス時間(アクセス件数順) – 折れ線 –
	[詳細]エラーリクエスト数 – 折れ線 –
	[詳細]URL・サマリ – 複合 –

カテゴリ	対象となる標準クエリー名
CS-Oracle AWR	[詳細]Oracle バッファキャッシュヒット率と論理 DB アクセス回数 – 複合 –
	[詳細]Oracle ライブラリキャッシュヒット率 – 折れ線 –
	[詳細]Oracle 共有プール空きメモリ量 – 折れ線 –
	[詳細]Oracle Java プール空きメモリ量 – 折れ線 –
	[詳細]Oracle メモリソート率 – 折れ線 –
	[詳細]Oracle ユーザーコール数 – 折れ線 –
	[詳細]Oracle REDO 待機比率とエントリ数 – 複合 –
CS-Storage for NetApp	[詳細]NetApp 特定 Vserver 内のボリューム毎のレイテンシ – 折れ線 –
	[詳細]NetApp 特定 Vserver 内のボリューム毎の I/Os – 折れ線 –
	[月次]NetApp 特定 Vserver 内のボリューム毎のレイテンシ – 折れ線 –
	[月次]NetApp 特定 Vserver 内のボリューム毎の I/Os – 折れ線 –
	NetApp 特定 Vserver 内のボリューム毎のストレージ使用量 – 棒 –
	[詳細]NetApp 特定ノード.Vserver の CIFS I/O 回数 – 面 –
	[詳細]NetApp 特定ノード.Vserver の NFSv3 I/O 回数 – 面 –
	[詳細]NetApp 特定ノード.Vserver の NFSv3 I/O スループット – 面 –
	[詳細]NetApp 特定ノード.Vserver の NFSv4 I/O スループット – 面 –
	[詳細]NetApp 特定ノード.Vserver の NFSv4.1 I/O スループット – 面 –
	[月次]NetApp 特定ノード.Vserver の CIFS I/O 回数 – 面 –
	[月次]NetApp 特定ノード.Vserver の NFSv3 I/O 回数 – 面 –
	[月次]NetApp 特定ノード.Vserver の NFSv3 I/O スループット – 面 –
	[月次]NetApp 特定ノード.Vserver の NFSv4 I/O スループット – 面 –
	[月次]NetApp 特定ノード.Vserver の NFSv4.1 I/O スループット – 面 –
	[合計]NetApp 特定ノード.Vserver の CIFS I/O オペレーションサイズ – 棒 –
	[合計]NetApp 特定ノード.Vserver の NFSv3 I/O オペレーションサイズ – 棒 –
	[合計]NetApp 特定ノード.Vserver の NFSv4 I/O オペレーションサイズ – 棒 –
	[合計]NetApp 特定ノード.Vserver の NFSv4.1 I/O オペレーションサイズ – 棒 –
CS-AWS	[月次]EC2 クラス毎の稼働中のインスタンス数 – 面 –
	[月次]S3 パケットごとのストレージ使用量 – 面 –

パラメータプロファイル対応の標準クエリー

カテゴリ	対象となる標準クエリー名
メモリー	[詳細]記憶域プールのサイズとページ不在～i5 - 複合 -
	[詳細]記憶域プールのサイズと読み込みページ数～i5 - 複合 -
	[詳細]記憶域プールの状態移行回数～i5 - 折れ線 -
	[月次]記憶域プールのサイズとページ不在～i5 - 複合 -
	[年次]記憶域プールのサイズとページ不在～i5 - 複合 -
I/O	[詳細]デバイスのレスポンス時間内訳 - 面 -
	[詳細]デバイスの使用率 - 折れ線 -
	[詳細]デバイスのアクセス待ち時間 - 折れ線 -
	[詳細]デバイスのレスポンス時間 - 折れ線 -
	[詳細]デバイス毎のレスポンス時間内訳と使用率 - 面 -
	[詳細]ディスク (IOP 資源名) の稼働率 (ビジー率) ～i5 - 折れ線 -
	[詳細]ディスク (デバイス名) の使用サイズ (容量) ～i5 - 複合 -
	[詳細]ディスク (デバイス名) の入出力回数～i5 - 面 -
	[詳細]ディスク (デバイス名) のレスポンス時間内訳とビジー率～i5
	[詳細]z/VM 特定ボリュームレスポンス - 複合 -
	[月次]z/VM 特定ボリュームレスポンス - 複合 -
VMware	[月次]VMware 特定データストア内のフォルダ毎のスペース使用量(VC) - 面 -
	[年次]VMware 特定データストア内のフォルダ毎のスペース使用量(VC) - 面 -
z/VM	[詳細]z/VM 特定ユーザの実行状況 - 面 -
	[月次]z/VM 特定ユーザの実行状況 - 棒 -



## 7.2. 出力要素数の制限定義対応の標準クエリー

カテゴリ	対象となる標準クエリー名
プロセッサ	[詳細]ユーザ毎のプロセッサ使用率～Unix - 面 -
	[詳細]ユーザ毎のプロセッサ使用率～Windows - 面 -
	[詳細]コマンド毎のプロセッサ使用率～Unix - 面 -
	[詳細]コマンド毎のプロセッサ使用率～Windows - 面 -
	[詳細]ユーザ・コマンド毎のプロセッサ使用率～Unix - 面 -
	[詳細]ユーザ・コマンド毎のプロセッサ使用率～Windows - 面 -
	[時間]コマンド毎のプロセッサ使用時間～Unix - 折れ線 -
	[時間]コマンド毎のプロセッサ使用時間～Windows - 折れ線 -
	[月次]コマンド毎のプロセッサ使用時間～Unix - 折れ線 -
	[月次]コマンド毎のプロセッサ使用時間～Windows - 折れ線 -
	[詳細]ユーザ毎のプロセッサ使用率～AIX LPAR - 面 -
	[詳細]コマンド毎のプロセッサ使用率～AIX LPAR - 面 -
	[詳細]ユーザ・コマンド毎のプロセッサ使用率～AIX LPAR - 面 -
	[時間]コマンド毎のプロセッサ使用時間～AIX LPAR - 折れ線 -
	[時間]ユーザ毎のプロセッサ使用時間～AIX LPAR - 折れ線 -
	[月次]コマンド毎のプロセッサ使用時間～AIX LPAR - 折れ線 -
	[月次]ユーザ毎のプロセッサ使用時間～AIX LPAR - 折れ線 -
	[時間]コマンド毎のプロセッサ総使用時間～Unix - 折れ線 -
	[時間]ユーザ毎のプロセッサ総使用時間～Unix - 折れ線 -
	[月次]コマンド毎のプロセッサ総使用時間～Unix - 折れ線 -
	[月次]ユーザ毎のプロセッサ総使用時間～Unix - 折れ線 -
	[時間]ユーザ毎のプロセッサ使用時間～Unix - 折れ線 -
	[時間]ユーザ毎のプロセッサ使用時間～Windows - 折れ線 -
	[月次]ユーザ毎のプロセッサ使用時間～Unix - 折れ線 -
	[月次]ユーザ毎のプロセッサ使用時間～Windows - 折れ線 -
	[年次]コマンド毎のプロセッサ使用時間～Unix - 折れ線 -
	[年次]ユーザ毎のプロセッサ使用時間～Unix - 折れ線 -
	[年次]コマンド毎のプロセッサ使用時間～Windows - 折れ線 -
	[年次]ユーザ毎のプロセッサ使用時間～Windows - 折れ線 -
	[詳細]ジョブユーザ毎のプロセッサ使用率～i5 - 面 -
	[詳細]z/VM プロセッサ使用率 (z/VM ユーザ単位) - 面 -
	[月次]z/VM プロセッサ使用率 (z/VM ユーザ単位) - 棒 -
	[詳細]z/VM プロセッサ待ち割合 (z/VM ユーザ単位) - 折れ線 -
	[詳細]z/VM プロセッサ使用率 (z/VM ユーザ単位) - 面 - [PWS ミニグラフ]
メモリー	[時間]コマンド毎のメモリー使用量～Unix - 折れ線 -
	[時間]コマンド毎のメモリー使用量～Windows - 折れ線 -
	[月次]コマンド毎のメモリー使用量～Unix - 折れ線 -
	[月次]コマンド毎のメモリー使用量～Windows - 折れ線 -
	[詳細]コマンド毎のワーキングセットサイズ～Windows - 折れ線 -
	[月次]コマンド毎のワーキングセットサイズ～Windows - 折れ線 -
	[時間]ユーザ毎のメモリー使用量～Unix - 折れ線 -
	[時間]ユーザ毎のメモリー使用量～Windows - 折れ線 -
	[月次]ユーザ毎のメモリー使用量～Unix - 折れ線 -
	[月次]ユーザ毎のメモリー使用量～Windows - 折れ線 -
	[月次]ユーザ毎のメモリー使用量～Windows - 折れ線 -

カテゴリ	対象となる標準クエリー名
メモリー	[詳細]z/VM 主記憶使用率 (z/VM ユーザ単位) - 面 -
	[月次]z/VM 主記憶使用率 (z/VM ユーザ単位) - 棒 -
	[詳細]z/VM 拡張記憶使用率 (z/VM ユーザ単位) - 面 -
	[月次]z/VM 拡張記憶使用率 (z/VM ユーザ単位) - 棒 -
	[詳細]z/VM ページイン (z/VM ユーザ単位) - 面 -
	[詳細]z/VM ページムーブ (z/VM ユーザ単位) - 面 -
	[詳細]z/VM 主記憶使用率 (z/VM ユーザ単位) - 面 - [PWS ミニグラフ]
I/O	[時間]デバイス毎の使用率 - 折れ線 -
	[詳細]デバイス毎の使用率 - 複数シート -
	[詳細]デバイス毎のアクセス待ち時間 - 複数シート -
	[詳細]デバイス毎のレスポンス時間 - 複数シート -
	[月次]デバイス毎の使用率 - 折れ線 -
	[詳細]デバイス毎のレスポンス時間内訳と使用率 - 複数シート -
	[詳細]論理デバイス毎の待ち個数 - 折れ線 -
	[詳細]物理デバイス毎の待ち個数 - 折れ線 -
	[月次]論理デバイス毎の待ち個数 - 折れ線 -
	[月次]物理デバイス毎の待ち個数 - 折れ線 -
	[詳細]論理デバイス毎のサービス時間～Windows - 折れ線 -
	[詳細]物理デバイス毎のサービス時間～Windows - 折れ線 -
	[月次]論理デバイス毎のサービス時間～Windows - 折れ線 -
	[月次]物理デバイス毎のサービス時間～Windows - 折れ線 -
	[詳細]論理デバイス毎の Read 数～Windows - 折れ線 -
	[詳細]論理デバイス毎の Write 数～Windows - 折れ線 -
	[詳細]論理デバイス毎の Read 時間～Windows - 折れ線 -
	[詳細]論理デバイス毎の Write 時間～Windows - 折れ線 -
	[詳細]論理デバイス毎の IOPS～Windows - 折れ線 -
	[詳細]物理デバイス毎の IOPS - 折れ線 -
	[月次]論理デバイス毎の IOPS～Windows - 折れ線 -
	[月次]物理デバイス毎の IOPS - 折れ線 -
	[年次]論理デバイス毎の IOPS～Windows - 折れ線 -
	[年次]物理デバイス毎の IOPS - 折れ線 -
	[詳細]デバイス毎の使用率 - 1 シート -
	[詳細]デバイス毎のレスポンス時間 - 1 シート -
	[詳細]デバイス毎のレスポンス時間内訳 - 複数シート -
	[時間]デバイス毎のレスポンス時間 - 折れ線 -
	[月次]デバイス毎のレスポンス時間 - 折れ線 -
	[年次]デバイス毎の使用率 - 折れ線 -
	[年次]デバイス毎のレスポンス時間 - 折れ線 -
	[詳細]ディスク毎の稼働率 (ビジー率) ～i5 - 折れ線 -
	[詳細]ディスク毎の使用率 (容量) ～i5 - 折れ線 -
	[詳細]ディスク毎の入出力回数～i5 - 折れ線 -
	[詳細]ディスク毎のレスポンス時間～i5 - 折れ線 -
	[詳細]ディスク (IOP 資源名) の稼働率 (ビジー率) ～i5 - 折れ線 -
	[月次]ディスク毎の入出力回数～i5 - 折れ線 -
	[月次]ディスク毎のレスポンス時間～i5 - 折れ線 -
	[年次]ディスク毎の入出力回数～i5 - 折れ線 -



カテゴリ	対象となる標準クエリー名
I/O	[年次]ディスク毎のレスポンス時間～i5 – 折れ線 –
	[詳細]ネットワーク・アダプター毎の送受信量～Windows – 折れ線 –
	[月次]ネットワーク・アダプター毎の送受信量～Windows – 折れ線 –
	[年次]ネットワーク・アダプター毎の送受信量～Windows – 折れ線 –
ディスクスペース	[詳細]ファイルシステム毎の最大スペース使用率～Unix – 折れ線 –
	[詳細]ファイルシステム毎の最大スペース使用率～Windows – 折れ線 –
	[月次]ファイルシステム毎のスペース使用率～Unix – 折れ線 –
	[月次]ファイルシステム毎のスペース使用率～Windows – 折れ線 –
	[詳細]ファイルシステム毎の最大スペース使用率(PageFile 含む)～Windows – 折れ線 –
	[月次]ファイルシステム毎のスペース使用率(PageFile 含む)～Windows – 折れ線 –
	[時間]ファイルシステム毎のスペース使用率～Unix – 折れ線 –
	[時間]ファイルシステム毎のスペース使用率～Windows – 折れ線 –
	[時間]ファイルシステム毎のスペース使用率(PageFile 含む)～Windows – 折れ線 –
	[年次]ファイルシステム毎のスペース使用率～Unix – 折れ線 –
	[年次]ファイルシステム毎のスペース使用率～Windows – 折れ線 –
Oracle	[詳細]Oracle データファイル毎のアクセス回数 – 折れ線 –
	[詳細]Oracle データファイル毎の読み込みアクセス回数 – 折れ線 –
	[詳細]Oracle データファイル毎の書き込みアクセス回数 – 折れ線 –
	[詳細]Oracle テーブル毎のサイズ – 面 –
	[詳細]Oracle セッション毎のコンシステント G E T 回数 – 折れ線 –
	[詳細]Oracle セッション毎の実 I / O 回数 – 折れ線 –
	[詳細]Oracle セッション毎の論理データベースアクセス回数 – 折れ線 –
	[詳細]Oracle セッション毎のプロセッサ使用率 – 面 –
	[詳細]Oracle セッション毎のメモリー使用量 – 折れ線 –
	[詳細]Oracle セッション毎のバッファキャッシュヒット率 – 折れ線 –
	[詳細]Oracle セッション毎のスキャン 1 回当たりのスキャンブロック数 – 折れ線 –
	[詳細]Oracle ロールバックセグメントリードアクセス回数 – 棒 –
	[詳細]Oracle セッション毎の平均スキャンブロック数 – 面 –
	[詳細]Oracle テーブルスペース毎の使用率 – 折れ線 –
	[詳細]Oracle テーブルスペース毎の空き領域 – 折れ線 –
	[詳細]一時表領域毎のソート処理に使用された領域の割合(Oracle9i 以降) – 折れ線 –
	[詳細]一時表領域毎のソート処理に使用された領域のサイズ(Oracle9i 以降) – 折れ線 –
	[詳細]Oracle セッション毎の Redo ログバッファ待ち時間 – 面 –
	[詳細]Oracle 大規模表のフルスキャン回数(Long Tables) – 面 –
	[詳細]Oracle 小規模表のフルスキャン回数(Short Tables) – 面 –
	[月次]Oracle データファイル毎の合計読み込みアクセス回数 – 折れ線 –
	[月次]Oracle データファイル毎の合計書き込みアクセス回数 – 折れ線 –
	[月次]Oracle テーブルスペース毎の使用率 – 折れ線 –
	[月次]Oracle テーブルスペース毎の空き領域 – 折れ線 –
	[月次]Oracle テーブルスペース毎の使用量 – 折れ線 –
	[時間]Oracle セッション毎のスキャン 1 回当たりのスキャンブロック数 – 折れ線 –
	[月次]Oracle 大規模表のフルスキャン回数(Long Tables) – 面 –
	[月次]Oracle 小規模表のフルスキャン回数(Short Tables) – 面 –
	[月次]Oracle セッション毎のスキャン 1 回当たりのスキャンブロック数 – 折れ線 –
	[年次]Oracle セッション毎のスキャン 1 回当たりのスキャンブロック数 – 折れ線 –
	[月次]Oracle データファイル毎の平均読み込みアクセス回数 – 折れ線 –

カテゴリ	対象となる標準クエリー名
Oracle	[月次]Oracle データファイル毎の平均書き込みアクセス回数 – 折れ線 –
	[月次]Oracle セッション毎の 1 回当たりのスキャンブロック数 – 面 –
	[詳細]Oracle セッション毎のデータベース GET 回数 – 折れ線 –
	[時間]Oracle セッション毎のプロセッサ使用時間 – 面 –
	[月次]Oracle セッション毎のプロセッサ使用時間 – 面 –
	[時間]Oracle セッション毎のメモリー使用量 – 折れ線 –
	[月次]Oracle セッション毎のメモリー使用量 – 折れ線 –
	[時間]Oracle セッション毎の Redo ログバッファ待ち時間 – 面 –
	[月次]Oracle セッション毎の Redo ログバッファ待ち時間 – 面 –
	[時間]Oracle セッション毎の平均スキャンブロック数 – 面 –
	[月次]Oracle セッション毎の平均スキャンブロック数 – 面 –
	[時間]Oracle データファイル毎のアクセス回数 – 折れ線 –
	[月次]Oracle データファイル毎のアクセス回数 – 折れ線 –
	[時間]Oracle データファイル毎の読み込みアクセス回数 – 折れ線 –
	[月次]Oracle データファイル毎の読み込みアクセス回数 – 折れ線 –
	[時間]Oracle データファイル毎の書き込みアクセス回数 – 折れ線 –
	[月次]Oracle データファイル毎の書き込みアクセス回数 – 折れ線 –
	[年次]Oracle データファイル毎のアクセス回数 – 折れ線 –
	[年次]Oracle セッション毎のプロセッサ使用時間 – 面 –
	[年次]Oracle セッション毎のメモリー使用量 – 折れ線 –
	[年次]Oracle セッション毎の平均スキャンブロック数 – 面 –
SQL Server	[詳細]SQL Server データキャッシュヒット率 – 折れ線 –
	[詳細]SQL ServerDB 毎のログキャッシュヒット率 – 折れ線 –
	[詳細]SQL Server ログキャッシュ読み取り回数 – 折れ線 –
	[詳細]SQL Server ログ書込待ち時間 – 折れ線 –
	[詳細]SQL Server DB 毎のトランザクション数 – 面 –
	[月次]SQL Server DB 毎のトランザクション数 – 面 –
	[詳細]SQL Server データキャッシュヒット率(2000) – 折れ線 – [PWS ミニグラフ]
Symfoware	[詳細]Symfoware 共用バッファ毎の枯渇回数 – 折れ線 –
	[詳細]Symfoware 共用バッファ毎のヒット率 – 折れ線 –
	[詳細]Symfoware 共用バッファ毎の使用率 – 折れ線 –
	[詳細]Symfoware ユーザ毎の I/O 回数 – 折れ線 –
	[詳細]Symfoware ユーザ毎のトランザクションロックによる待ち発生数 – 折れ線 –
	[詳細]Symfoware ユーザ毎のプロセッサ使用率 – 面 –
	[詳細]SymfowareDB スペース毎のアクセス回数 – 折れ線 –
	[詳細]Symfoware 共用バッファ毎のヒット率 – 折れ線 – [PWS ミニグラフ]
SAP ERP	[詳細]トランザクション毎のヒープメモリー使用量 – 面 –
	[詳細]トランザクション別稼働時間 サイト単位 – 面 –
	[詳細]トランザクション別 CPU 時間 サイト単位 – 面 –
	[詳細]トランザクション別 DB 時間 サイト単位 – 面 –
	[詳細]プログラム別稼働時間 サイト単位 – 面 –
	[詳細]トランザクション・サマリ サイト単位 – 複合 –
	[詳細]プログラム・サマリ サイト単位 – 複合 –
	[詳細]端末・サマリ サイト単位 – 複合 –
	[帳票]トランザクション明細 サイト単位 – 帳票 –
	[月次]トランザクション別稼働時間 サイト単位 – 面 –

カテゴリ	対象となる標準クエリー名
SAP ERP	[月次]トランザクション別 CPU 時間 サイト単位 - 面 -
	[月次]トランザクション別 DB 時間 サイト単位 - 面 -
	[月次]プログラム別稼働時間 サイト単位 - 面 -
	[月次]DB02 Oracle テーブルスペース毎の使用率 - 折れ線 -
	[月次]DB02 Oracle テーブルスペース毎の使用量 - 折れ線 -
	[月次]DB02 Oracle テーブルスペース毎のサイズ - 折れ線 -
DB2	[詳細]DB2 アプリケーション毎の SQL 試行回数 - 面 -
	[詳細]DB2 アプリケーション毎のプロセッサ使用率 - 面 -
	[詳細]DB2 ユーザ毎の SQL 試行回数 - 面 -
	[詳細]DB2 ユーザ毎のプロセッサ使用率 - 面 -
	[詳細]DB2 テーブルスペース毎のインデックスページ物理読込回数 - 面 -
	[詳細]DB2 テーブルスペース毎のインデックスページ物理書込回数 - 面 -
	[詳細]DB2 テーブルスペース毎の論理読込回数 - 面 -
	[詳細]DB2 テーブルスペース毎の論理読込回数(IndexPage/DataPage) - 面 -
	[詳細]DB2 テーブルスペース毎の論理読込回数(IndexPage) - 面 -
	[詳細]DB2 テーブルスペース毎の論理読込回数(DataPage) - 面 -
	[詳細]DB2 テーブルスペース毎の物理 I/O 回数(Read/Write) - 面 -
	[詳細]DB2 テーブルスペース毎の物理読込回数 - 面 -
	[詳細]DB2 テーブルスペース毎の物理書込回数 - 面 -
	[詳細]DB2 テーブルスペース毎の物理 I/O 回数(IndexPage/DataPage) - 面 -
	[詳細]DB2 テーブルスペース毎の物理 I/O 回数(IndexPage) - 面 -
	[詳細]DB2 テーブルスペース毎の物理 I/O 回数(DataPage) - 面 -
	[詳細]DB2 バッファ毎の同期 I/O 回数 - 面 -
	[詳細]DB2 バッファ毎の非同期 I/O 回数 - 面 -
	[詳細]DB2 バッファ毎のバッファヒット率 - 折れ線 -
	[詳細]DB2 バッファ毎の論理読込回数 - 面 -
	[詳細]DB2 バッファ毎の論理読込回数(IndexPage/DataPage) - 面 -
	[詳細]DB2 バッファ毎の論理読込回数(IndexPage) - 面 -
	[詳細]DB2 バッファ毎の論理読込回数(DataPage) - 面 -
	[詳細]DB2 バッファ毎の物理 I/O 回数(Read/Write) - 面 -
	[詳細]DB2 バッファ毎の物理読込回数 - 面 -
	[詳細]DB2 バッファ毎の物理書込回数 - 面 -
	[詳細]DB2 バッファ毎の物理 I/O 回数(IndexPage/DataPage) - 面 -
	[詳細]DB2 バッファ毎の物理 I/O 回数(IndexPage) - 面 -
	[詳細]DB2 バッファ毎の物理 I/O 回数(DataPage) - 面 -
	[詳細]DB2 アプリケーション毎のオブジェクトロック要求タイムアウト回数 - 折れ線 -
	[詳細]DB2 テーブルスペース毎のテーブルスペース使用率 - 折れ線 -
	[詳細]DB2 テーブルスペース毎の使用ページ数 - 折れ線 -
	[詳細]DB2 テーブルスペースノード毎のテーブルスペース使用率 - 折れ線 -
	[詳細]DB2 テーブルスペースノード毎の使用ページ数 - 折れ線 -
	[月次]DB2 テーブルスペースノード毎のテーブルスペース使用率 - 折れ線 -
	[月次]DB2 テーブルスペースノード毎の使用ページ数 - 折れ線 -
	[年次]DB2 テーブルスペース毎のテーブルスペース使用率 - 折れ線 -
	[年次]DB2 テーブルスペース毎の使用ページ数 - 折れ線 -
	[年次]DB2 テーブルスペースノード毎のテーブルスペース使用率 - 折れ線 -
	[年次]DB2 テーブルスペースノード毎の使用ページ数 - 折れ線 -

カテゴリ	対象となる標準クエリー名
DB2	[詳細]DB2 バッファ毎のバッファヒット率(V9) - 折れ線 -
	[詳細]DB2 TEMPORARY 表スペースヒット率(V9) - 折れ線 -
	[詳細]DB2 バッファプールのデータページヒット率(V9) - 折れ線 -
	[詳細]DB2 バッファ毎のバッファヒット率 - 折れ線 - [PWS ミニグラフ]
	[詳細]DB2 バッファ毎のバッファヒット率(V9) - 折れ線 - [PWS ミニグラフ]
Packet Monitor	クライアント毎の再転送率 - 棒 -
MIB Collector	[詳細]ポート別受信破棄パケット数 - 折れ線 -
	[詳細]ポート別送信破棄パケット数 - 折れ線 -
	[詳細]ポート別エラーパケット数 - 折れ線 -
	[詳細]ポート別受信パケット数(ユニキャスト) - 折れ線 -
MIB Collector	[詳細]ポート別受信パケット数(ブロードキャスト) - 折れ線 -
	[詳細]ポート別送信パケット数 - 折れ線 -
	[詳細]ポート別受信量 - 折れ線 -
	[詳細]ポート別送信量 - 折れ線 -
	[詳細]ポート別帯域使用率(受信) - 折れ線 -
	[詳細]ポート別帯域使用率(送信) - 折れ線 -
HTTP Log Processor	[詳細]URL 毎のアクセス件数 - 面 -
	[合計]URL 毎のアクセス件数 - 棒 -
	[詳細]URL 毎の平均レスポンス時間(アクセス件数順) - 折れ線 -
	[詳細]URL 毎の平均レスポンス時間(レスポンス時間順) - 折れ線 -
	[詳細]URL 毎の最大レスポンス時間(アクセス件数順) - 折れ線 -
	[詳細]URL 毎の最大レスポンス時間(レスポンス時間順) - 折れ線 -
	[詳細]クライアント毎のアクセス件数 - 面 -
	[合計]クライアント毎のアクセス件数 - 棒 -
	[詳細]URL 毎のページアクセス件数 - 面 -
	[合計]URL 毎のページアクセス件数 - 棒 -
	[詳細]URL 毎の平均ページレスポンス時間(ページアクセス件数順) - 折れ線 -
	[詳細]URL 毎の平均ページレスポンス時間(ページレスポンス時間順) - 折れ線 -
	[詳細]URL 毎の最大ページレスポンス時間(ページアクセス件数順) - 折れ線 -
	[詳細]URL 毎の最大ページレスポンス時間(ページレスポンス時間順) - 折れ線 -
	[詳細]クライアント毎のページアクセス件数 - 面 -
	[合計]クライアント毎のページアクセス件数 - 棒 -
	[詳細]URL 毎のアクセス件数 サイト単位 - 面 -
	[詳細]URL 毎の 95P レスポンス時間(アクセス件数順) - 折れ線 -
	[詳細]URL 毎の 95P レスポンス時間(アクセス件数順) サイト単位 - 折れ線 -
	[詳細]URL・サマリ - 複合 -
	[詳細]URL・サマリ サイト単位 - 複合 -
	[帳票]アクセスログ明細(レスポンス時間順) サイト単位
	[月次]URL 毎のアクセス件数 サイト単位 - 面 -
CS-Java for WebLogic	[詳細]WebLogic 実行キュー毎の Idle スレッド数 - 折れ線 -
	[詳細]WebLogic 実行キュー毎のスループット - 折れ線 -
	[詳細]WebLogic 実行キュー毎の保留要求数 - 折れ線 -
	[詳細]WebLogic Web アプリケーション毎のオープンされたセッション数 - 折れ線 -
	[詳細]WebLogic Web アプリケーション毎の現在のセッション数 - 折れ線 -
	[詳細]WebLogic サーブレット毎の実行時間 - 折れ線 -

カテゴリ	対象となる標準クエリー名
CS-Java for WebLogic	[詳細]WebLogic サーブレット毎の起動回数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic サーブレット毎の平均実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic EntityEJB 毎のコミットしたトランザクション数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic EntityEJB 毎のロールバックしたトランザクション数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic EntityEJB 毎のトランザクションのタイムアウト総数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic EntityEJB 毎のキャッシュ中の Bean 数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic EntityEJB 毎のキャッシュアクセス回数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic EntityEJB 毎のキャッシュヒット回数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic EntityEJB 毎のキャッシュアクティベーション回数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic EntityEJB 毎のキャッシュパッシベーション回数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic EntityEJB 毎の使用済 Bean 数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic EntityEJB 毎のアイドル Bean 数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic EntityEJB 毎の Bean インスタンスを待っているスレッド数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic EntityEJB 毎の Bean インスタンス待ちがタイムアウトしたスレッド数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic EntityEJB 毎の現在のロックエントリ数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic EntityEJB 毎のロックマネージャのアクセス数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic EntityEJB 毎のロックタイムアウト総数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic EntityEJB 毎のロック待機数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic StatefulEJB 毎のコミットしたトランザクション数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic StatefulEJB 毎のロールバックしたトランザクション数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic StatefulEJB 毎のトランザクションのタイムアウト総数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic StatefulEJB 毎のキャッシュ中の Bean 数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic StatefulEJB 毎のキャッシュアクセス回数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic StatefulEJB 毎のキャッシュヒット回数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic StatefulEJB 毎のキャッシュアクティベーション回数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic StatefulEJB 毎のキャッシュパッシベーション回数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic StatefulEJB 毎の現在のロックエントリ数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic StatefulEJB 毎のロックマネージャのアクセス数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic StatefulEJB 毎のロックタイムアウト総数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic StatefulEJB 毎のロック待機数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic StatelessEJB 毎のコミットしたトランザクション数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic StatelessEJB 毎のロールバックしたトランザクション数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic StatelessEJB 毎のトランザクションのタイムアウト総数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic StatelessEJB 毎の使用済 Bean 数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic StatelessEJB 毎のアイドル Bean 数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic StatelessEJB 毎の Bean インスタンスを待っているスレッド数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic StatelessEJB 毎の Bean インスタンス待ちがタイムアウトしたスレッド数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic MessageDrivenEJB 毎のコミットしたトランザクション数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic MessageDrivenEJB 毎のロールバックしたトランザクション数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic MessageDrivenEJB 毎のトランザクションのタイムアウト総数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic MessageDrivenEJB 毎の使用済 Bean 数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic MessageDrivenEJB 毎のアイドル Bean 数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic MessageDrivenEJB 毎の Bean インスタンスを待っているスレッド数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic MessageDrivenEJB 毎の Bean インスタンス待ちがタイムアウトしたスレッド数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic JDBC 接続プール毎のアクティブな接続数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic JDBC 接続プール毎の接続遅延時間(ミリ秒) – 折れ線 –



カテゴリ	対象となる標準クエリー名
CS-Java for WebLogic	[詳細]WebLogic JDBC 接続プール毎の接続解放漏れプロファイル数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic JDBC 接続プール毎の接続総数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic JDBC 接続プール毎の再接続失敗数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic JDBC 接続プール毎の接続解放漏れコネクション数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic JDBC 接続プール毎の最大容量 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic JDBC 接続プール毎の接続待ち数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic JDBC 接続プール毎の最大接続待ち数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic JDBC 接続プール毎の最大接続待ち時間(秒) – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic JRockit ガベージコレクション実行回数 – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic JRockit ガベージコレクション実行時間(ミリ秒) – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic スレッドプール毎の保留ユーザ要求数(V9 以降) – 折れ線 –
	[詳細]WebLogic スレッドプール毎の処理リクエスト数(V9 以降) – 折れ線 –
CS-Java for Interstage	[詳細]Interstage ワークユニット毎 JVM ヒープ使用率 – 折れ線 –
	[月次]Interstage ワークユニット毎 JVM ヒープ使用率 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage ガベージコレクション実行回数 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage ガベージコレクション実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage サブレット毎の実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage サブレット毎の起動回数 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage サブレット毎の平均実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage EntityEJB 毎の作成回数 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage EntityEJB 毎の削除回数 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage EntityEJB 毎の準備完了インスタンス数 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage EntityEJB 毎のプール中のインスタンス数 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage EntityEJB 毎の Passive 状態のインスタンス数 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage EntityEJB 毎の Passive 発生トランザクション数 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage EntityEJB 毎の Bean アクセストランザクション数 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage EntityEJB 毎の 1 トランザクションあたりの使用インスタンス数 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage EntityEJB メソッド毎の実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage EntityEJB メソッド毎の起動回数 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage EntityEJB メソッド毎の平均実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage MessageDrivenEJB 毎の作成回数 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage MessageDrivenEJB 毎の削除回数 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage MessageDrivenEJB 毎のバックアップメッセージ数 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage MessageDrivenEJB 毎の受信メッセージ数 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage MessageDrivenEJB メソッド毎の実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage MessageDrivenEJB メソッド毎の起動回数 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage MessageDrivenEJB メソッド毎の平均実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage StatefulSessionEJB 毎の作成回数 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage StatefulSessionEJB 毎の削除回数 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage StatefulSessionEJB 毎の MethodReady 状態にあるセッション Beans の数 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage StatefulSessionEJB 毎の Passive 状態のインスタンス数 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage StatefulSessionEJB 毎のアイドルタイムアウト発生回数 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage StatefulSessionEJB 毎の Active 化されたインスタンス数 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage StatefulSessionEJB メソッド毎の実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage StatefulSessionEJB メソッド毎の起動回数 – 折れ線 –

カテゴリ	対象となる標準クエリー名
CS-Java for Interstage	[詳細]Interstage StatefulSessionEJB メソッド毎の平均実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage StatelessSessionEJB 毎の作成回数 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage StatelessSessionEJB 毎の削除回数 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage StatelessSessionEJB 毎の MethodReady 状態にあるセッション Beans の数 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage StatelessSessionEJB メソッド毎の実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage StatelessSessionEJB メソッド毎の起動回数 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage StatelessSessionEJB メソッド毎の平均実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage JDBCPool 毎の平均コネクション待ち時間 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage JDBCPool 毎の平均コネクション使用時間 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage JDBCPool 毎のコネクション待ちスレッド数 – 折れ線 –
	[詳細]Interstage JDBCPool 毎の平均物理コネクション確立時間 – 折れ線 –
CS-Java for WebSphere	[詳細]WebSphere プロセス毎 JVM ヒープ使用率 – 折れ線 –
	[月次]WebSphere プロセス毎 JVM ヒープ使用率 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere JSP 毎の実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere JSP 毎の起動回数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere JSP 毎の平均実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere JSP 毎の同時に処理されるリクエスト数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere JSP 毎のエラー数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere サークレット毎の実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere サークレット毎の起動回数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere サークレット毎の平均実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere サークレット毎の同時に処理されるリクエスト数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere サークレット毎のエラー数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere EntityEJB 毎のメソッド実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere EntityEJB 毎のメソッド実行回数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere EntityEJB 毎のメソッド平均実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere EntityEJB 毎の Activation 時間 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere EntityEJB 毎の Activation 回数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere EntityEJB 毎の Activation 平均時間 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere EntityEJB 毎の Passivation 時間 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere EntityEJB 毎の Passivation 回数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere EntityEJB 毎の Passivation 平均時間 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere EntityEJB 毎のパーシスタント・ストレージからのロード時間 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere EntityEJB 毎のパーシスタント・ストレージからのロード回数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere EntityEJB 毎のパーシスタント・ストレージからの平均ロード時間 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere EntityEJB 毎の作動可能状態の Bean 数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere EntityEJB 毎のプール内のオブジェクト数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere EntityEJB 毎のプール満杯のためオブジェクトが破棄された回数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere EntityEJB 毎の同時アクティブメソッド数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere MessageDrivenEJB 毎のメソッド実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere MessageDrivenEJB 毎のメソッド実行回数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere MessageDrivenEJB 毎のメソッド平均実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere MessageDrivenEJB 毎のプールからのサーバ・セッション取得時間 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere MessageDrivenEJB 毎のプールからのサーバ・セッション取得回数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere MessageDrivenEJB 毎のプールからのサーバ・セッション平均取得時間 – 折れ線 –

カテゴリ	対象となる標準クエリー名
CS-Java for WebSphere	[詳細]WebSphere MessageDrivenEJB 毎のプール内のオブジェクト数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere MessageDrivenEJB 毎のプール満杯のためオブジェクトが破棄された回数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere MessageDrivenEJB 毎の同時アクティブメソッド数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere MessageDrivenEJB 毎の onMessage メソッドに送達されたメッセージ数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere MessageDrivenEJB 毎の onMessage メソッドに送達できなかったバックアウト・メッセージ数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere StatefulSessionEJB 毎のメソッド実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere StatefulSessionEJB 毎のメソッド実行回数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere StatefulSessionEJB 毎のメソッド平均実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere StatefulSessionEJB 毎の Activation 時間 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere StatefulSessionEJB 毎の Activation 回数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere StatefulSessionEJB 毎の Activation 平均時間 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere StatefulSessionEJB 毎の Passivation 時間 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere StatefulSessionEJB 毎の Passivation 回数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere StatefulSessionEJB 毎の Passivation 平均時間 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere StatefulSessionEJB 毎の同時アクティブメソッド数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere StatelessSessionEJB 毎のメソッド実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere StatelessSessionEJB 毎のメソッド実行回数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere StatelessSessionEJB 毎のメソッド平均実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere StatelessSessionEJB 毎のプール満杯のためオブジェクトが破棄された回数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere StatelessSessionEJB 毎の同時アクティブメソッド数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere ThreadPool 毎のアクティブスレッド数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere ThreadPool 毎のプール内スレッド数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere JDBCPool 毎のコネクション使用時間 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere JDBCPool 毎のコネクション使用回数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere JDBCPool 毎のコネクション平均使用時間 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere JDBCPool 毎のコネクション認可待ち時間 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere JDBCPool 毎のコネクション認可待ち回数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere JDBCPool 毎のコネクション平均認可待ち時間 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere JDBCPool 毎のコネクション待ちスレッド数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere JDBCPool 毎のプールにある接続タイムアウト数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere JDBCPool 毎のキャッシュ満杯のため破棄されるステートメント数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere JVM ガベージコレクション実行回数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere JVM ガベージコレクション実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere JDBCDataSource 毎のコネクション使用時間 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere JDBCDataSource 毎のコネクション使用回数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere JDBCDataSource 毎のコネクション平均使用時間 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere JDBCDataSource 毎のコネクション認可待ち時間 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere JDBCDataSource 毎のコネクション認可待ち回数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere JDBCDataSource 毎のコネクション平均認可待ち時間 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere JDBCDataSource 毎のコネクション待ちスレッド数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere JDBCDataSource 毎のプールにある接続タイムアウト数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere JDBCDataSource 毎のキャッシュ満杯のため破棄されるステートメント数 – 折れ線 –
	[詳細]WebSphere 現在活動中のセッション数 – 折れ線 –



カテゴリ	対象となる標準クエリー名
VMware	[詳細]VMware ゲスト OS 毎のネットワーク使用量(3) - 折れ線 -
	[詳細]VMware ゲスト OS・デバイス毎の I/O 使用量(3) - 折れ線 -
	[詳細]VMware ホスト毎のプロセッサ使用量(VC) - 面 -
	[詳細]VMware ホスト毎のプロセッサ使用率(VC) - 折れ線 -
	[詳細]VMware ホスト毎のメモリー使用率(VC) - 折れ線 -
	[詳細]VMware ホスト毎の Swapout メモリー量(VC) - 複合 -
	[詳細]VMware ホスト・デバイス毎の I/O 使用量(VC) - 折れ線 -
	[詳細]VMware ホスト・物理アダプタ毎のネットワーク使用量(VC) - 折れ線 -
	[詳細]VMware ゲスト OS 毎のプロセッサ使用量(VC) - 面 -
	[詳細]VMware ゲスト OS 毎のプロセッサ Ready 率(VC) - 折れ線 -
	[詳細]VMware ゲスト OS 毎のゲストメモリー使用率(VC) - 折れ線 -
	[詳細]VMware ゲスト OS・デバイス毎の I/O 使用量(VC) - 折れ線 -
	[詳細]VMware ゲスト OS 毎のネットワーク使用量(VC) - 折れ線 -
	[詳細]VMware データストア毎の最大スペース使用率(VC) - 折れ線 -
	[詳細]VMware 特定ホスト内のゲスト OS 毎のプロセッサ使用率(VC) - 面 -
	[詳細]VMware 特定ホスト内のゲスト OS 毎のプロセッサ Ready 率(VC) - 複合 -
	[詳細]VMware 特定ホスト内のゲスト OS 毎の Swapout メモリー量(VC) - 複合 -
	[詳細]VMware 特定ホスト内のゲスト OS・デバイス毎の I/O 使用量(VC) - 折れ線 -
	[詳細]VMware 特定ホスト内のゲスト OS 毎のネットワーク使用量(VC) - 折れ線 -
	[平均]VMware ホスト毎のプロセッサ使用率(VC) - 棒 -
	[平均]VMware ホスト毎のメモリー使用率(VC) - 棒 -
	[平均]VMware ホスト・デバイス毎の I/O 使用量(VC) - 棒 -
	[平均]VMware ホスト・物理アダプタ毎のネットワーク使用量(VC) - 棒 -
	[平均]VMware ゲスト OS 毎のプロセッサ使用量(VC) - 棒 -
	[平均]VMware ゲスト OS 毎のホストメモリー使用量(VC) - 棒 -
	[平均]VMware データストア毎の最大スペース使用量(VC) - 棒 -
	[月次]VMware 特定データストア内のフォルダ毎のスペース使用量(VC) - 面 -
	[月次]VMware ホスト毎のプロセッサ使用量(VC) - 面 -
	[月次]VMware ホスト毎のプロセッサ使用率(VC) - 折れ線 -
	[月次]VMware ホスト毎のメモリー使用率(VC) - 折れ線 -
	[月次]VMware ホスト毎の Swapout メモリー量(VC) - 複合 -
	[月次]VMware ゲスト OS 毎のプロセッサ使用量(VC) - 面 -
	[月次]VMware 特定ホスト内のゲスト OS 毎のプロセッサ使用率(VC) - 面 -
	[月次]VMware データストア毎の最大スペース使用率(VC) - 折れ線 -
	[年次]VMware ホスト毎のプロセッサ使用量(VC) - 面 -
	[年次]VMware ホスト毎のプロセッサ使用率(VC) - 折れ線 -
	[年次]VMware ホスト毎のメモリー使用率(VC) - 折れ線 -
	[年次]VMware ホスト毎の Swapout メモリー量(VC) - 複合 -
	[年次]VMware ゲスト OS 毎のプロセッサ使用量(VC) - 面 -
	[年次]VMware 特定ホスト内のゲスト OS 毎のプロセッサ使用率(VC) - 面 -
	[年次]VMware データストア毎の最大スペース使用率(VC) - 折れ線 -
	[年次]VMware 特定データストア内のフォルダ毎のスペース使用量(VC) - 面 -
	[詳細]VMware クラスタ毎のプロセッサ使用率(VC) - 折れ線 -
	[詳細]VMware クラスタ毎のメモリー使用率(VC) - 折れ線 -
	[詳細]VMware 特定ホスト内のゲスト OS 毎の仮想プロセッサ使用率(VC) - 折れ線 -
	[詳細]VMware 特定ホスト内のゲスト OS 毎の Swapin メモリー量(VC) - 面 -

カテゴリ	対象となる標準クエリー名
VMware	[詳細]VMware 特定ホスト内のデバイス毎の I/O レイテンシ(VC) – 折れ線 –
	[詳細]VMware 特定ホスト内のデバイス毎の I/O コマンド量(VC) – 折れ線 –
	[詳細]VMware 特定ホスト内のデバイス毎の I/O 使用量(VC) – 折れ線 –
	[月次]VMware 稼働中のゲスト OS 数(VC) – 面 –
	[月次]VMware ゲスト OS 毎のストレージ使用量(VC) – 面 –
	[月次]VMware ゲスト OS 毎のスナップショットストレージ使用量(VC) – 面 –
	[月次]VMware 特定ホスト内のゲスト OS 毎の仮想プロセッサ使用率(VC) – 折れ線 –
	[月次]VMware 特定ホスト内のゲスト OS 毎の Swapin メモリー量(VC) – 面 –
	[月次]VMware 特定ホスト内のデバイス毎の I/O レイテンシ(VC) – 折れ線 –
	[月次]VMware 特定ホスト内のデバイス毎の I/O コマンド量(VC) – 折れ線 –
	[月次]VMware 特定ホスト内のデバイス毎の I/O 使用量(VC) – 折れ線 –
	[月次]VMware クラスタ毎のプロセッサ使用率(VC) – 折れ線 –
	[月次]VMware クラスタ毎のメモリー使用率(VC) – 折れ線 –
	[詳細]VMware ホスト毎の Swapout メモリー量(VC) – 折れ線 –
	[詳細]VMware 特定ホスト内のゲスト OS 毎の Balloon メモリー量(VC) – 複合 –
	[月次]VMware ホスト毎の Swapout メモリー量(VC) – 折れ線 –
	[月次]VMware 特定ホスト内のゲスト OS 毎の Balloon メモリー量(VC) – 複合 –
	[詳細]VMware ゲスト OS 毎の仮想プロセッサ使用率(VC) – 折れ線 –
	[詳細]VMware 特定ホスト内のゲスト OS 毎のアクティブメモリー量(VC) – 複合 –
	[詳細]VMware 特定ホスト内のデータストア毎の IO コマンド量(VC) – 折れ線 –
	[詳細]VMware 特定ホスト内のデータストア毎の Read レイテンシ(VC) – 折れ線 –
	[詳細]VMware 特定ホスト内のデータストア毎の Write レイテンシ(VC) – 折れ線 –
	VMware ゲスト OS 毎のデータストア使用量(VC) – 棒 –
	[月次]VMware ゲスト OS 毎の仮想プロセッサ使用率(VC) – 折れ線 –
	[月次]VMware 特定ホスト内のゲスト OS 毎のアクティブメモリー量(VC) – 複合 –
	[月次]VMware 特定ホスト内のデータストア毎の IO コマンド量(VC) – 折れ線 –
	[月次]VMware 特定ホスト内のデータストア毎の Read レイテンシ(VC) – 折れ線 –
	[月次]VMware 特定ホスト内のデータストア毎の Write レイテンシ(VC) – 折れ線 –
	[平均]VMware ホスト毎のメモリー使用状況(VC) – 棒 –
	VMware ゲスト OS 毎の余剰仮想プロセッサ数(VC) – 複合 –
	[詳細]VMware ゲスト OS・ホスト毎のプロセッサ Ready 率(VC) – 折れ線 –
	[詳細]VMware ゲスト OS・データストア毎の Read レイテンシ(VC) – 折れ線 –
	[詳細]VMware ゲスト OS・データストア毎の Write レイテンシ(VC) – 折れ線 –
	[詳細]VMware ゲスト OS・データストア毎の Read 数(VC) – 折れ線 –
	[詳細]VMware ゲスト OS・データストア毎の Write 数(VC) – 折れ線 –
	[詳細]VMware 特定クラスタ内のホスト毎のプロセッサ使用量(VC) – 面 –
	[詳細]VMware 特定クラスタ内のホスト毎のプロセッサ使用率(VC) – 折れ線 –
	[月次]VMware ホスト毎の最大プロセッサ使用率(VC) – 折れ線 –
	[月次]VMware ホスト毎の最大メモリー使用率(VC) – 折れ線 –
	[月次]VMware ホスト毎の最大 Swapout メモリー量(VC) – 折れ線 –
	[月次]VMware ホスト・物理アダプタ毎の最大ネットワーク使用量(VC) – 折れ線 –
	[月次]VMware ゲスト OS 毎の最大仮想プロセッサ使用率(VC) – 折れ線 –
	[月次]VMware ゲスト OS 毎の平均仮想プロセッサ使用率(VC) – 折れ線 –
	[月次]VMware ゲスト OS 毎の最大ゲストメモリー使用率(VC) – 折れ線 –
	[月次]VMware データストア毎の最大スペース使用率(VC) – 折れ線 –
	[月次]VMware データストア毎の平均レイテンシ(VC) – 折れ線 –

カテゴリ	対象となる標準クエリー名
VMware	[月次]VMware データストア毎の平均 IO コマンド量(VC) – 折れ線 –
	[月次]VMware ゲスト OS 毎の最大 Swapin メモリー量(VC) – 折れ線 –
	[詳細]VMware ゲスト OS 毎の I/O 使用量(3) – 折れ線 –
	[月次]VMware ホスト毎の最大 Balloon メモリー量(VC) – 折れ線 –
	VMware ゲスト OS 毎の余剰な仮想プロセッサ数(VC) – 複合 –
	[詳細]VMware ゲスト OS・仮想アダプタ毎の受信パケットロス数(VC) – 折れ線 –
	[詳細]VMware ゲスト OS・仮想アダプタ毎の送信パケットロス数(VC) – 折れ線 –
	[詳細]VMware 特定クラスタ内のホスト毎のメモリー使用量(VC) – 面 –
	[詳細]VMware 特定クラスタ内のホスト毎のメモリー使用率(VC) – 折れ線 –
	[詳細]VMware 特定クラスタ内のホスト毎のアクティブメモリー使用量(VC) – 面 –
	[詳細]VMware 特定クラスタ内のゲスト OS 毎の仮想プロセッサ使用率(VC) – 折れ線 –
	[詳細]VMware 特定クラスタ内のホスト・物理アダプタ毎のネットワーク使用量(VC) – 折れ線 –
	[詳細]VMware 特定クラスタ内のゲスト OS 毎のネットワーク使用量(VC) – 折れ線 –
	[月次]VMware 特定クラスタ内のホスト毎のプロセッサ使用量(VC) – 面 –
	[月次]VMware 特定クラスタ内のホスト毎の最大プロセッサ使用率(VC) – 折れ線 –
	[月次]VMware 特定クラスタ内のホスト毎のメモリー使用量(VC) – 面 –
	[月次]VMware 特定クラスタ内のホスト毎の最大メモリー使用率(VC) – 折れ線 –
	[月次]VMware 特定ホスト内のゲスト OS・デバイス毎の最大 I/O アボート回数(VC) – 折れ線 –
CS-Java for OracleAS	[詳細]OracleAS サークレット毎の平均実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]OracleAS EntityEJB 毎の作成回数 – 折れ線 –
	[詳細]OracleAS EntityEJB メソッド毎の平均実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]OracleAS MessageDrivenEJB 毎の作成回数 – 折れ線 –
	[詳細]OracleAS MessageDrivenEJB メソッド毎の平均実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]OracleAS StatefulSessionEJB 毎の作成回数 – 折れ線 –
	[詳細]OracleAS StatefulSessionEJB メソッド毎の平均実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]OracleAS StatelessSessionEJB 毎の作成回数 – 折れ線 –
	[詳細]OracleAS StatelessSessionEJB メソッド毎の平均実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]OracleAS JDBCDataSource 毎の平均接続待ち時間 – 折れ線 –
	[詳細]OracleAS JDBCDataSource 毎の平均接続使用時間 – 折れ線 –
	[詳細]OracleAS ThreadPool 毎のプール内スレッド数 – 折れ線 –
	[詳細]OracleAS ThreadPool 毎のキュー内で待機中のタスク数 – 折れ線 –
MySQL	[平均]MySQL MyISAM テーブル領域毎の最大使用量 – 棒 –
	[月次]MySQL MyISAM テーブル領域毎の使用量 – 折れ線 –
	[年次]MySQL MyISAM テーブル領域毎の使用量 – 折れ線 –
CS-Java for JBoss	[詳細]JBoss サークレット毎の起動回数 – 折れ線 –
	[詳細]JBoss サークレット毎の平均実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]JBoss StatefulSessionBean 毎のキャッシュ中のインスタンス数 – 折れ線 –
	[詳細]JBoss StatefulSessionBean 毎の Passivate 状態のインスタンス数 – 折れ線 –
	[詳細]JBoss StatefulSessionBean メソッド毎の起動回数 – 折れ線 –
	[詳細]JBoss StatefulSessionBean メソッド毎の平均実行時間 – 折れ線 –
	[詳細]JBoss StatelessSessionBean 毎の使用インスタンス数 – 折れ線 –
	[詳細]JBoss StatelessSessionBean メソッド毎の起動回数 – 折れ線 –
	[詳細]JBoss StatelessSessionBean メソッド毎の平均実行時間 – 折れ線 –
Hyper-V	[詳細]複数 Hyper-V ホスト毎のプロセッサ使用率 – 折れ線 –
	[詳細]複数 Hyper-V ホスト毎のメモリー使用率 – 折れ線 –
	[詳細]Hyper-V パーティション毎のプロセッサ使用率 – 折れ線 –
	[詳細]Hyper-V 物理ディスクの使用率 – 折れ線 –

カテゴリ	対象となる標準クエリー名
Hyper-V	[詳細]Hyper-V 物理ディスクの Read レイテンシ – 折れ線 –
	[詳細]Hyper-V 物理ディスクの Write レイテンシ – 折れ線 –
	[詳細]Hyper-V パーティション毎のメモリー使用量 – 複合 –
	[詳細]Hyper-V 物理ディスク毎の転送量 – 折れ線 –
	[詳細]Hyper-V 論理ディスク毎の転送量 – 折れ線 –
	複数 Hyper-V パーティション毎のストレージ使用量 – 棒 –
	[月次]複数 Hyper-V 稼働中のパーティション数 – 面 –
	[月次]複数 Hyper-V ホスト毎のプロセッサ使用率 – 折れ線 –
	[月次]複数 Hyper-V ホスト毎のメモリー使用率 – 折れ線 –
	[月次]Hyper-V パーティション毎のプロセッサ使用率 – 折れ線 –
	[月次]Hyper-V 物理ディスクの使用率 – 折れ線 –
	[月次]Hyper-V 物理ディスクの Read レイテンシ – 折れ線 –
	[月次]Hyper-V 物理ディスクの Write レイテンシ – 折れ線 –
	[月次]Hyper-V パーティション毎のメモリー使用量 – 複合 –
	[月次]Hyper-V 物理ディスク毎の転送量 – 折れ線 –
	[月次]Hyper-V 論理ディスク毎の転送量 – 折れ線 –
Virtage	[詳細]HVM 毎のプロセッサ使用率 – 折れ線 –
	[詳細]プロセッサグループ毎のプロセッサ使用率 – 面 –
	[詳細]LPAR 毎のプロセッサ使用率 – 面 –
	[詳細]LPAR 毎の仮想プロセッサ使用率 – 折れ線 –
	[詳細]LPAR 毎のプロセッサ不足率 – 折れ線 –
	[詳細]物理 NIC 毎の送受信バイト数 – 折れ線 –
	[詳細]LPAR 毎の送受信バイト数 – 折れ線 –
	[詳細]物理 HBA ポート毎の使用率 – 折れ線 –
	[詳細]LPAR 毎の仮想 HBA 起動回数 – 面 –
	[月次]稼働中の LPAR 数 – 面 –
	[月次]HVM 毎のプロセッサ使用率 – 折れ線 –
	[月次]プロセッサグループ毎のプロセッサ使用率 – 面 –
	[月次]LPAR 毎のプロセッサ使用率 – 面 –
	[月次]LPAR 毎の仮想プロセッサ使用率 – 折れ線 –
Virtage	[月次]LPAR 毎のプロセッサ不足率 – 折れ線 –
	[月次]物理 NIC 毎の送受信バイト数 – 折れ線 –
	[月次]LPAR 毎の送受信バイト数 – 折れ線 –
	[月次]物理 HBA ポート毎の使用率 – 折れ線 –
	[月次]LPAR 毎の仮想 HBA 起動回数 – 面 –
CS-KVM	[詳細]KVM ホスト毎のプロセッサ使用率 – 折れ線 –
	[詳細]KVM ホスト毎のメモリー使用率 – 折れ線 –
	[詳細]KVM ドメイン毎のプロセッサ使用率 – 面 –
	[詳細]KVM メモリー使用量 – 面 –
	[詳細]KVM ドメイン毎のネットワーク受信転送量 – 折れ線 –
	[詳細]KVM ドメイン毎のネットワーク送信転送量 – 折れ線 –
	[詳細]KVM ドメイン毎の IO コマンド量 – 折れ線 –

カテゴリ	対象となる標準クエリー名
CS-KVM	[詳細]KVM ドメイン毎の IO 転送量 – 折れ線 –
	[月次]KVM 稼働中のドメイン数 – 面 –
	[月次]KVM ホスト毎のプロセッサ使用率 – 折れ線 –
	[月次]KVM ホスト毎のメモリ使用率 – 折れ線 –
	[月次]KVM ドメイン毎のプロセッサ使用率 – 面 –
	[月次]KVM メモリ使用量 – 面 –
	[月次]KVM ドメイン毎のネットワーク受信転送量 – 折れ線 –
	[月次]KVM ドメイン毎のネットワーク送信転送量 – 折れ線 –
	[月次]KVM ドメイン毎の IO コマンド量 – 折れ線 –
	[月次]KVM ドメイン毎の IO 転送量 – 折れ線 –
	KVM プール毎のストレージ使用量 – 棒 –
	KVM プールボリューム毎のストレージ使用量 – 棒 –
CS-Storage for NetApp	[詳細]NetApp 特定 Vserver 内のボリューム毎のレイテンシ – 折れ線 –
	[詳細]NetApp 特定 Vserver 内のボリューム毎の IOps – 折れ線 –
	[月次]NetApp 特定 Vserver 内のボリューム毎のレイテンシ – 折れ線 –
	[月次]NetApp 特定 Vserver 内のボリューム毎の IOps – 折れ線 –
	NetApp アグリゲート毎のストレージ使用量 – 棒 –
	NetApp 特定 Vserver 内のボリューム毎のストレージ使用量 – 棒 –
JP1/AJS(ジョブネット)	[詳細]JP1 ジョブネット毎の異常終了件数 – 棒 –
	[詳細]JP1 ジョブネット毎の警告終了件数 – 棒 –
	[詳細]JP1 ジョブネット毎の実行時間（正常終了） – 棒 –
	[詳細]JP1 ジョブネット毎の実行時間（異常終了） – 棒 –
	[詳細]JP1 ジョブネット毎の実行時間（警告終了） – 棒 –
	[月次]JP1 ジョブネット毎の異常終了件数 – 棒 –
	[月次]JP1 ジョブネット毎の警告終了件数 – 棒 –
	[月次]JP1 ジョブネット毎の実行時間乖離状況（正常終了） – 棒 –
	[月次]JP1 ジョブネット毎の開始遅延件数 – 棒 –
JP1/AJS(ジョブネット)	[月次]JP1 ジョブネット毎の終了遅延件数 – 棒 –
JP1/AJS(ジョブ)	[詳細]JP1 ジョブ毎の異常終了件数 – 棒 –
	[詳細]JP1 ジョブ毎の警告終了件数 – 棒 –
	[詳細]JP1 ジョブ毎の開始遅延時間 – 棒 –
	[詳細]JP1 ジョブ毎の実行時間（正常終了） – 棒 –
	[詳細]JP1 ジョブ毎の実行時間（異常終了） – 棒 –
	[詳細]JP1 ジョブ毎の実行時間（警告終了） – 棒 –
	[月次]JP1 ジョブ毎の異常終了件数 – 棒 –
	[月次]JP1 ジョブ毎の警告終了件数 – 棒 –
	[月次]JP1 ジョブ毎の実行時間乖離状況（正常終了） – 棒 –
	[月次]JP1 ジョブ毎の終了遅延件数 – 棒 –



## 第8章 添付資料 B. プロファイル非対応の標準クエリー

プロフィール非対応の標準クエリーは以下の通りです。

以下のクエリーは、プロフィール使用時にクエリーの登録ができません。

カテゴリ	プロフィール非対応の標準クエリー名
複数システム	[年次平均]システム毎のプロセッサ使用率 TOP $\$ \{Top\ n\}$ - 複合 -

以下のクエリーは、クエリー登録時にパラメータの手入力が必要です。入力されたクエリーのパラメータは、対象となるシステム・インスタンスすべてに対して適用されるため、データによっては抽出結果が 0 件となる場合があります。

対象システム毎に異なるクエリーのパラメータが必要な場合、システム毎にクエリーを分けて登録してください。

カテゴリ	プロフィール非対応の標準クエリー名
プロセッサ	区画毎のプロセッサ使用量～AIX LPAR
Packet Monitor	[詳細]TCP セッション確立状況(サーバ) - 折れ線 -
	[詳細]レスポンス時間(サーバ) - 複合 -
	[詳細]レスポンス時間(クライアント) - 複合 -
	[詳細]レスポンス時間(サーバ/特定相手先) - 複合 -
	[詳細]レスポンス時間(クライアント/特定相手先) - 複合 -
	[詳細]レスポンス時間の分布(サーバ) - 複合 -
	[詳細]レスポンス時間の分布(クライアント) - 複合 -
	[詳細]ウィンドウサイズゼロ送受信回数(サーバ) - 折れ線 -
	[詳細]ウィンドウサイズゼロ送受信回数(クライアント) - 折れ線 -
HTTP Log Processor	[詳細]レスポンス時間の分布 - 複合 -
	[月次]HTTP サーバ全体のレスポンス時間と合計アクセス件数 - 複合 -
	[時間帯]HTTP サーバ全体のレスポンス時間と合計アクセス件数 - 複合 -
	[年次]HTTP サーバ全体のレスポンス時間と合計アクセス件数 - 複合 -
	[月次]HTTP サーバ全体の合計エラー件数(4xx) - 面 -
	[月次]HTTP サーバ全体の合計エラー件数(5xx) - 面 -
SAP ERP	[月次]プログラム別稼働時間 - 面 -
	[月次]トランザクション別稼働時間 - 面 -
	[月次]プログラム別プロセッサ時間 - 面 -
	[月次]トランザクション別プロセッサ時間 - 面 -
	[月次]プログラム別 DB 時間 - 面 -
	[月次]トランザクション別 DB 時間 - 面 -
SAP ERP	[月次]合計稼働時間内訳と合計処理トランザクション数 - 複合 -
	[月次]タスクタイプ別待ち時間 - 面 -
	[月次]特定タスクタイプの合計トランザクション数とレスポンス時間(Dialog) - 複合 -
	[月次]拡張メモリー使用量 - 折れ線 -
	[月次]ヒープメモリー使用量 - 折れ線 -

カテゴリ	プロフィール非対応の標準クエリー名
JP1/AJS(ジョブネット)	[詳細]JP1 特定ジョブネット配下のジョブネットスケジュールマップ – 棒 –
	[月次]JP1 特定ジョブネットのスケジュールマップ – 棒 –
	[月次]JP1 特定ジョブネットの実行時間推移 – 折れ線 –
JP1/AJS(ジョブ)	[詳細]JP1 特定ジョブネット配下のジョブスケジュールマップ – 棒 –
	[月次]JP1 特定ジョブのスケジュールマップ – 棒 –
	[月次]JP1 特定ジョブの実行時間推移 – 折れ線 –

## 第9章 添付資料 C. プロファイル対応しているクエリーのデータ列名

ES/1 NEO CS シリーズのクエリーで使用可能なデータ名（表名・列名）のうち、インスタンスプロファイルとパラメータプロファイルに対応しているものの一覧表です。

インスタンスプロファイルやパラメータプロファイルに対応したクエリーを作成したい場合は、ユーザ指定パラメータリスト用置換文字列の表名・列名に一覧表に載っているデータ列名を使用してください。

ex1. @{ATDEV.DISKID,'デバイス名',7}

ex2. @{ATDEV.DISKID,'デバイス名'}

ex3. @{ATDEV.DISKID}

ex1.～ex3.の「ATDEV.DISKID」の部分が一覧表に載っているデータ列名であれば、インスタンスプロファイルやパラメータプロファイルに対応することになります。

### 9.1. インスタンスプロファイル

カテゴリ名	表名	列名
Oracle ドメイン名	ORSYSDAT	DOMAIN
	X_ORTBSP	DOMAIN
	ORMTSYSDAT	DOMAIN
	ORMTFILEIO	DOMAIN
	ORMTTABSCN	DOMAIN
	ORMTREDO	DOMAIN
Oracle データベース名	ORSYSDAT	DBNAME
	X_ORTBSP	DBNAME
	ORMTSYSDAT	DBNAME
	ORMTFILEIO	DBNAME
	ORMTTABSCN	DBNAME
	ORMTREDO	DBNAME
SQL Server インスタンス名	SQ8DB	INST
	SQ8MTACC	INST
	SQ8MTBUFF	INST
	SQ8MTDB	INST
	SQ8MTGEN	INST
	SQ8MTLATCH	INST
	SQ8MTMEM	INST
	SQ8MTSQL	INST
	SQ8MTLOCKS	INST
SQL Server データベース名	SQ8DB	DB_INST
	SQ8MTDB	DB_INST
Symfoware RDB システム名	SFWACLOG	DBNAME
SAP ERP インスタンス名	R3TRN	INSID
	R3MTTRN	INSID
	R3MTTRNRL	INSID
	R3MTMEM	INSID
DB2 ノード名	DB2DBD	INST
DB2 データベース名	DB2DBD	DBNAME



カテゴリ名	表名	列名
WebLogic ドメイン名	WLCJROC	DOMAIN
	WLCJVM	DOMAIN
	WLCSVR	DOMAIN
	WLCTHREADPOOL	DOMAIN
	WLCMTJVM	DOMAIN
	WLCMTJROC	DOMAIN
	WLCMTAPP	DOMAIN
	WLCMTTHREADPOOL	DOMAIN
	WLCMTSVT	DOMAIN
	WLCMTJDBC	DOMAIN
WebLogic サーバ名	WLCJROC	SERVER
	WLCJVM	SERVER
	WLCSVR	SERVER
	WLCTHREADPOOL	SERVER
	WLCMTJVM	SERVER
	WLCMTJROC	SERVER
	WLCMTAPP	SERVER
	WLCMTTHREADPOOL	SERVER
	WLCMTSVT	SERVER
	WLCMTJDBC	SERVER
Interstage ワークユニット名	ISJDBC	IJSERVER
	ISJVM	IJSERVER
Interstage JDBC データソース名	ISJDBC	DATASOURCE
WebSphere セル名	WASJDBC	CELL
	WASJVM	CELL
WebSphere ノード名	WASJDBC	NODE
	WASJVM	NODE
WebSphere プロセス名	WASJDBC	PROCESS
	WASJVM	PROCESS
WebSphere JDBC プロバイダ名	WASJDBC	NAME

カテゴリ名	表名	列名
VMware ESX ホスト名	VMW_HOST	NAME
	VMW_HOSTCPU	NAME
	VMW_HOSTICPU	NAME
	VMW_HOSTMEM	NAME
	VMW_HOSTDISK	NAME
	VMW_HOSTIDISK	NAME
	VMW_HOSTNET	NAME
	VMW_HOSTINET	NAME
	VMW_HOSTSYS	NAME
	VMW_HOSTISYS	NAME
	VMW_HOSTMGMTAGT	NAME
	VMW_HOSTIDATASTORE	NAME
	VMW_HOSTISTORAGEADAPTER	NAME
	VMW_HOSTISTORAGEPATH	NAME
	VMW_YRHOST	NAME
	VMW_YRHOSTMEM	NAME
	VMW_YRHOSTIDATASTORE	NAME
	VMW_YRHOSTISTORAGEADAPTER	NAME
	VMW_YRHOSTISTORAGEPATH	NAME
	VMW_MTHOSTCPU	NAME
	VMW_MTHOSTMEM	NAME
	VMW_MTHOSTINET	NAME
	VMW_MTVMIDISK	NAME
VMware ESX VM 名	VMW_MTVMCPUP	NAME
	VMW_MTVMMEM	NAME
VMware クラスタ名	VMW_CLUSTER	NAME
Virtage LPAR 名称	VT_LPARCONF	NAME
	VT_LPARCPU	NAME
Virtage プロセッサグループ名称	VT_GRP	GRP_NAME
	VT_GRP_PHYCPU	GRP_NAME
	VT_GRP_LPARCPU	GRP_NAME

カテゴリ名	表名	列名
OracleAS ApplicationServer インスタンス名	ORAENTITYEJB	ASINSTANCE
	ORAJDBCSOURCE	ASINSTANCE
	ORAJVM	ASINSTANCE
	ORAMESSAGEDRIVENEJB	ASINSTANCE
	ORASERVLET	ASINSTANCE
	ORASTATEFULEJB	ASINSTANCE
	ORASTATELESSEJB	ASINSTANCE
	ORATHREADPOOL	ASINSTANCE
	ORAENTITYEJBMETHODTIME	ASINSTANCE
	ORAMESSAGEDRIVENEJBMETHODTIME	ASINSTANCE
	ORASTATEFULEJBMETHODTIME	ASINSTANCE
	ORASTATELESSEJBMETHODTIME	ASINSTANCE
OracleAS OC4J インスタンス名	ORAENTITYEJB	OC4JINSTANCE
	ORAJDBCSOURCE	OC4JINSTANCE
	ORAJVM	OC4JINSTANCE
	ORAMESSAGEDRIVENEJB	OC4JINSTANCE
	ORASERVLET	OC4JINSTANCE
	ORASTATEFULEJB	OC4JINSTANCE
	ORASTATELESSEJB	OC4JINSTANCE
	ORATHREADPOOL	OC4JINSTANCE
	ORAENTITYEJBMETHODTIME	OC4JINSTANCE
	ORAMESSAGEDRIVENEJBMETHODTIME	OC4JINSTANCE
	ORASTATEFULEJBMETHODTIME	OC4JINSTANCE
	ORASTATELESSEJBMETHODTIME	OC4JINSTANCE
Jboss インスタンス名	JBSJVM	INST_NAME
	JBSJDBC	INST_NAME
	JBSSERVLET	INST_NAME
	JBSTHREADPOOL	INST_NAME
	JBSSTATEFUL	INST_NAME
	JBSSTATEFULMTHD	INST_NAME
	JBSSTATELESS	INST_NAME
	JBSSTATELESSMTHD	INST_NAME
JBoss JDBC データソース名	JBSJDBC	DATASOURCE_NAME
JBoss スレッドプール名	JBSTHREADPOOL	NAME

カテゴリ名	表名	列名
ログ出力アプリケーション名	WLOGMTDETH	LOGID
	WLOGMTDETRSPCD	LOGID
	WLOGMTSUMURL	LOGID
	WLOGMTDET	LOGID
	WLOGMTSUM	LOGID
NetApp ノード名(性能情報)	CDTP_CIFS	NODE
	CDTP_NFSV3	NODE
	CDTP_NFSV4	NODE
	CDTP_NFSV41	NODE
NetApp Vserver 名(性能情報)	CDTP_VOLUME	VSERVER
	CDTP_CIFS	NAME
	CDTP_NFSV3	NAME
	CDTP_NFSV4	NAME
	CDTP_NFSV41	NAME
NetApp Vserver 名(構成情報)	CDTC_VOLUME	VSERVER
Oracle AWR インスタンス名	ORAWR	INSTANCE
Oracle AWR データベース名	ORAWR	DB_NAME
AWS リージョン	AWS_VPC	REGION
	AWS_EC2	REGION
	AWS_EBS	REGION
	AWS_RDS	REGION
	AWS_S3_PERF	REGION

カテゴリ名	表名	列名
対象時間帯識別名	ATMTDEV	SHIFT
	ATYRACCC	SHIFT
	ATYRACCD	SHIFT
	ATYRACCU	SHIFT
	ATYRCPU	SHIFT
	ATYRCPUHR	SHIFT
	ATYRCPUMT	SHIFT
	ATYRDEV	SHIFT
	ATYRFSS	SHIFT
	ATYRNTSP	SHIFT
	ATYRPAGE	SHIFT
	ATYRPAGEMT	SHIFT
	ATYRRD	SHIFT
	ATYRTCPIP	SHIFT
	ATYRWSERVER	SHIFT
	DB2YRAPP	SHIFT
	DB2YRBUF	SHIFT
	DB2YRBUFALL	SHIFT
	DB2YRDB	SHIFT
	DB2YRDBO	SHIFT
	DB2YRDBX	SHIFT
	DB2YRTBSP	SHIFT
	DB2YRTBSPND	SHIFT
	ESX3YRSV_CPU	SHIFT
	ESX3YRSV_DISK	SHIFT
	ESX3YRSV_FS	SHIFT
	ESX3YRSV_MEM	SHIFT
	ESX3YRSV_NET	SHIFT
	ESX3YRVM_CPU	SHIFT
	ESX3YRVM_DISK	SHIFT
	ESX3YRVM_MEM	SHIFT
	ESX3YRVM_NET	SHIFT
	HVYRDMBALANCER	SHIFT
	HVYRDMVM	SHIFT
	HVYRHOST	SHIFT
	HVYRHYPervisor	SHIFT
	HVYRLDISK	SHIFT
	HVYRLEGACYNETADAPTER	SHIFT
	HVYRLP	SHIFT
	HVYRMEMORY	SHIFT
	HVYRNET	SHIFT
	HVYRPARTITION	SHIFT
	HVYRPDISK	SHIFT
	HVYRROOTPARTITION	SHIFT
	HVYRROOTVP	SHIFT
	HVYRTASK	SHIFT
	HVYRVHD	SHIFT
	HVYRVIDECONTROLLER	SHIFT
	HVYRVM	SHIFT
	HVYRVMBUS	SHIFT

カテゴリ名	表名	列名
対象時間帯識別名	HVYRVMVIDNUMANODE	SHIFT
	HVYRVMVIDPARTITION	SHIFT
	HVYRVNETADAPTER	SHIFT
	HVYRVVP	SHIFT
	HVYRVSTGDEVICE	SHIFT
	HVYRVSWITCH	SHIFT
	HVYRVSWITCHPORT	SHIFT
	HVMTLP	SHIFT
	ISYREntityEJB	SHIFT
	ISYREntityEJBMethodTime	SHIFT
	ISYRJDBC	SHIFT
	ISYRJVM	SHIFT
	ISYRMessageDrivenEJB	SHIFT
	ISYRMessageDrivenEJBMethodTime	SHIFT
	ISYRStatefulSessionEJB	SHIFT
	ISYRStatefulSessionEJBMethodTime	SHIFT
	ISYRStatelessSessionEJB	SHIFT
	ISYRStatelessSessionEJBMethodTime	SHIFT
	ISYRSVLT	SHIFT
	JBSYRJDBC	SHIFT
	JBSYRJVM	SHIFT
	JBSYRSERVLET	SHIFT
	JBSYRSTATEFUL	SHIFT
	JBSYRSTATEFULMTHD	SHIFT
	JBSYRSTATELESS	SHIFT
	JBSYRSTATELESSMTHD	SHIFT
	JBSYRTHREADPOOL	SHIFT
	MIBYRIF	SHIFT
	MYSQL_YR_CMD	SHIFT
	MYSQL_YR_CONN	SHIFT
	MYSQL_YR_INNOBDB	SHIFT
	MYSQL_YR_IO	SHIFT
	MYSQL_YR_MEM	SHIFT
	MYSQL_YR_SYS	SHIFT
	MYSQL_YR_SYSCMD	SHIFT
	MYSQL_YR_SYSCMD2	SHIFT
	MYSQL_YR_TABLE	SHIFT
	MYSQL_YR_VAR	SHIFT
	NETYRIO	SHIFT
	ORYRFILEIO	SHIFT
	ORYRREDO	SHIFT
	ORYRSESSUM	SHIFT
	ORYRSYSDAT	SHIFT
	ORYRTBSP	SHIFT
	ORYRTBSPX	SHIFT
	ORMTSYSDAT	SHIFT
	ORMTFILEIO	SHIFT
	ORMTREDO	SHIFT
	ORMTTABSCN	SHIFT

カテゴリ名	表名	列名
対象時間帯識別名	QAPMYRDISK	SHIFT
	QAPMYRJOBMIJ	SHIFT
	QAPMYRJOBMIU	SHIFT
	QAPMYRPOOLB	SHIFT
	QAPMYRSYSCPU	SHIFT
	R3YRBUFPCSC	SHIFT
	R3YRCLNO	SHIFT
	R3YRCLNORL	SHIFT
	R3YRDB02	SHIFT
	R3YRDB02_SQSV	SHIFT
	R3YRJOBNM	SHIFT
	R3YRJOBNMRL	SHIFT
	R3YRMEM	SHIFT
	R3YRPROG	SHIFT
	R3YRPROGRL	SHIFT
	R3YRREAL	SHIFT
	R3YRST22	SHIFT
	R3YRTCODE	SHIFT
	R3YRTCODERL	SHIFT
	R3YRTCPROG	SHIFT
	R3YRTCPROGRL	SHIFT
	R3YRTERM	SHIFT
	R3YRTERMRL	SHIFT
	R3YRTYPE	SHIFT
	R3YRTYPERL	SHIFT
	R3YRUSER	SHIFT
	R3YRUSERRL	SHIFT
	R3YRWPNO	SHIFT
	R3YRWPNO RL	SHIFT
	R3MTTRN	SHIFT
	R3MTTRNRL	SHIFT
	R3MTMEM	SHIFT
	R3MTDB02_SQSV	SHIFT
	SFWYRDBSPC	SHIFT
	SFWYRELAPS	SHIFT
	SFWYRSYS	SHIFT
	SQ6YRLOG	SHIFT
	SQ6YRSYS	SHIFT
	SQ6YRUSR	SHIFT
	SQ7YRACC	SHIFT
	SQ7YRBUFF	SHIFT
	SQ7YRDB	SHIFT
	SQ7YRMEM	SHIFT
	SQ8YRACC	SHIFT
	SQ8YRBUFF	SHIFT
	SQ8YRDB	SHIFT
	SQ8YRMEM	SHIFT
	SQ8MTACC	SHIFT
	SQ8MTBUFF	SHIFT
	SQ8MTDB	SHIFT
	SQ8MTGEN	SHIFT

カテゴリ名	表名	列名
対象時間帯識別名	SQ8MTLATCH	SHIFT
	SQ8MTMEM	SHIFT
	SQ8MTSQL	SHIFT
	SQ8MTLOCKS	SHIFT
	TCPYRSESS	SHIFT
	VMW_YRCLUSTER	SHIFT
	VMW_YRCLUSTERCPU	SHIFT
	VMW_YRCLUSTERMEM	SHIFT
	VMW_YRDATACENTER	SHIFT
	VMW_YRDS	SHIFT
	VMW_YRDSEXTENT	SHIFT
	VMW_YRDSFILE	SHIFT
	VMW_YRDSHOSTMOUNT	SHIFT
	VMW_YRDSVMMOUNT	SHIFT
	VMW_YRHOST	SHIFT
	VMW_YRHOSTCPU	SHIFT
	VMW_YRHOSTDISK	SHIFT
	VMW_YRHOSTICPU	SHIFT
	VMW_YRHOSTIDATASTORE	SHIFT
	VMW_YRHOSTIDISK	SHIFT
	VMW_YRHOSTINET	SHIFT
	VMW_YRHOSTISTORAGEADAPTER	SHIFT
	VMW_YRHOSTISTORAGEPATH	SHIFT
	VMW_YRHOSTISYS	SHIFT
	VMW_YRHOSTMEM	SHIFT
	VMW_YRHOSTMGMTAGT	SHIFT
	VMW_YRHOSTNET	SHIFT
	VMW_YRHOSTSYS	SHIFT
	VMW_YRPOOL	SHIFT
	VMW_YRPOOLCPU	SHIFT
	VMW_YRPOOLDISK	SHIFT
	VMW_YRPOOLMEM	SHIFT
	VMW_YRPOOLNET	SHIFT
	VMW_YRPOOLSYS	SHIFT
	VMW_YRVM	SHIFT
	VMW_YRVMCPU	SHIFT
	VMW_YRVMDISK	SHIFT
	VMW_YRVMICPU	SHIFT
	VMW_YRVMIDATASTORE	SHIFT
	VMW_YRVMIDISK	SHIFT
	VMW_YRVMINET	SHIFT
	VMW_YRVMIVIRTUALDISK	SHIFT
	VMW_YRVMMEM	SHIFT



カテゴリ名	表名	列名
対象時間帯識別名	VMW_YRVMNET	SHIFT
	VMW_YRVMSYS	SHIFT
	VMW_MTHOSTCPU	SHIFT
	VMW_MTHOSTMEM	SHIFT
	VMW_MTHOSTINET	SHIFT
	VMW_MTDATASTORE	SHIFT
	VMW_MTDS	SHIFT
	VMW_MTVMCPU	SHIFT
	VMW_MTVMMEM	SHIFT
	VMW_MTVMIDISK	SHIFT
	VMW_MTCLUSTERCPU	SHIFT
	WASYREntityEJB	SHIFT
	WASYRJDBC	SHIFT
	WASYRJDBCSOURCE	SHIFT
	WASYRJSP	SHIFT
	WASYRJVM	SHIFT
	WASYRMsgDrivenEJB	SHIFT
	WASYRServlet	SHIFT
	WASYRSESSION	SHIFT
	WASYRStatefulEJB	SHIFT
	WASYRStatelessEJB	SHIFT
	WASYRThreadPool	SHIFT
	WLCYRAPP	SHIFT
	WLCYRENT EJB	SHIFT
	WLCYREXQ	SHIFT
	WLCYRJDBC	SHIFT
	WLCYRJDBC DATASOURCE	SHIFT
	WLCYRJROC	SHIFT
	WLCYRJVM	SHIFT
	WLCYRMSDEJB	SHIFT
	WLCYRSFLEJB	SHIFT
	WLCYRSLSEJB	SHIFT
	WLCYRSVR	SHIFT
	WLCYRSVT	SHIFT
	WLCYRTHREADPOOL	SHIFT
	WLCYRWORKMANAGER	SHIFT
	WLOGYRDET	SHIFT
	WLOGYRLOG	SHIFT
	WLOGYRSUM	SHIFT
	WLOGMTDETH	SHIFT
	WLOGMTDETRSPCD	SHIFT
	WLOGMTSUMURL	SHIFT
	WLCMTJVM	SHIFT
	WLCMTJROC	SHIFT
	WLCMTAPP	SHIFT
	WLCMTTHREADPOOL	SHIFT
	WLCMTSVT	SHIFT
	WLCMTJDBC	SHIFT
	DTAM_MT_USER_ACTION	SHIFT
	DTAM_MT_PUREPATH	SHIFT

## 9.2. パラメータプロフィール

カテゴリ名	表名	列名
デバイス名	ATDEV	DISKID
VMware データストア名	VMW_DSFILE	NAME
	VMW_YRDSFILE	NAME
	VMW_MTDS	NAME
	VMW_MTDATASTORE	NAME
iSeries IOP 資源名	QAPMDISK	IOPRN
iSeries 装置資源名	QAPMDISK	DSDRN
iSeries 記憶域プール番号	QAPMPOOLB	PONBR
	QAPMYRPOOLB	PONBR
z/VM ユーザ名	ZVM_USRRES	USERID
z/VM ボリューム名	ZVM_DASD	H61VLSE